

令和5年度
第3期新庄市子ども・子育て支援事業計
画策定に関するニーズ調査

結果報告書（案）

令和6年3月

新 庄 市

目 次

I. 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の項目	1
3. 調査の設計	2
4. 回収結果	2
5. 報告書の見方	2

II. 調査結果

II-1 就学前児童

1. お住まいの地域について	3
(1) お住まいの地区【問1】	3
2. お子さんと家族の状況について	3
(1) お子さんの生年月（年齢）【問2】	3
(2) お子さんの人数、末子の年齢【問3】	4
(3) この調査票にご回答いただく方（宛名のお子さんからみた関係）【問4】	4
(4) この調査票にご回答いただいている方の配偶関係【問5】	5
(5) 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方【問6】	5
3. 子どもの育ちをめぐる環境について	6
(1) 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に 日常的に関わっている方（施設）【問7】	6
(2) 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に影響すると思われる環境【問8】	6
(3) 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人の状況【問9】	7
(4) 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況【問9-1】	7
(5) 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況【問9-2】	8
(6) 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、 気軽に相談できる人や場所の状況【問10】	8
(7) お子さんの子育て（教育を含む）に関して、 気軽に相談できる先について【問10-1】	9
(8) 子育て（教育を含む）をする上で、周囲から必要なサポート【問11】	10
4. 保護者の就労状況について	11
(1) 母親の現在の就労状況〔父子家庭の場合は記入は不要〕【問12(1)】	11
(2) 母親の就労日数、就労時間について【問12(1)-1】	11
(3) 母親の就労日の家を出る時刻、帰宅時刻【問12(1)-2】	12
(4) 夜勤（原則として午後10時から午前5時まで の間における労働）の有無【問12(1)-3】	12

(5) 父親の現在の就労状況〔母子家庭の場合は記入は不要〕【問 12(2)】	13
(6) 父親の就労日数、就労時間について【問 12(2)-1】	13
(7) 父親の就労日の家を出る時刻、帰宅時刻【問 12(2)-2】	14
(8) 夜勤（原則として午後 10時から午前 5時まで の間における労働）の有無【問 12(2)-3】	14
(9) 母親のフルタイムへの転換希望【問 13(1)】	15
(10) 父親のフルタイムへの転換希望【問 13(2)】	15
(11) 母親の就労希望【問 14(1)】	16
(12) 父親の就労希望【問 14(2)】	17
5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	18
(1) 現在の教育・保育事業の利用状況【問 15】	18
(2) 現在、利用している教育・保育事業【問 15-1】	19
(3) 現在、教育・保育事業を利用している日数・時間【問 15-2(1)】	20
(4) 希望する教育・保育事業の利用日数・時間【問 15-2(2)】	20
(5) 現在、利用している教育・保育事業の場所【問 15-3】	21
(6) 教育・保育事業を利用している理由【問 15-4】	21
(7) 教育・保育事業を利用していない理由【問 15-5】	22
(8) 利用したい教育・保育事業【問 16】	23
(9) 教育・保育事業を利用したい場所【問 16-1】	24
(10) 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む） の利用を強く希望【問 16-2】	24
6. 地域の子育て支援事業の利用状況について	25
(1) 現在の地域子育て支援拠点事業の利用状況【問 17】	25
(2) 今後の地域子育て支援拠点事業の利用希望について【問 18】	25
(3) 本市で行っている事業の認識度、利用の有無、 今後の利用希望について【問 19】	26
7. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	29
(1) 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望【問 20(1)】	29
(2) 日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望【問 20(2)】	29
(3) 毎週ではなく、たまに利用したい理由【問 20-1】	30
(4) 長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望【問 21】	30
(5) 毎日ではなく、たまに利用したい理由【問 21-1】	31
8. 病気の際の対応について（平日の教育・保育事業を利用する方のみ）	32
(1) この 1 年間に、病気やケガで通常の事業が利用できなかった状況【問 22】	32
(2) 通常の事業が利用できなかった場合の対処方法【問 22-1】	32
(3) 病気やケガ時、保育施設等の利用希望【問 22-2】	33
(4) 病気やケガで預ける場合の望ましい事業形態【問 22-3】	33
(5) 病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由【問 22-4】	34

14. 本市の子育て支援への満足度や子育てに関する意見について	54
(1) 本市における子育ての環境や支援への満足度【問 35】	54
(2) 教育・保育環境の充実や障がい児への支援、 妊娠や出産・育児など子育てを取り巻く環境に関する意見【問 36】	54

II-2 小学生児童

1. お住まいの地域について	55
(1) お住まいの地区【問 1】	55
2. お子さんと家族の状況について	55
(1) お子さんの学年【問 2】	55
(2) お子さんの人数、末子の年齢【問 3】	56
(3) この調査票にご回答いただく方（宛名のお子さんからみた関係）【問 4】	56
(4) この調査票にご回答いただいている方の配偶関係【問 5】	57
(5) 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方【問 6】	57
3. 子どもの育ちをめぐる環境について	58
(1) 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、 影響すると思われる環境【問 7】	58
(2) 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、 気軽に相談できる人や場所の状況【問 8】	58
(3) お子さんの子育て（教育を含む）に関して、 気軽に相談できる先について【問 8-1】	59
(4) お子さんの子育て（教育を含む）に関して、 気軽に相談できる先がない理由【問 8-2】	60
(5) 子育て（教育を含む）をする上で、周囲から必要なサポート【問 9】	60
(6) 宛名のお子さんは、どんな子に育ててほしいと思うか【問 10】	61
4. 保護者の就労状況について	62
(1) 母親の現在の就労状況〔父子家庭の場合は記入は不要〕【問 11(1)】	62
(2) 母親の就労日数、就労時間について【問 11(1)-1】	62
(3) 母親の就労日の家を出る時刻、帰宅時刻【問 11(1)-2】	63
(4) 夜勤（原則として午後 10 時から午前 5 時まで の間における労働）の有無【問 11(1)-3】	63
(5) 父親の現在の就労状況〔母子家庭の場合は記入は不要〕【問 11(2)】	64
(6) 父親の就労日数、就労時間について【問 11(2)-1】	64
(7) 父親の就労日の家を出る時刻、帰宅時刻【問 11(2)-2】	65
(8) 夜勤（原則として午後 10 時から午前 5 時まで の間における労働）の有無【問 11(2)-3】	65
(9) 母親のフルタイムへの転換希望【問 12(1)】	66
(10) 父親のフルタイムへの転換希望【問 12(2)】	66

(11) 母親の就労希望【問 13(1)】	67
(12) 父親の就労希望【問 13(2)】	68
5. 病気の際の対応について	69
(1) この1年間に、病気やケガで小学校が利用できなかった状況【問 14】	69
(2) 小学校が利用できなかった場合の対処方法【問 14-1】	69
(3) 病気やケガ時、保育施設等の利用希望【問 14-2】	70
(4) 病気やケガで預ける場合の望ましい事業形態【問 14-3】	70
(5) 病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由【問 14-4】	71
(6) 病気やケガ時、できれば父母のいずれかが 仕事を休んで看たいと思ったか【問 14-5】	71
(7) 病気やケガ時、休んで看ることは非常に難しいと思われる理由【問 14-6】	72
(8) この1年間での、宿泊を伴う一時預かり等の対処方法【問 15】	72
(9) 短期入所生活援助事業の利用希望の有無【問 15-1】	73
(10) 山形県小児救急でんわ相談ダイヤルの認知度【問 16】	74
(11) 利用の有無【問 16-1】	74
6. 放課後の過ごし方について	75
(1) 過ごさせたい場所【問 17】	75
(2) 場所ごとの日数【問 18】	76
(3) 土曜日の放課後児童クラブの利用希望【問 19(1)】	77
(4) 日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望【問 19(2)】	77
(5) 長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望【問 20】	78
(6) 放課後児童クラブに今後望むこと【問 21】	79
7. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	80
(1) 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれか もしくは双方の育児休業の取得状況【問 22】	80
(2) 育児休業給付、保険料免除の認識度【問 22-1】	81
(3) 母親の育児休業取得後の職場復帰【問 22-2(1)】	82
(4) 父親の育児休業取得後の職場復帰【問 22-2(2)】	82
(5) 母親が育児休業から復帰したときのお子さんの月齢【問 22-3(1)】	83
(6) 父親が育児休業から復帰したときのお子さんの月齢【問 22-3(2)】	83
(7) 3歳まで育児休暇を取得できる制度が あった場合の取得希望【問 22-4(1)(2)】	84
8. 子育て支援に関する情報について	85
(1) 本市の子育て支援に関する情報を得る方法【問 23(1)】	85
(2) 本市以外の自治体や国・県の事業に関する情報を得る方法【問 23(2)】	85
9. 地域の子育て支援事業の利用状況について	86
(1) 充実を図ってほしい子育て支援【問 24】	86
10. 宛名のお子さんご本人への設問	87

(1) 放課後の過ごし方【問 25(1)】	87
(2) 家の近くにあったらよいと思うところ【問 25(2)】	87
(3) 将来の夢【問 25(3)】	88
(4) 新庄市の好きなところ(もの)・気に入っているところ(もの)【問 25(4)】	88
11. 本市の子育て支援への満足度や子育てに関する意見について	89
(1) 本市における子育ての環境や支援への満足度【問 26】	89
(2) 教育・保育環境の充実や障がい児への支援、 妊娠や出産・育児など子育てを取り巻く環境に関する意見【問 27】	89

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

子ども・子育て支援法第61条に規定する子ども・子育て支援事業計画（計画期間：令和7～11年度）を策定するための基礎資料として、各種保育サービス等のニーズを把握するため、ニーズ調査を実施する。

2. 調査の項目

(1) 就学前児童

- ①お住まいの地域について
- ②お子さんと家族の状況について
- ③子どもの育ちをめぐる環境について
- ④保護者の就労状況について
- ⑤平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について
- ⑥地域の子育て支援事業の利用状況について
- ⑦土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について
- ⑧病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用される方のみ）
- ⑨不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について
- ⑩小学校就学後の放課後の過ごし方について
- ⑪育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について
- ⑫地域の子育て支援事業の利用状況について
- ⑬子育て支援に関する情報について
- ⑭本市の子育て支援への満足度や子育てに関する意見について

(2) 小学生児童

- ①お住まいの地域について
- ②お子さんと家族の状況について
- ③子どもの育ちをめぐる環境について
- ④保護者の就労状況について
- ⑤病気の際の対応について
- ⑥放課後の過ごし方について
- ⑦育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について
- ⑧子育て支援に関する情報について
- ⑨地域の子育て支援事業の利用状況について
- ⑩宛名のお子さんご本人への設問
- ⑪本市の子育て支援への満足度や子育てに関する意見について

3. 調査の設計

- (1) 調査地域 : ①就学前児童：新庄市全域
②小学生児童：新庄市全域
- (2) 調査対象 : ①就学前児童の保護者 ②小学生児童の保護者
- (3) 標本数 : ①就学前児童： 954名
②小学生児童：1,000名
- (4) 抽出方法 : 無作為抽出法
- (5) 調査方法 : 郵送によるアンケート調査
- (6) 調査期間 : 令和5年12月

4. 回収結果

- (1) 回答数（率） : ①就学前児童：489件（51.3%）
②小学生児童：490件（49.0%）
- (2) 有効数（率） : 同上

5. 報告書の見方

- (1) 図表の中の全体とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- (2) 百分比は回答者総数全体（該当質問においては該当者数）に占める質問の選択者数の比率として算出している。なお、図表では小数点第2位をそれぞれ四捨五入しているため、百分比の合計が100%にならない場合がある。
- (3) 1つの質問において2つ以上の回答を求めたものもあり、従ってその場合の百分比の合計は100%を超える。
- (4) 各層別の分析において、回答者総数が僅少なものについては誤差が大きくなるため、本文での分析からはずすなど、参考として傾向をみるにとどめている。
- (5) 図表で、「無回答」を一部省略して表しているために、合計が合致しない場合がある。
- (6) 図表等で、選択肢等の語句を一部簡略化して表している。

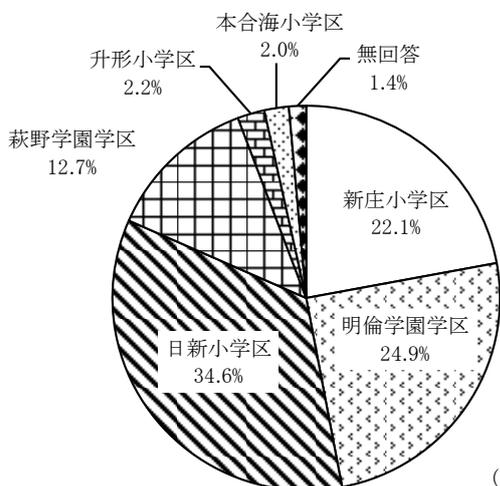
II 調査結果

Ⅱ－1 就学前児童

1. お住まいの地域について

(1) お住まいの地区【問1】

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

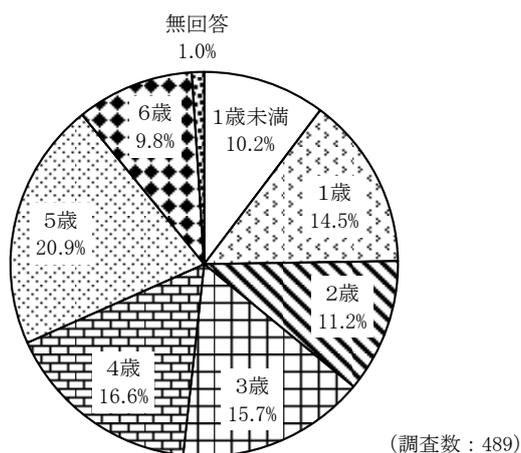


住まいの地区では、「日新小学区」(34.6%)が最も多く、次いで「明倫学園学区」(24.9%)、「新庄小学区」(22.1%)となっている。

2. お子さんと家族の状況について

(1) お子さんの生年月(年齢)【問2】

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。

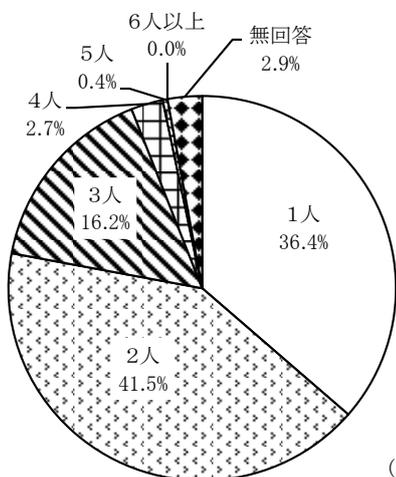


子どもの生年月から年齢をみると、「5歳」(20.9%)が最も多く、次いで「4歳」(16.6%)、「3歳」(15.7%)となっている。

※年齢算出基準は、抽出時点(令和5年11月)とする。

(2) お子さんの人数、末子の年齢【問3】

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。



(調査数：489)

子どもの人数では、「2人」(41.5%)が最も多く、次いで「1人」(36.4%)、「3人」(16.2%)となっている。

また、子どもが2人以上いる方の末子の年齢では、「1歳」(15.8%)が最も多く、次いで「5歳」(15.2%)、「0歳」(13.8%)となっている。

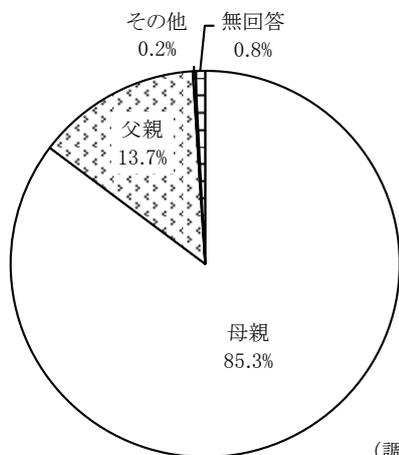
【末子の年齢】[2人以上のお子さんがいらっしゃる場合] (単一回答)

	1	2	3	4	5	6	7	無回答	合計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳		
構成比	13.8%	15.8%	10.4%	13.1%	12.1%	15.2%	9.1%	10.4%	100.0%

(調査数:297)

(3) この調査票にご回答いただく方(宛名のお子さんからみた関係)【問4】

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

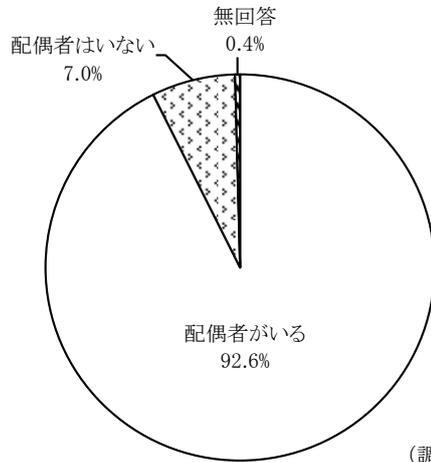


(調査数：489)

調査の回答者では、「母親」(85.3%)が最も多く、次いで「父親」(13.7%)となっている。

(4) この調査票にご回答いただいている方の配偶関係【問5】

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

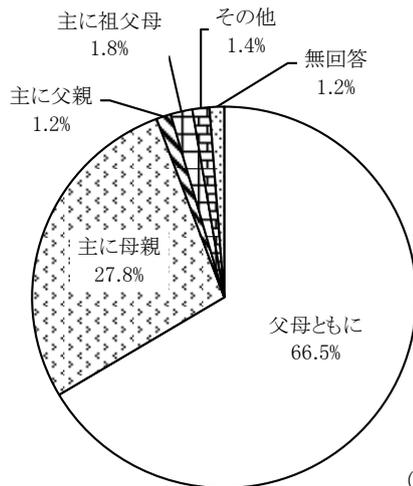


(調査数：489)

配偶者の有無では、「配偶者がいる」が92.6%、「配偶者がいない」が7.0%となっている。

(5) 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方【問6】

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。



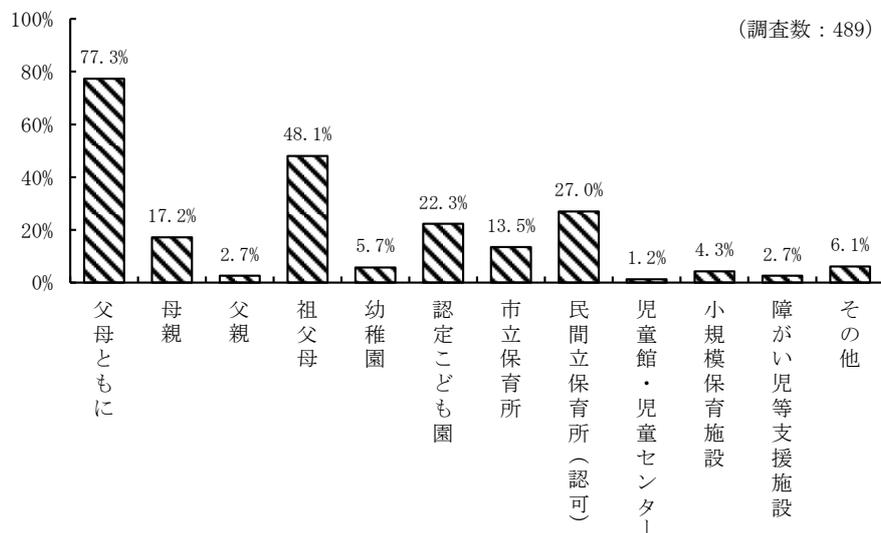
(調査数：489)

子育てを主に行っている方では、「父母ともに」(66.5%)が最も多く、次いで「主に母親」(27.8%)となっている。

3. 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方（施設）【問7】

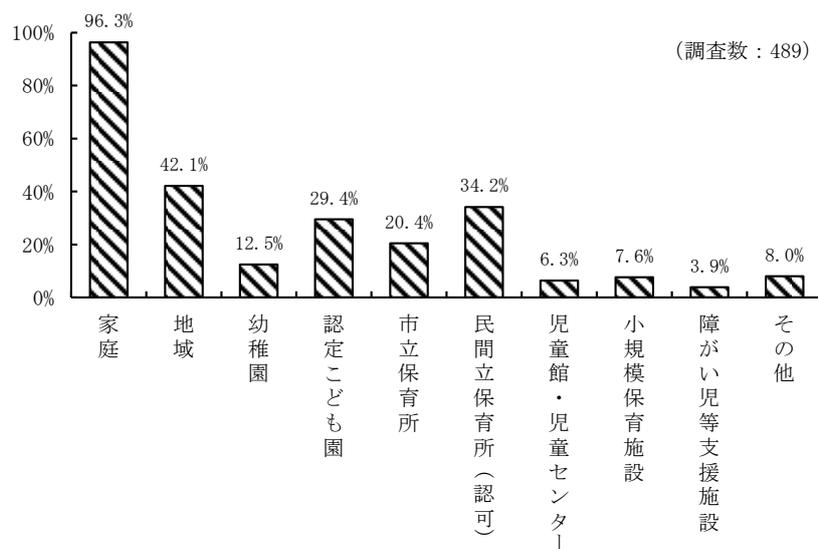
問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係（人や施設）で当てはまる番号すべてに○をつけてください。



子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方（施設）では、「父母ともに」が77.3%と最も多く、次いで「祖父母」（48.1%）、「民間立保育所（認可）」（27.0%）となっている。

(2) 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に影響すると思われる環境【問8】

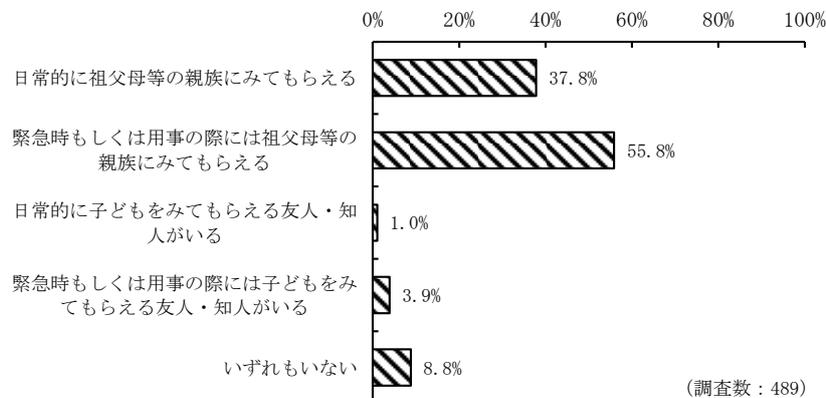
問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。



子育て（教育を含む）に影響すると思われる環境では、「家庭」が96.3%と最も多く、次いで「地域」（42.1%）、「民間立保育所（認可）」（34.2%）となっている。

(3) 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人の状況【問9】

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

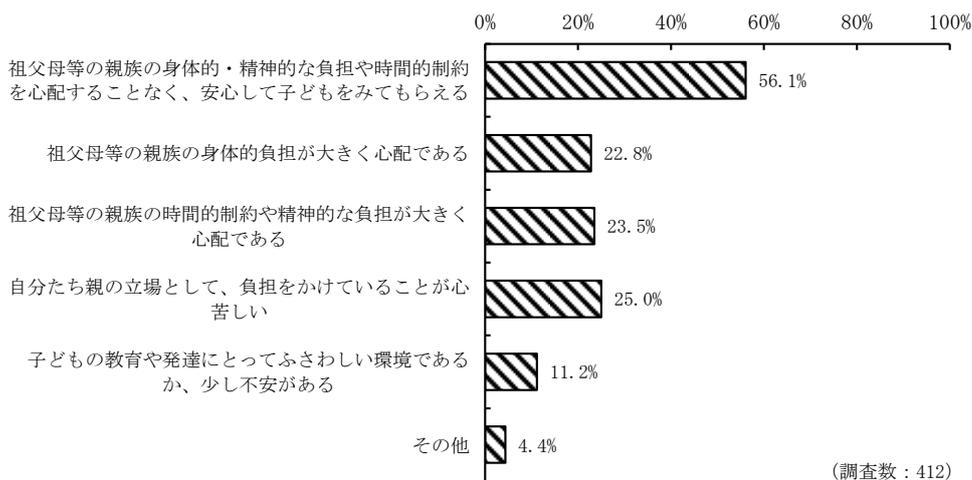


日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の状況では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が55.8%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(37.8%)となっている。

一方、「いずれもない」という回答も8.8%ある。

(4) 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況【問9-1】

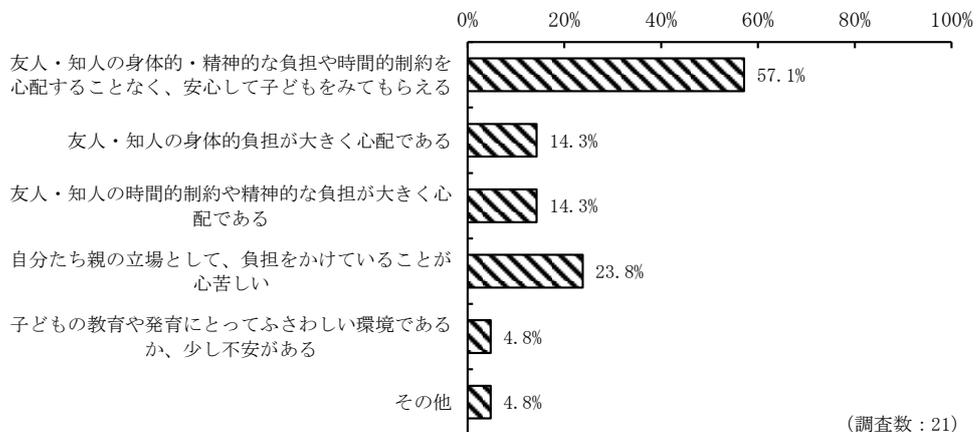
問9-1 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況では、56.1%が「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」と回答しているものの、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(25.0%)、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(23.5%)と心配や心苦しいという回答もある。

(5) 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況【問9-2】

問9-2 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

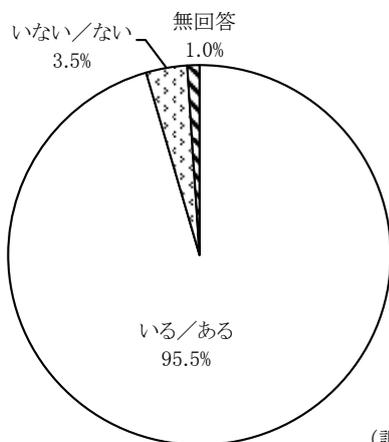


友人・知人に子どもをみてもらっている状況では、57.1%が「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」と回答しているものの、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(23.8%)、「友人・知人の身体的負担が大きく心配である」、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(ともに14.3%)と心配や心苦しいという回答もある。

(6) 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、

気軽に相談できる人や場所の状況【問10】

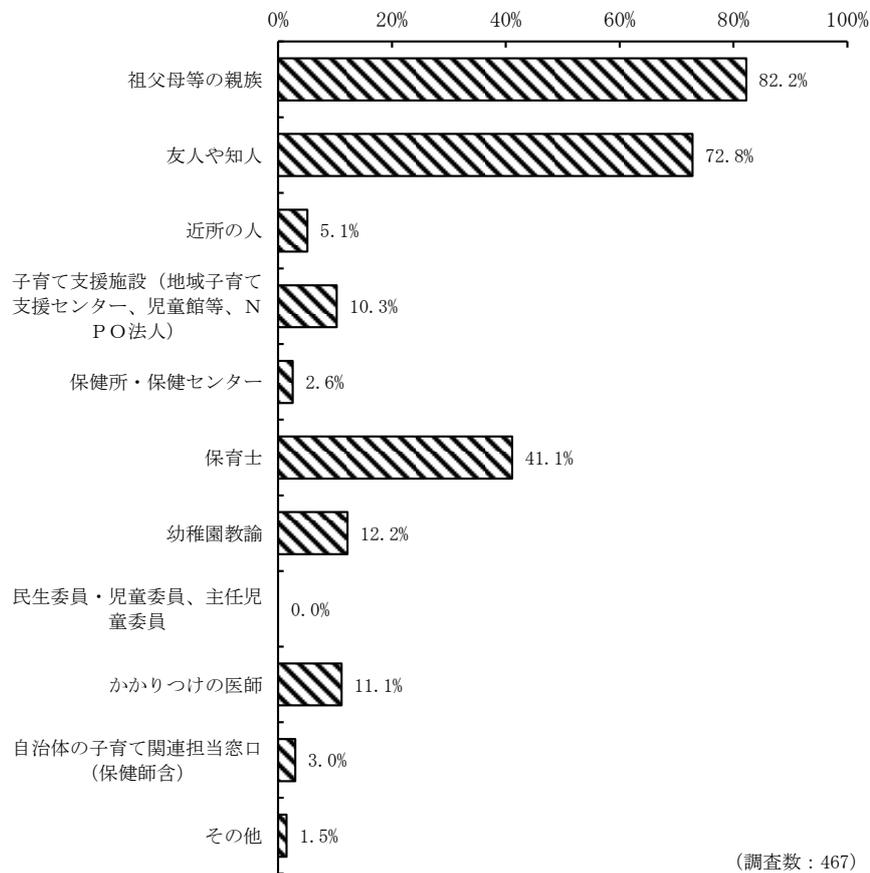
問10 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所の状況では、95.5%が「いる/ある」と回答している。

(7) お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先について【問 10-1】

問 10-1 問 10 で「1. いる／ある」に○をつけた方にかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先では、「祖父母等の親族」が 82.2%と最も多く、次いで「友人や知人」（72.8%）、「保育士」（41.1%）となっている。

(8) 子育て（教育を含む）をする上で、周囲から必要なサポート【問11】

問11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

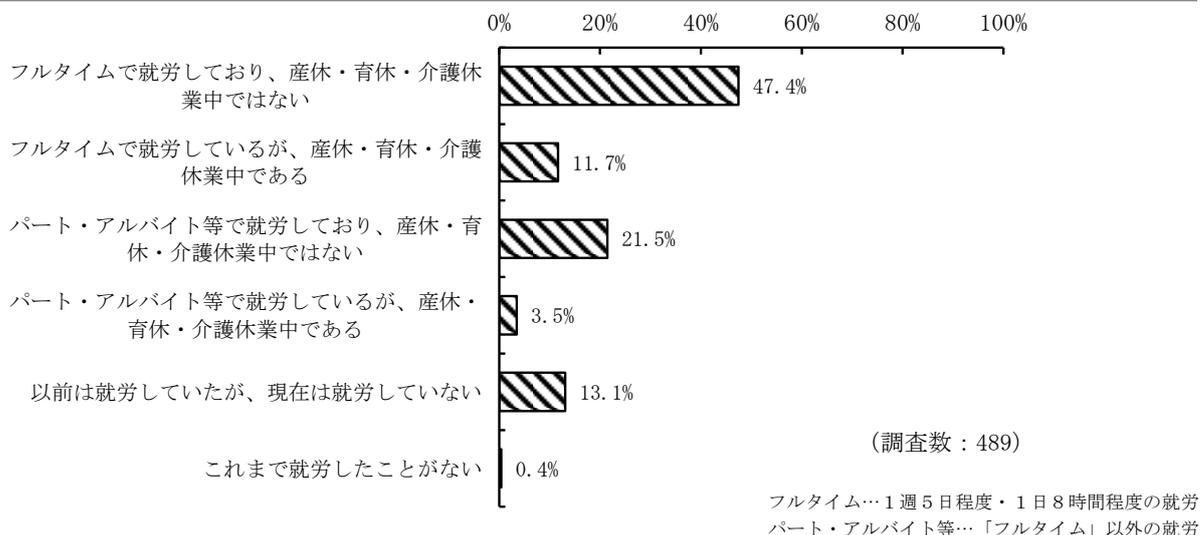
子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）へ望むサポートをたずねたところ、237件の意見が寄せられ、「サポート」に関する記述が19.8%と最も多くなっている。

分類	件数	構成比
保育サービス	37	15.6%
保育サービス（病児）	18	7.6%
サポート	47	19.8%
相談	25	10.5%
情報発信の改善	9	3.8%
集会	8	3.4%
補助金	21	8.9%
制度改善	7	3.0%
遊び場	9	3.8%
医療関係	14	5.9%
見守り	2	0.8%
市役所	2	0.8%
保育所への要望	3	1.3%
満足	5	2.1%
訪問	3	1.3%
その他	27	11.4%
合計	237	

4. 保護者の就労状況について

(1) 母親の現在の就労状況【父子家庭の場合は記入は不要】【問 12(1)】

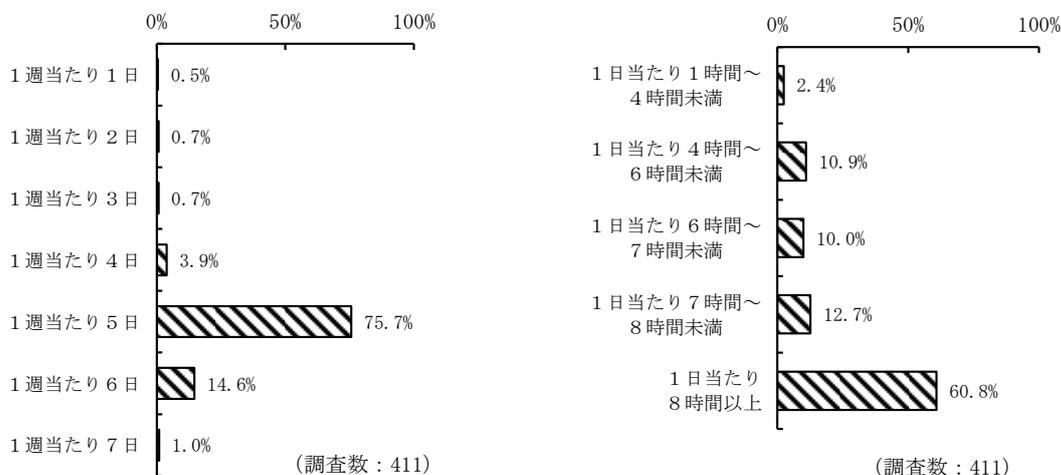
問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。
 (1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



母親の現在の就労状況では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が47.4%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（21.5%）、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（13.1%）となっている。

(2) 母親の就労日数、就労時間について【問 12(1)-1】

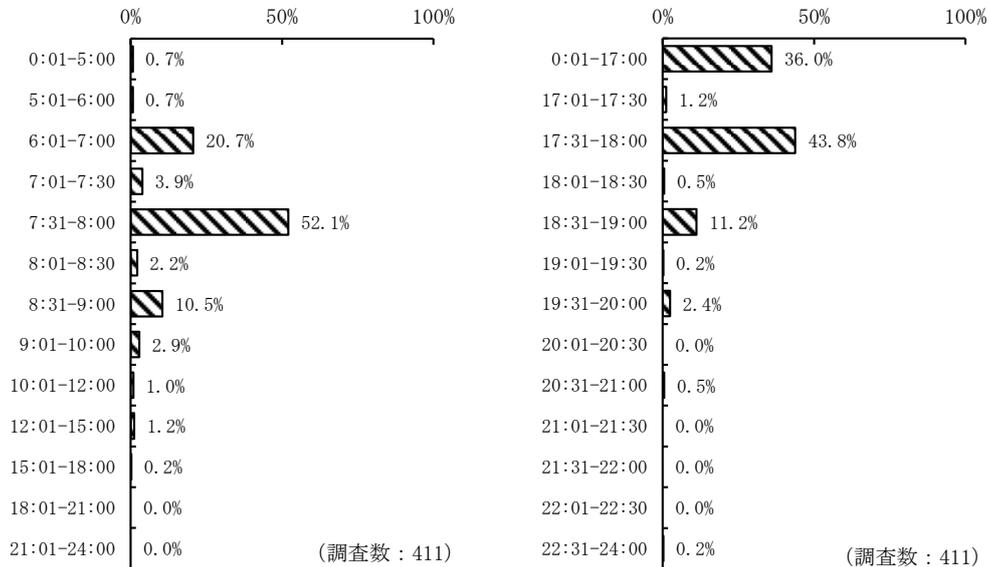
問 12(1)-1 (1)で「1.~4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



就労している母親の1週当たりの就労日数では、「5日」が75.7%と最も多く、1日当たりの就労時間では、「8時間以上」が60.8%と最も多くなっている。

(3) 母親の就労日の家を出る時刻、帰宅時刻【問 12(1)-2】

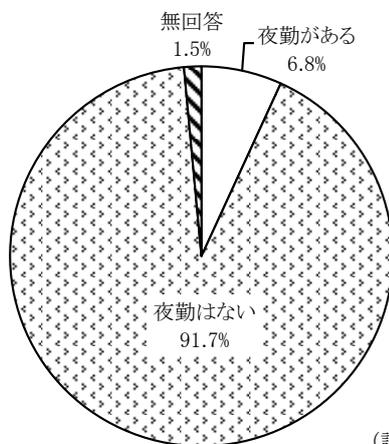
問 12(1)-2 (1) で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



出勤時間では、「7時31分～8時」が52.1%と最も多く、帰宅時間では、「17時31分～18時」が43.8%と最も多くなっている。

(4) 夜勤（原則として午後10時から午前5時までの間における労働）の有無【問 12(1)-3】

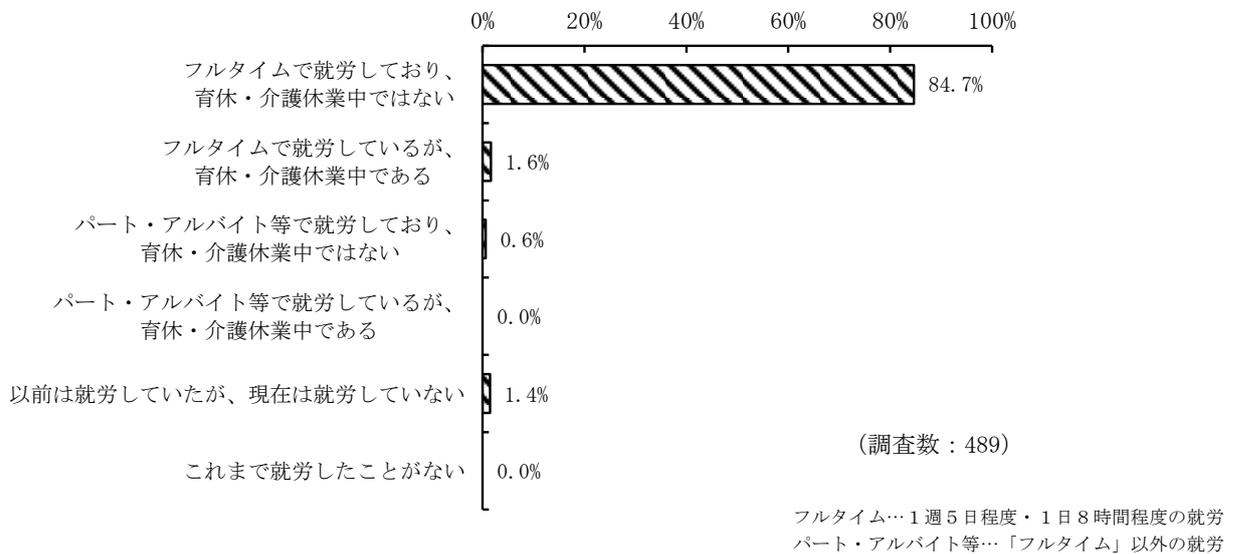
問 12(1)-3 (1) で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。夜勤（原則として午後10時から午前5時までの間における労働）の有無をお答えください。



夜勤（原則として午後10時から午前5時までの間における労働）の有無では、「夜勤がある」が6.8%、「夜勤はない」が91.7%となっている。

(5) 父親の現在の就労状況 [母子家庭の場合は記入は不要] 【問 12(2)】

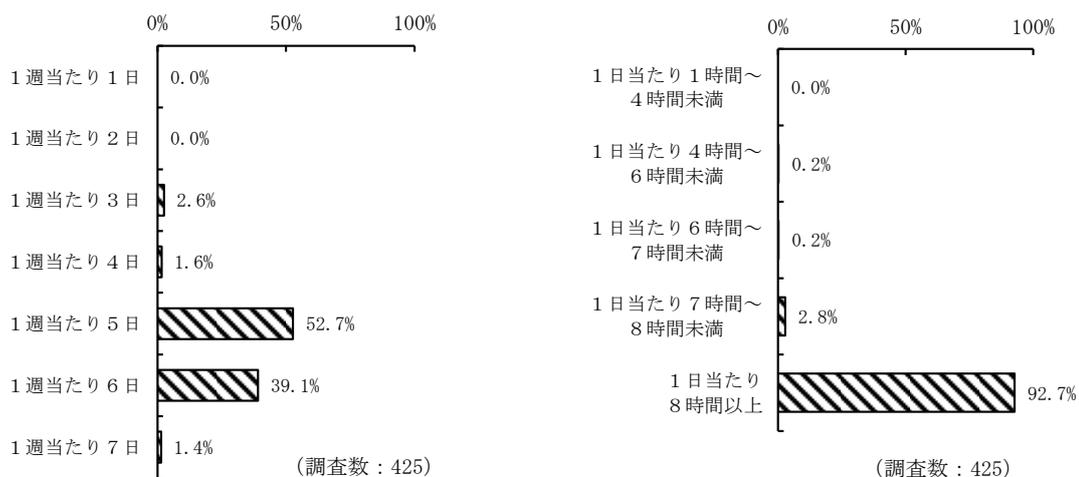
問 12(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



父親の現在の就労状況では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が84.7%と最も多く、8割以上となっている。

(6) 父親の就労日数、就労時間について 【問 12(2)-1】

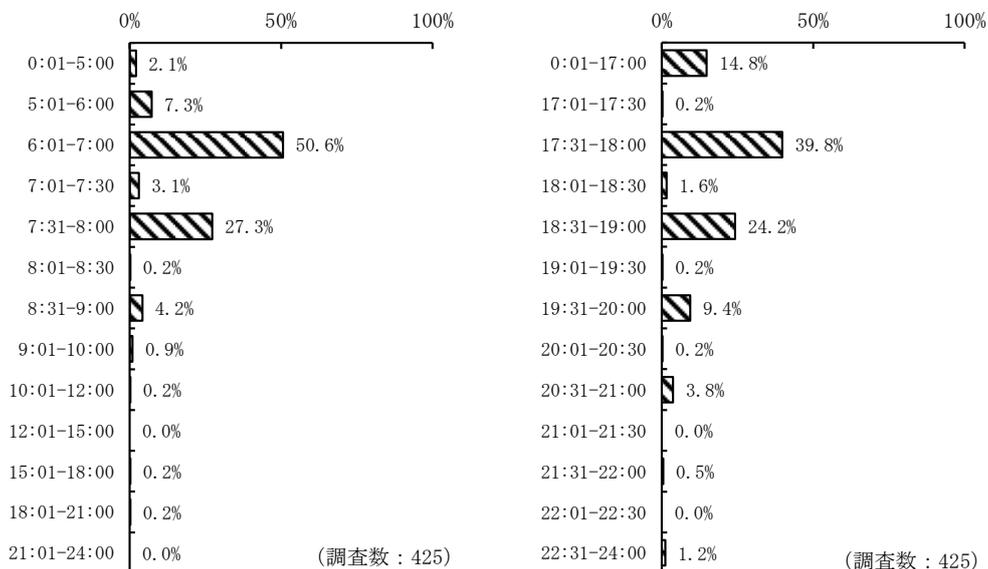
問 12(2)-1 (2) で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



就労している父親の1週当たりの就労日数では、「5日」が52.7%と最も多く、次いで「6日」(39.1%)となっている。1日当たりの就労時間では、「8時間以上」が92.7%と最も多くなっている。

(7) 父親の就労日の家を出る時刻、帰宅時刻【問 12(2)-2】

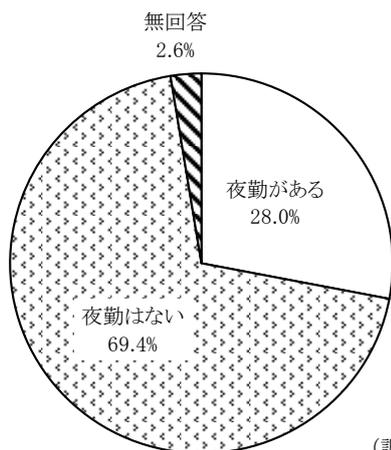
問 12(2)-2 (2) で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



出勤時間では、「6時1分～7時」が50.6%と最も多く、帰宅時間では、「17時31分～18時」が39.8%と最も多くなっている。

(8) 夜勤（原則として午後10時から午前5時までの間における労働）の有無【問 12(2)-3】

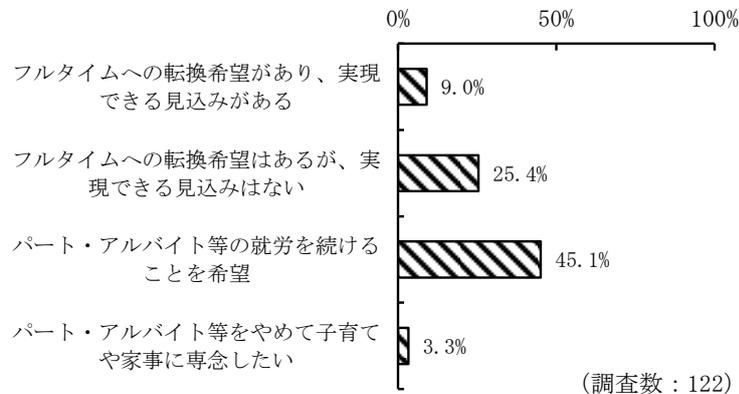
問 12(2)-3 (2) で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。夜勤（原則として午後10時から午前5時までの間における労働）の有無をお答えください。



夜勤（原則として午後10時から午前5時までの間における労働）の有無では、「夜勤がある」が28.0%、「夜勤はない」が69.4%となっている。

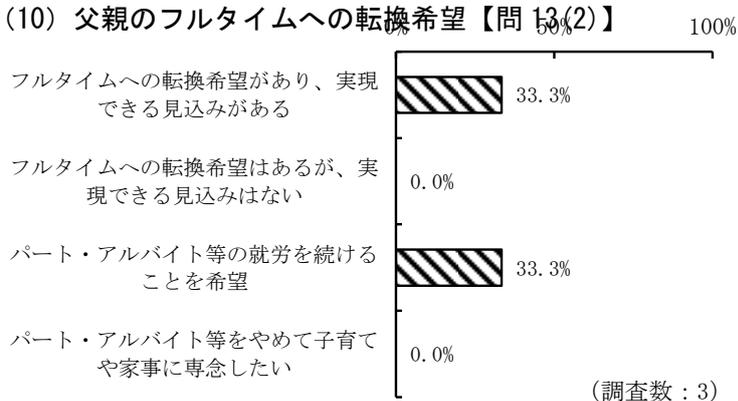
問 13 問 12 の (1) または (2) で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している) に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 14 へお進みください。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(9) 母親のフルタイムへの転換希望【問 13(1)】



パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望では、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が 45.1%と最も多く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」（25.4%）となっている。

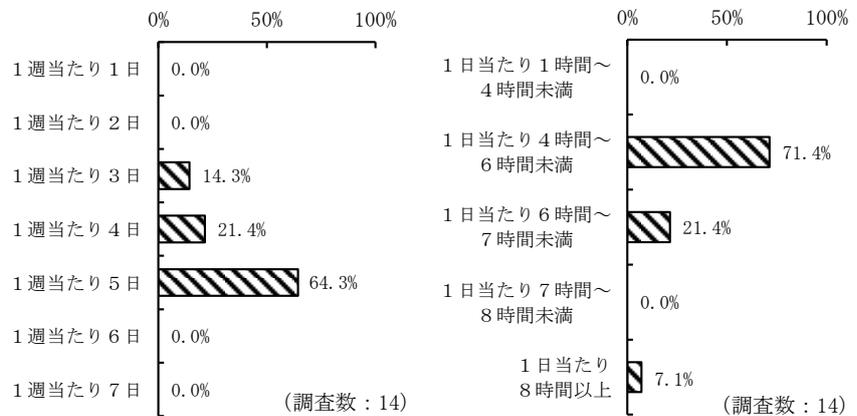
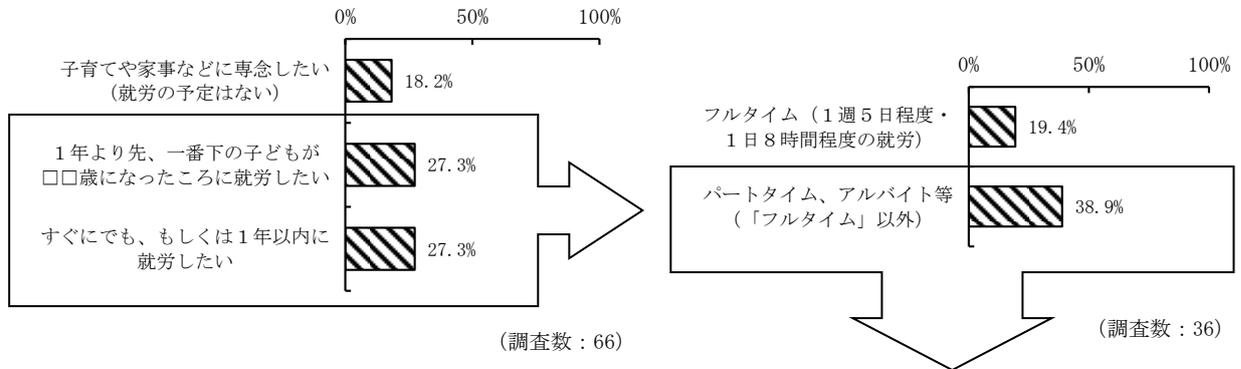
(10) 父親のフルタイムへの転換希望【問 13(2)】



パート・アルバイト等で就労している父親のフルタイムへの転換希望では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」がともに 33.3%となっている。

問 14 問 12 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。

(11) 母親の就労希望【問 14(1)】



【1年より先、一番下の子どもが何歳になったときに就労を希望するか】 [問14(1)で2を選択]

(単一回答)

	1	2	3	4	5	無回答	合計
	1歳～2歳	3歳～5歳	6歳～8歳	9歳～11歳	12歳以上		
構成比	16.7%	66.7%	11.1%	0.0%	0.0%	5.6%	100.0%

(調査数: 18)

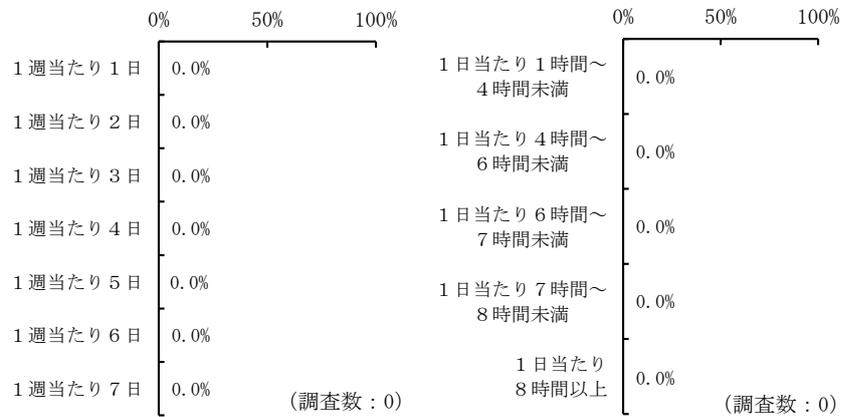
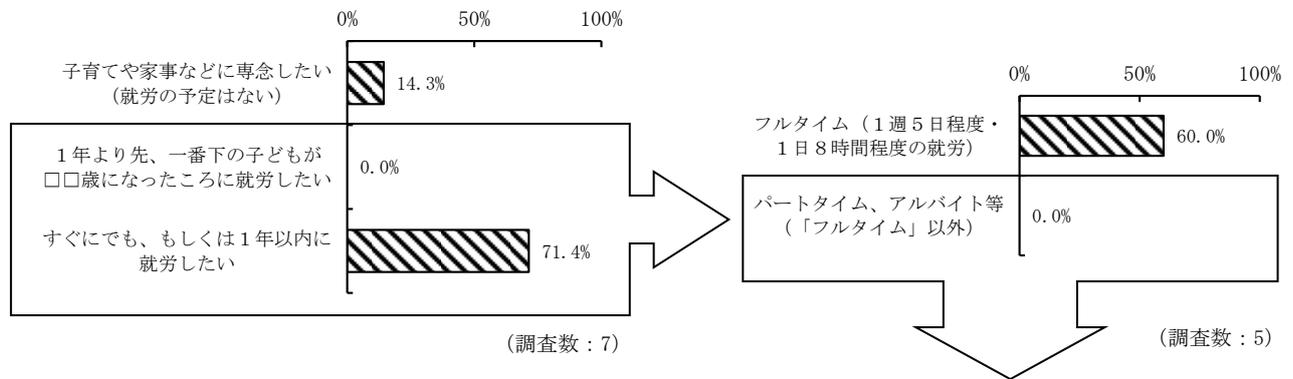
現在就労していない母親の就労希望では、「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったときに就労したい」(「3歳～5歳」が最も多い)、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」がともに27.3%と最も多く、5割以上の就労希望がある。

希望する就労形態では、「パートタイム・アルバイト等 (「フルタイム」以外)」(38.9%)、「フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)」(19.4%)となっている。

パートタイム・アルバイト等による就労希望者の1週当たりの就労希望日数は、「5日」が64.3%と最も多くなっている。

また、1日当たりの就労希望時間は、「4時間～6時間未満」が71.4%と最も多くなっている。

(12) 父親の就労希望【問 14(2)】



現在就労していない父親の就労希望では、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」が71.4%となっている。

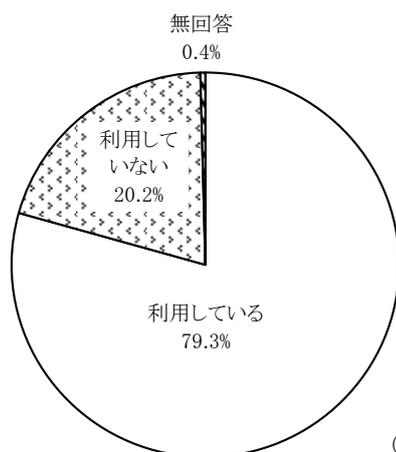
希望する就労形態では、「フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)」が60.0%となっている。

5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 15-1 に示した事業が含まれます。

(1) 現在の教育・保育事業の利用状況【問 15】

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

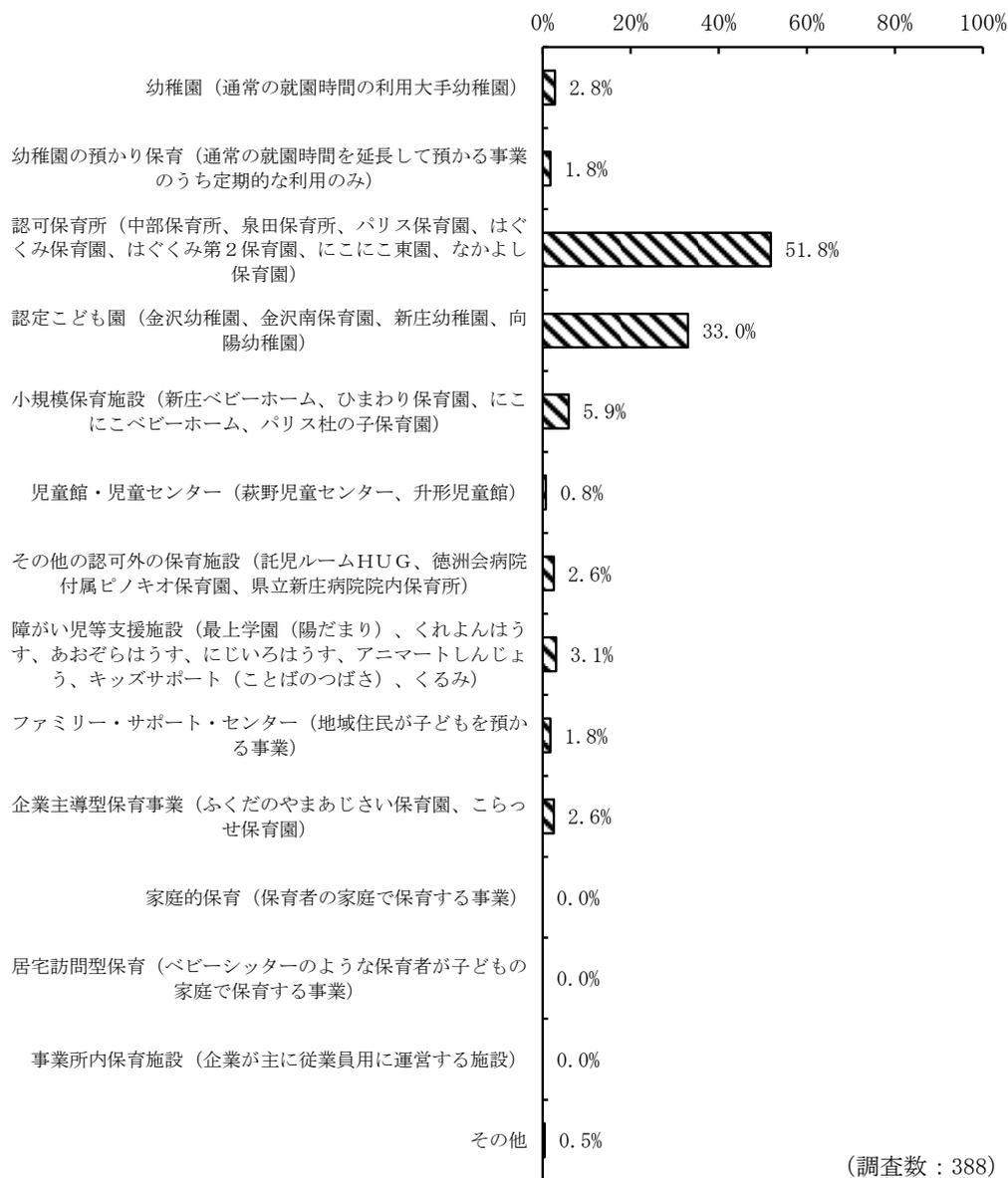


(調査数：489)

現在の教育・保育事業の利用状況では、「利用している」が 79.3%、「利用していない」が 20.2%となっている。

(2) 現在、利用している教育・保育事業【問 15-1】

問 15-1 問 15-1～問 15-4 は、問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。
宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

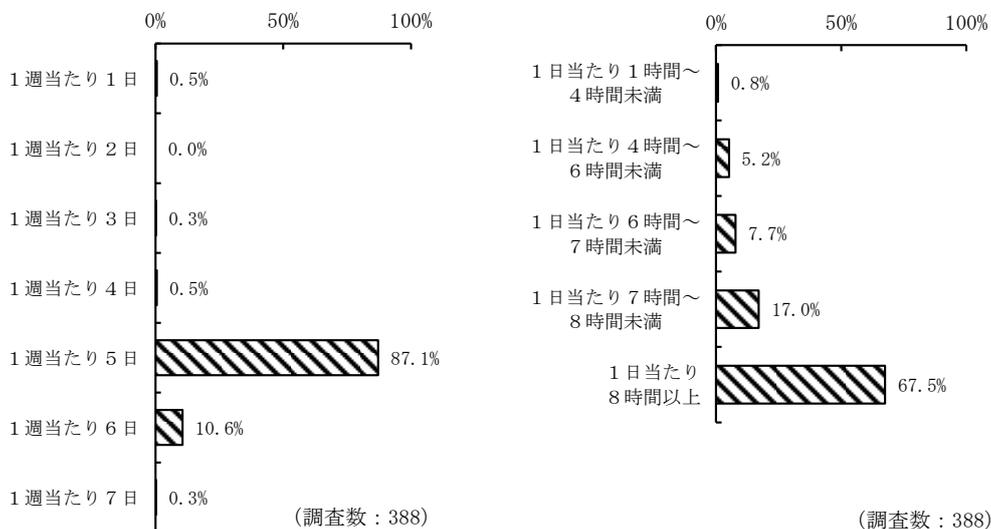


注 : 上記項目については、本市で行っていない事業も掲載しています。

現在利用している教育・保育事業では、「認可保育所 (中部保育所、泉田保育所、パリス保育園、はぐくみ保育園、はぐくみ第2保育園、にこにこ東園、なかよし保育園)」が 51.8%と最も多く、次いで「認定こども園 (金沢幼稚園、金沢南保育園、新庄幼稚園、向陽幼稚園)」(33.0%) となっている。

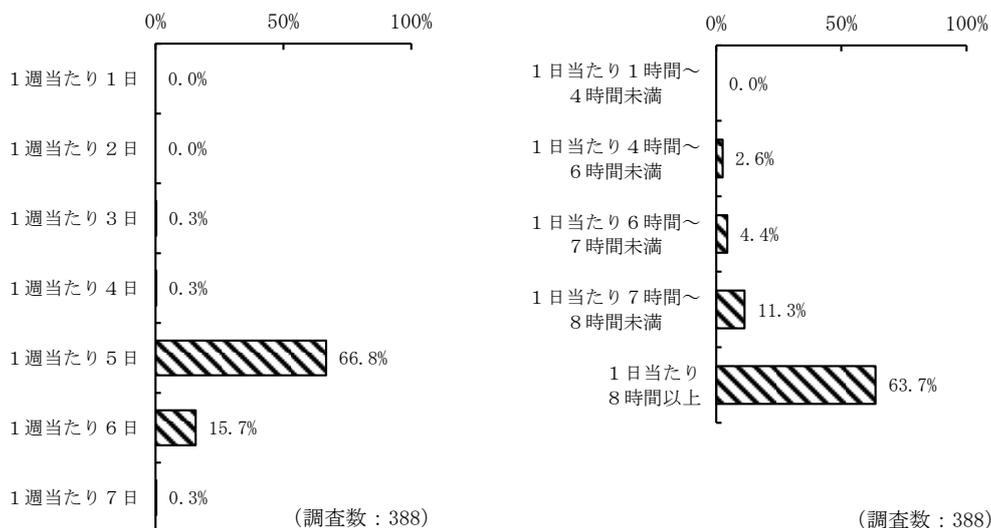
問 15-2 平日に定期的にご利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、口内に具体的な数字でご記入ください。

(3) 現在、教育・保育事業を利用している日数・時間【問 15-2(1)】



現在利用している教育・保育事業の1週当たりの利用日数では、「5日」が87.1%と最も多く、1日当たりの利用時間では、「8時間以上」が67.5%と最も多くなっている。

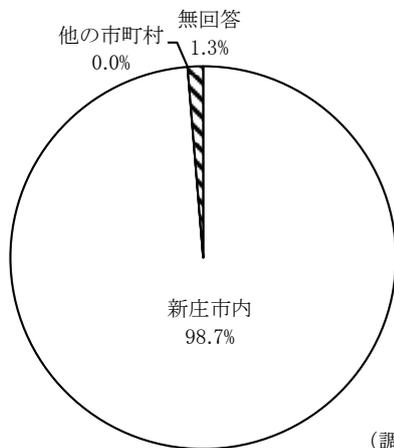
(4) 希望する教育・保育事業の利用日数・時間【問 15-2(2)】



希望する教育・保育事業の1週当たりの利用日数では、「5日」が66.8%と最も多く、1日当たりの利用時間では、「8時間以上」が63.7%と最も多くなっている。

(5) 現在、利用している教育・保育事業の場所【問 15-3】

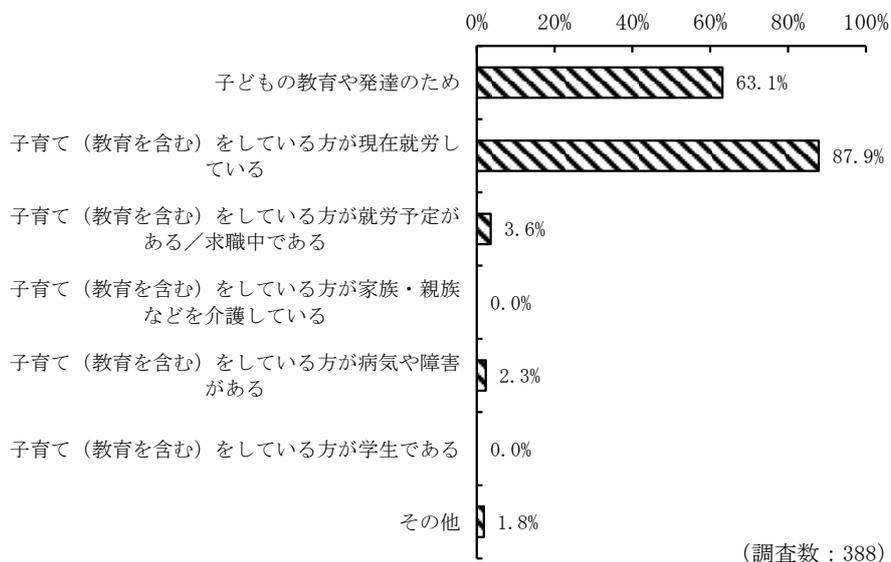
問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。
当てはまる番号1つに○をつけてください。



現在利用している教育・保育事業の場所では、「新庄市内」が98.7%となっており、ほとんどの方が新庄市内で利用している。

(6) 教育・保育事業を利用している理由【問 15-4】

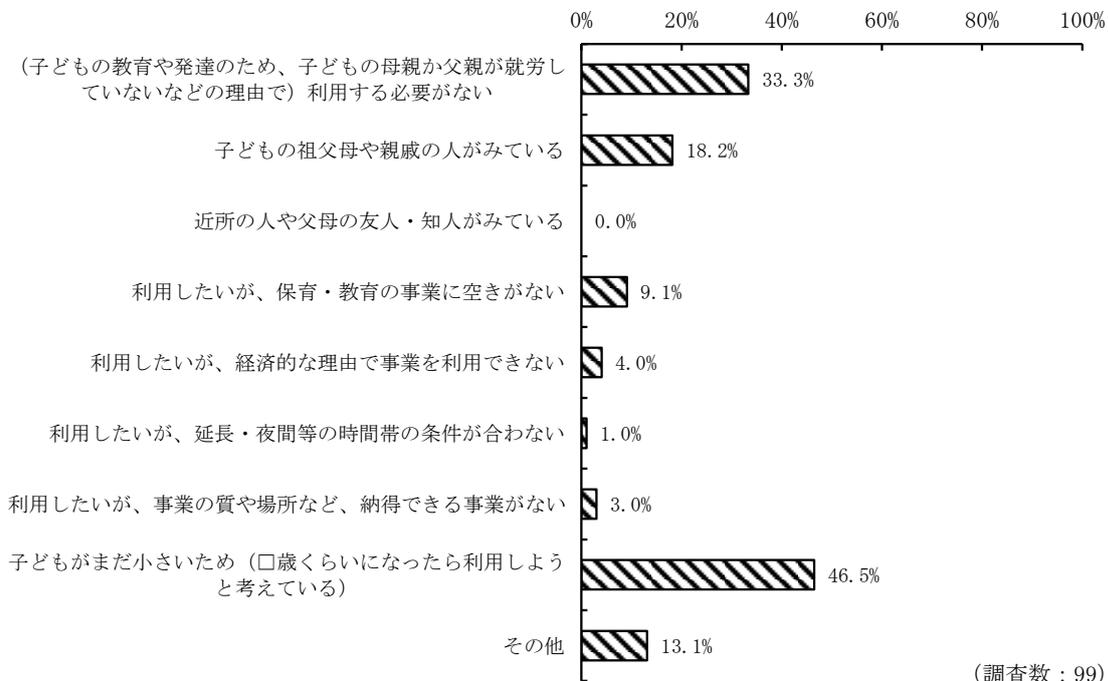
問 15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。



教育・保育事業を利用している理由では、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が87.9%と最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」（63.1%）となっている。

(7) 教育・保育事業を利用していない理由【問15-5】

問15-5 問15で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。



【問15-5で8を選択】

(単一回答)

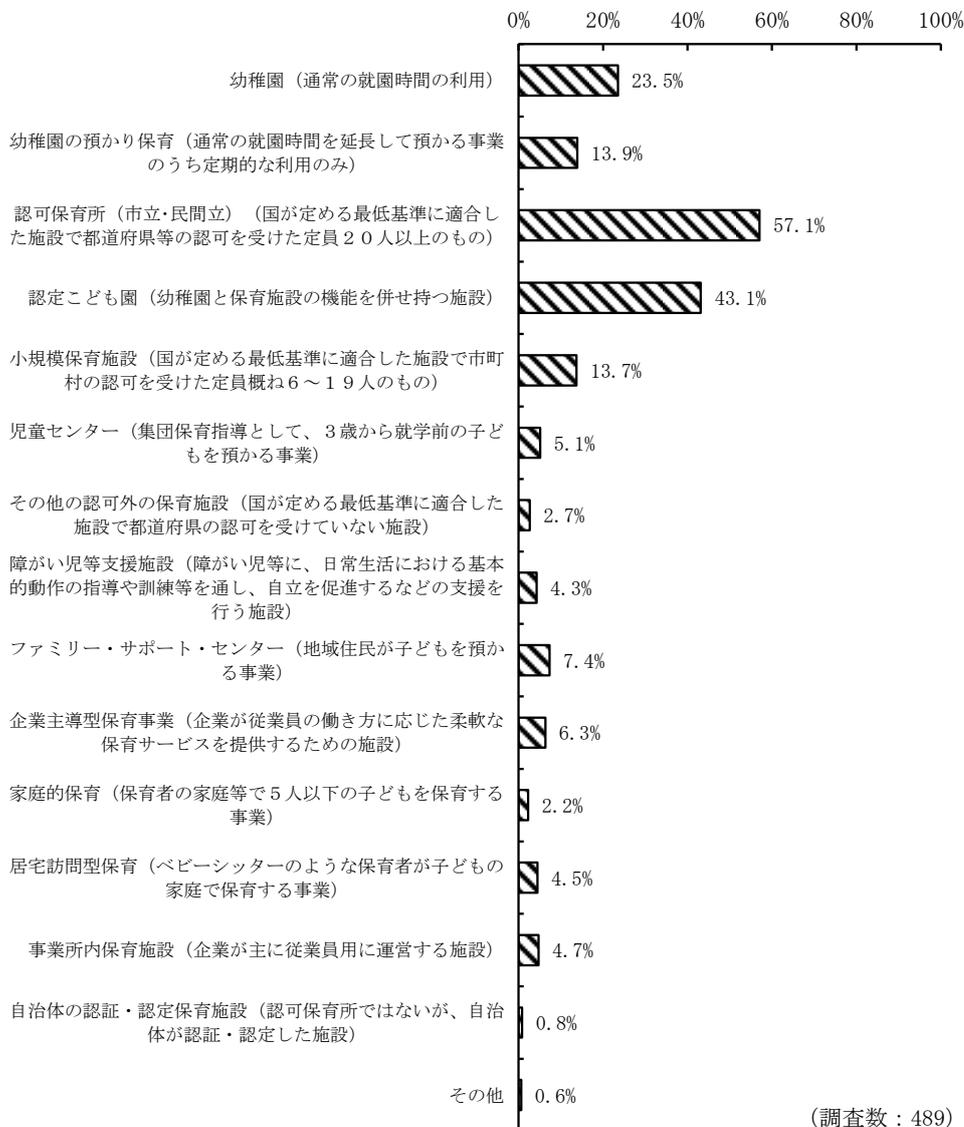
	1	2	3	4	無回答	合計
	1歳	2歳	3歳	4歳		
構成比	39.1%	13.0%	34.8%	8.7%	4.3%	100.0%

(調査数: 46)

教育・保育事業を利用していない理由では、「子どもがまだ小さいため (□歳くらいになったら利用しようと考えている)」が46.5%と最も多く、次いで「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」(33.3%)、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」(18.2%)となっている。

(8) 利用したい教育・保育事業【問 16】

問 16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

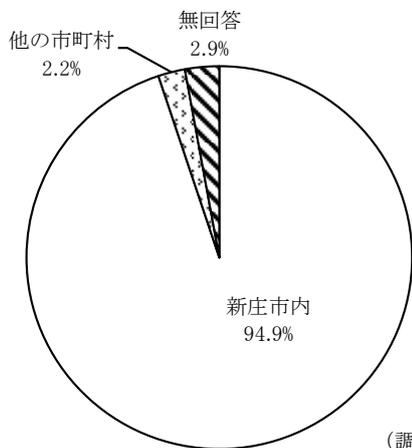


注: 上記項目については、本市で行っていない事業も掲載しています。

利用したい教育・保育事業では、「認可保育所 (市立・民間立) (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)」が57.1%と最も多く、次いで「認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)」(43.1%)、「幼稚園 (通常の就園時間の利用)」(23.5%)となっている。

(9) 教育・保育事業を利用したい場所【問 16-1】

問 16-1 教育・保育の事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

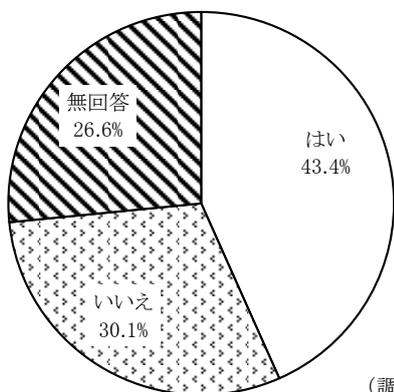


教育・保育事業を利用したい場所では、「新庄市内」が 94.9%となっており、ほとんどの方が新庄市内で利用したいと考えている。

(10) 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む）

の利用を強く希望【問 16-2】

問 16-2 問 16 で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ 3～15 にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。

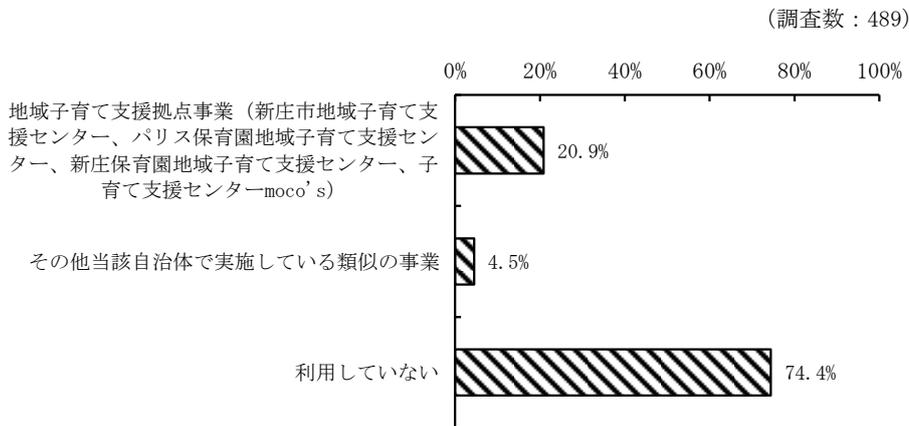


特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む）の利用を強く希望では、「はい」が 43.4%、「いいえ」が 30.1%となっている。

6. 地域の子育て支援事業の利用状況について

(1) 現在の地域子育て支援拠点事業の利用状況【問17】

問17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（新庄市地域子育て支援センターなどの、親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする事業です）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

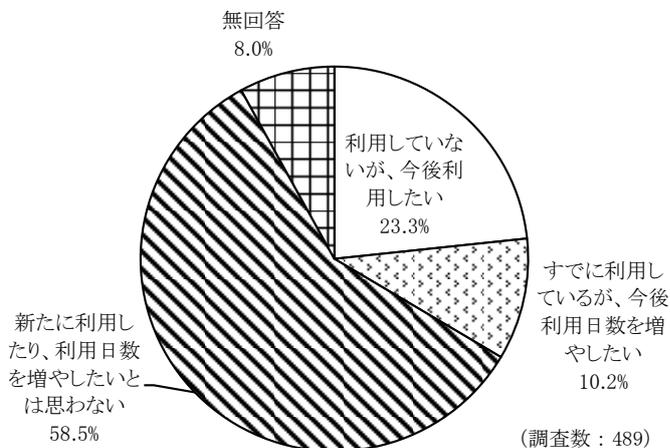


現在の地域子育て支援拠点事業の利用状況では、「地域子育て支援拠点事業（新庄市地域子育て支援センター、パリス保育園地域子育て支援センター、新庄保育園地域子育て支援センター、子育て支援センターmoco's）」が20.9%、「その他当該自治体で実施している類似の事業」が4.5%となっている。

一方、「利用していない」は74.4%となっている。

(2) 今後の地域子育て支援拠点事業の利用希望について【問18】

問18 問17のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。



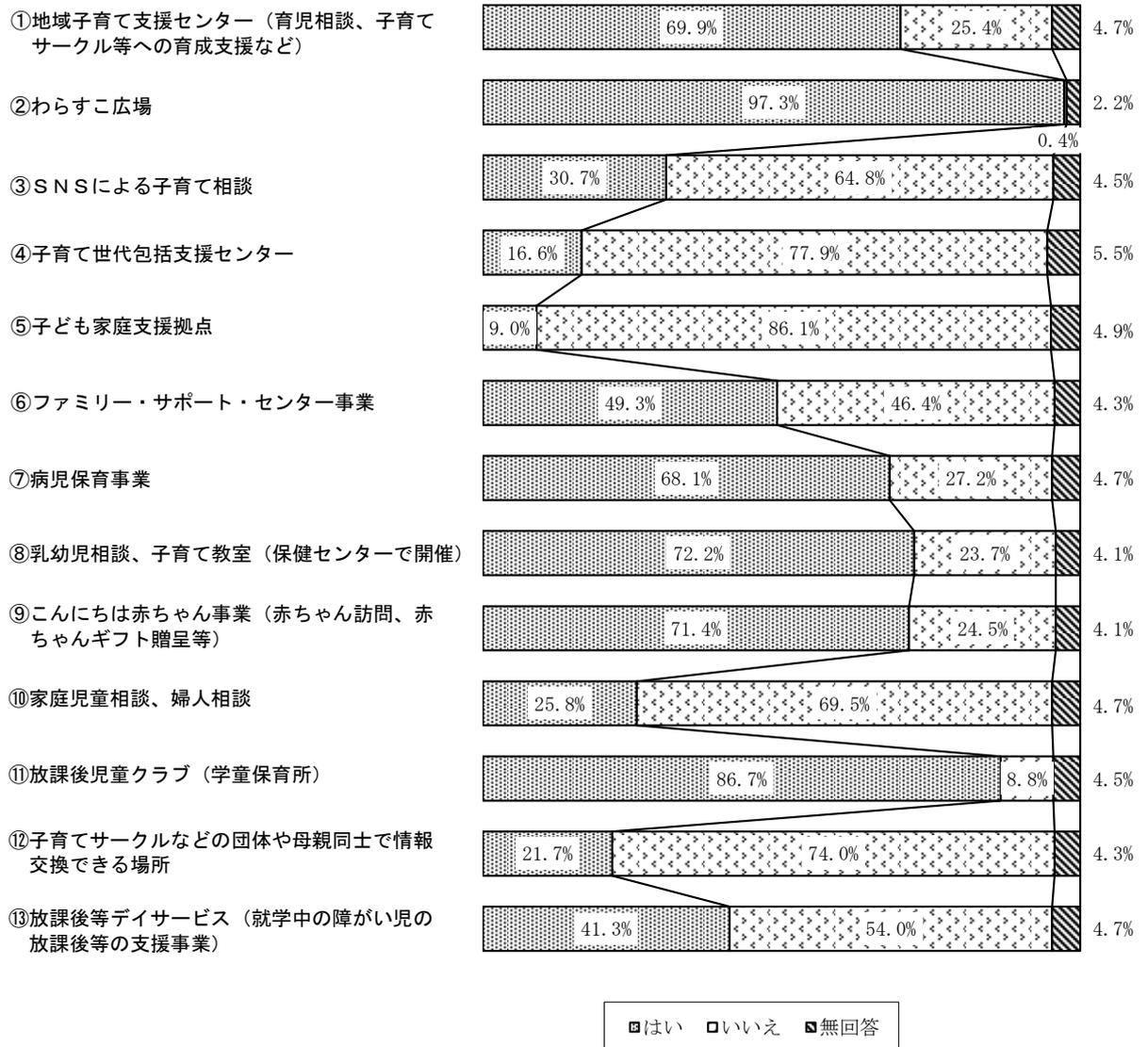
今後の地域子育て支援拠点事業の利用希望では、「利用していないが、今後利用したい」(23.3%)、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」(10.2%)と利用希望は3割を超える。

(3) 本市で行っている事業の認識度、利用の有無、今後の利用希望について【問 19】

問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑬の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

【A知っている】

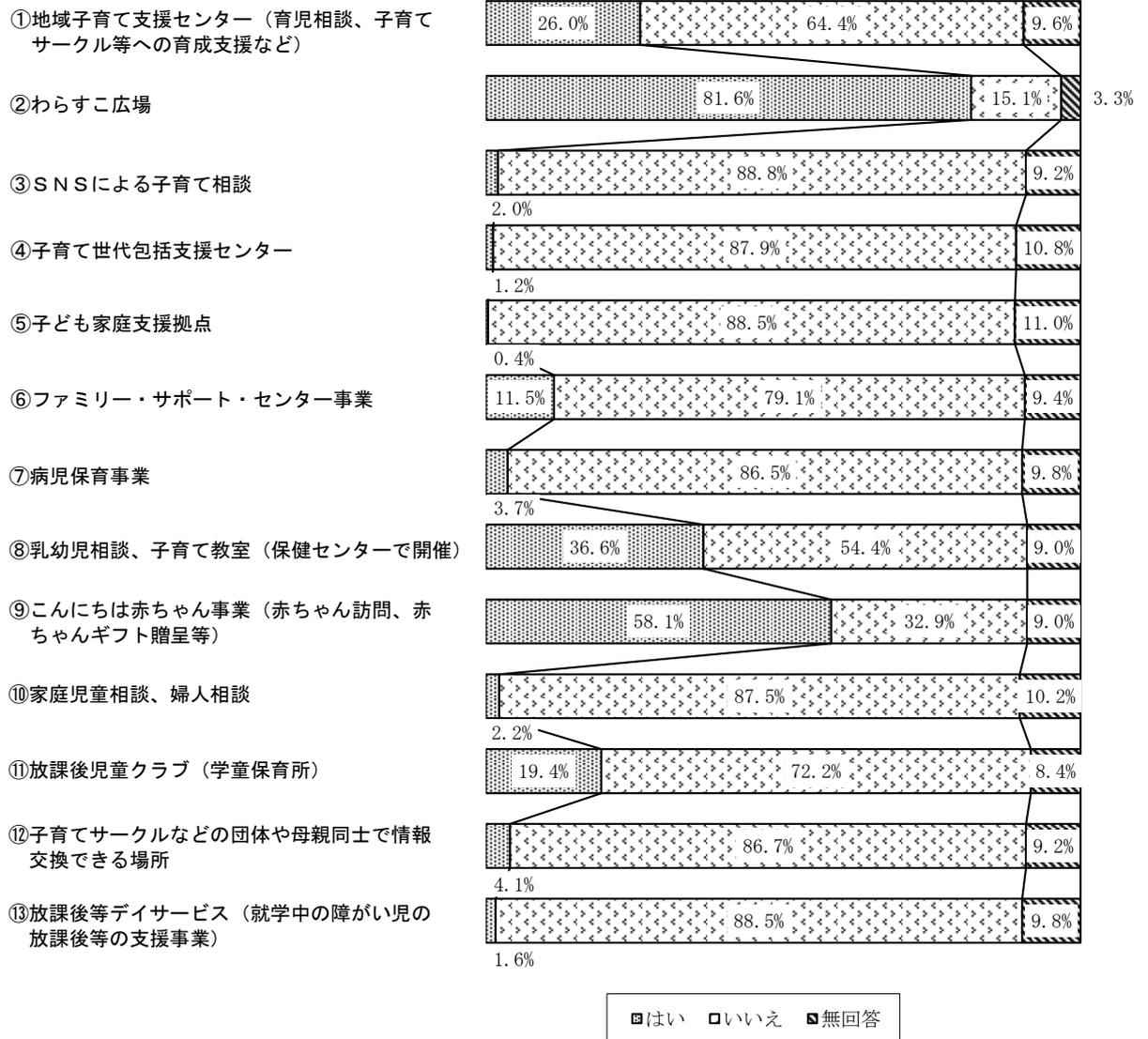
(調査数：489)



事業の認識度では、「わらすこ広場」が 97.3%と最も多く、次いで「放課後児童クラブ (学童保育所)」(86.7%)、「乳幼児相談、子育て教室 (保健センターで開催)」(72.2%)となっている。

【B これまでに利用したことがある】

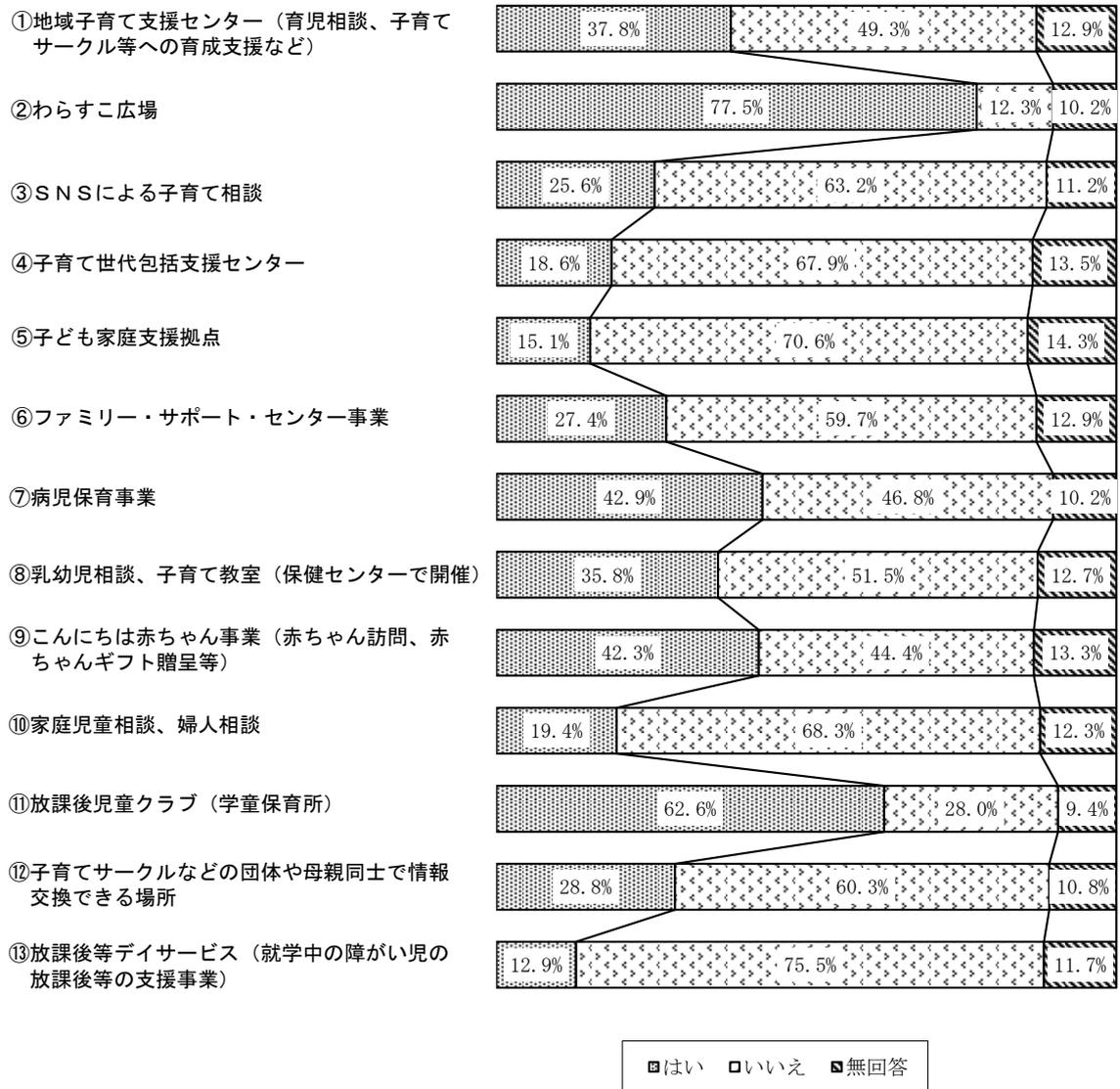
(調査数：489)



事業を利用したことがあるかでは、「わらすこ広場」が81.6%と最も多く、次いで「こんにちは赤ちゃん事業（赤ちゃん訪問、赤ちゃんギフト贈呈等）」（58.1%）、「乳幼児相談、子育て教室（保健センターで開催）」（36.6%）となっている。

【C今後利用したい】

(調査数：489)



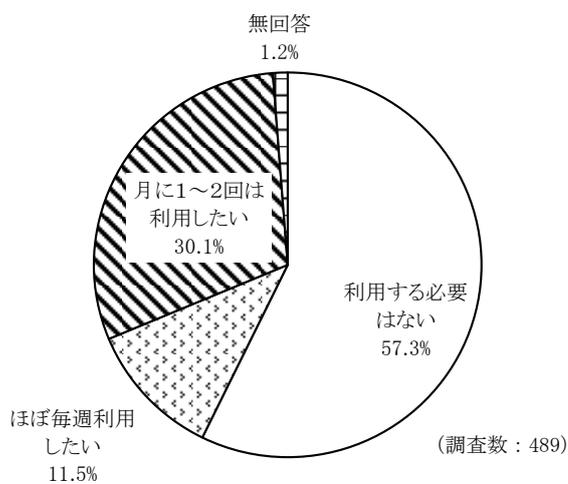
今後の事業の利用希望では、「わらすこ広場」が77.5%と最も多く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育所）」（62.6%）、「病児保育事業」（42.9%）、「こんにちは赤ちゃん事業（赤ちゃん訪問、赤ちゃんギフト贈呈等）」（42.3%）となっている。

7. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

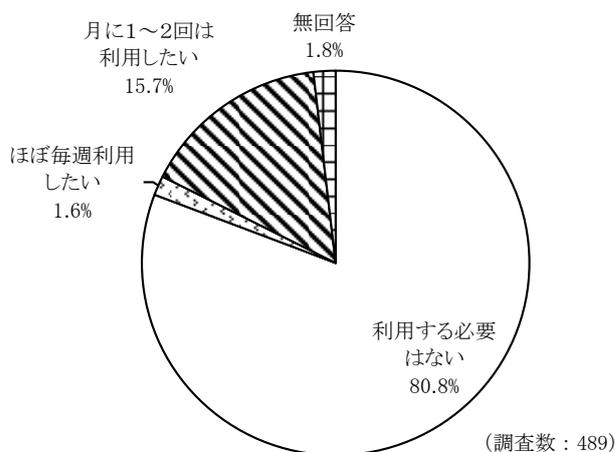
（1）土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望【問 20(1)】



土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望では、「利用する必要はない」が57.3%と最も多くなっている。

一方、「月に1～2回は利用したい」（30.1%）、「ほぼ毎週利用したい」（11.5%）と利用希望は4割以上となっている。

（2）日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望【問 20(2)】

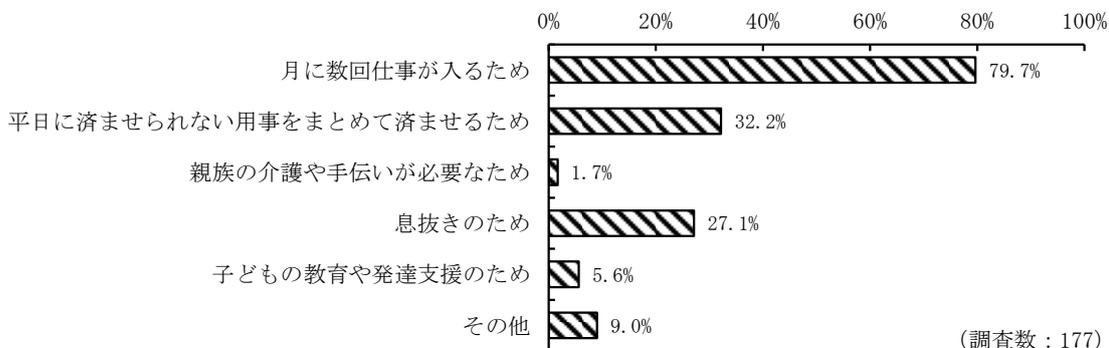


日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望では、「利用する必要はない」が80.8%と最も多くなっている。

一方、「月に1～2回は利用したい」（15.7%）、「ほぼ毎週利用したい」（1.6%）と利用希望は約2割となっている。

(3) 毎週ではなく、たまに利用したい理由【問 20-1】

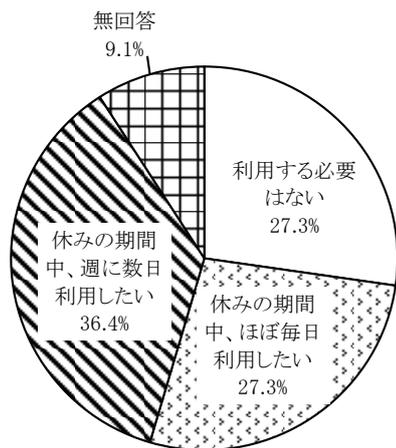
問 20-1 問 20 の (1) もしくは (2) で、「3. 月に 1～2 回は利用したい」に○をつけた方にかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



毎週ではなく、たまに利用したい理由では、「月に数回仕事が入るため」が 79.7%と最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(32.2%)、「息抜きのため」(27.1%) となっている。

(4) 長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望【問 21】

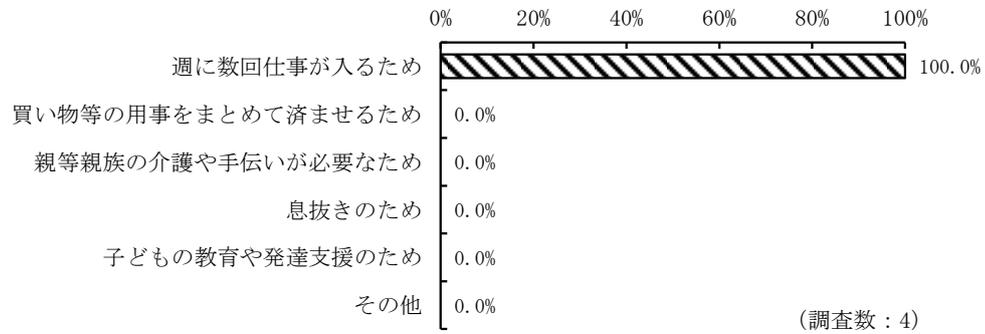
問 21 「幼稚園」を利用されている方にかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。



幼稚園を利用されている方の長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望では、「休みの期間中、週に数日利用したい」(36.4%)、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(27.3%) と利用希望は 6 割以上となっている。

(5) 毎日ではなく、たまに利用したい理由【問 21-1】

問 21-1 問 21 で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

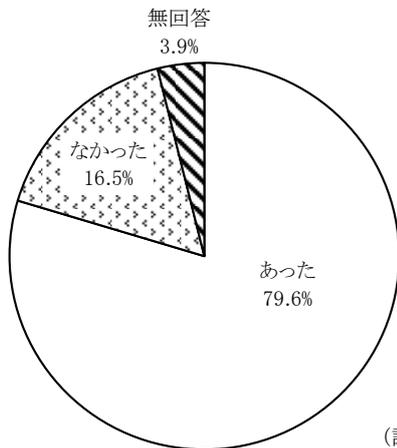


毎日ではなく、たまに利用したい理由では、「週に数回仕事が入るため」が 100.0%となっている。

8. 病気の際の対応について（平日の教育・保育事業を利用する方のみ）

(1) この1年間に、病気やケガで通常の事業が利用できなかった状況【問 22】

問 22 平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた保護者の方（問 15 で1に○をつけた方）にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問 23にお進みください。
 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかったことはありますか。

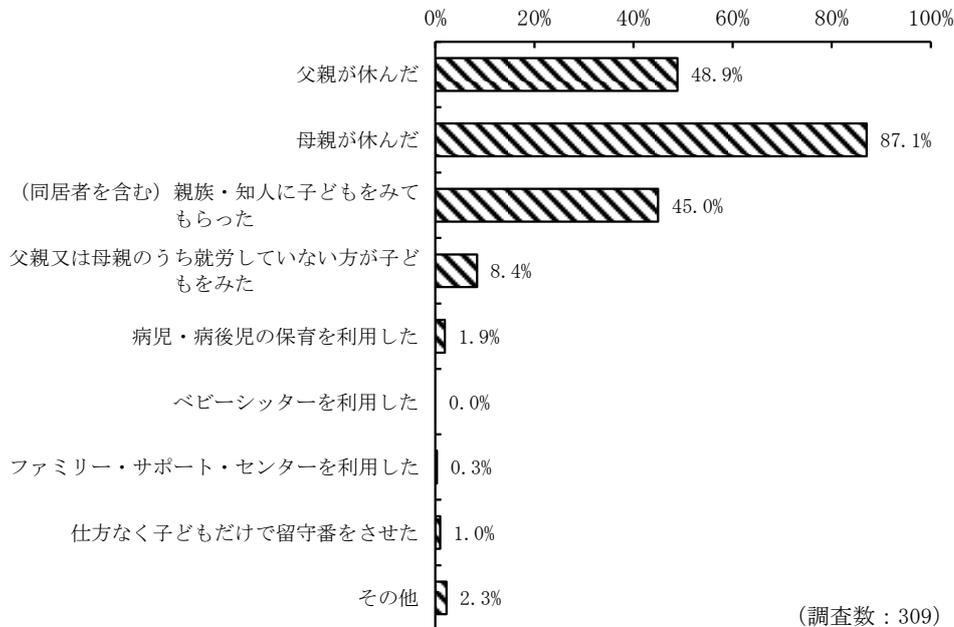


この1年間に、病気やケガで通常の事業が利用できなかった状況では、「あった」が79.6%、「なかった」が16.5%となっている。

(調査数：388)

(2) 通常の事業が利用できなかった場合の対処方法【問 22-1】

問 22-1 宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。



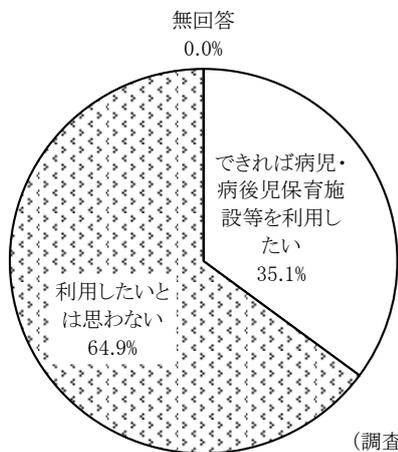
(調査数：309)

病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合の対処方法では、「母親が休んだ」が87.1%と最も多く、次いで「父親が休んだ」(48.9%)、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」(45.0%)となっており、母親への依存度が高くなっている。

(3) 病気やケガ時、保育施設等の利用希望【問 22-2】

問 22-1 で「1.」「2.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

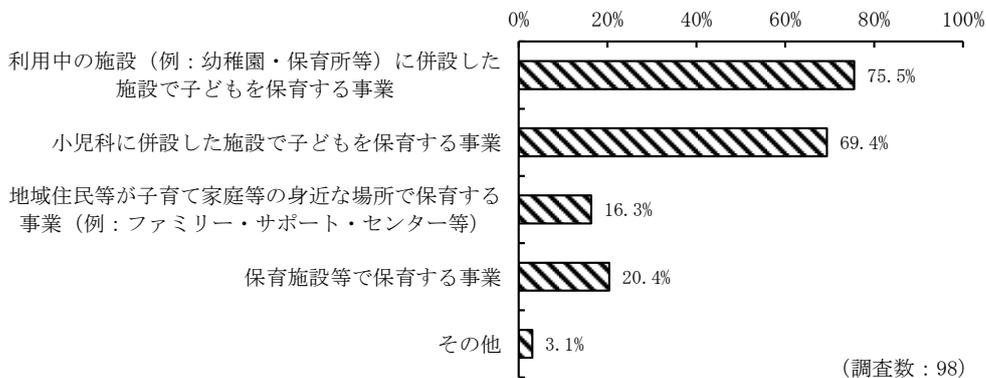
問 22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。



病気やケガ時、保育施設等の利用希望では、「利用したいと思わない」が64.9%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が35.1%となっている。

(4) 病気やケガで預ける場合の望ましい事業形態【問 22-3】

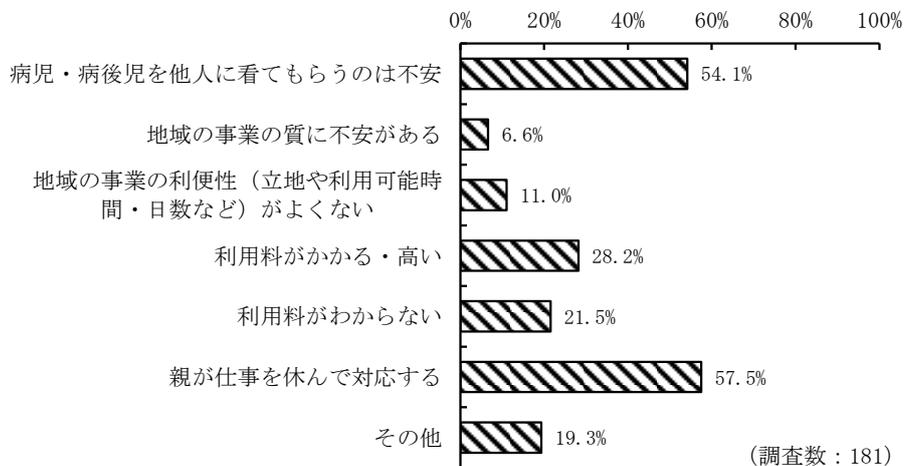
問 22-3 問 22-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



病気やケガで預ける場合の望ましい事業形態では、「利用中の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が75.5%と最も多く、次いで「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」（69.4%）となっている。

(5) 病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由【問 22-4】

問 22-4 問 22-2 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

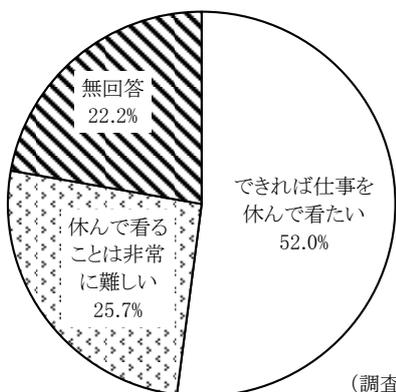


病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由では、「親が仕事を休んで対応する」が57.5%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(54.1%)となっている。

(6) 病気やケガ時、できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったか【問 22-5】

問 22-1 で「3.」から「9.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

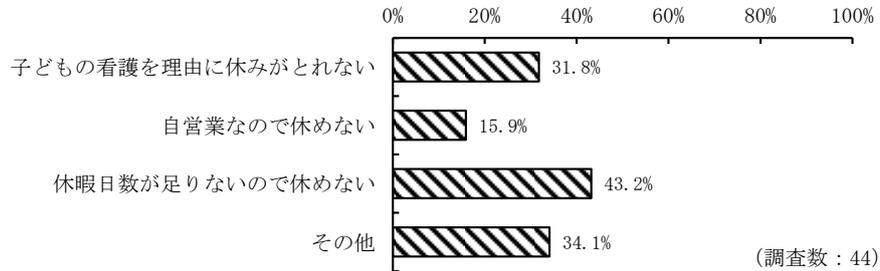
問 22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「3.」から「9.」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください。



病気やケガ時、できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったかでは、「できれば仕事を休んで看たい」が52.0%、「休んで看ることは非常に難しい」が25.7%となっている。

(7) 病気やケガ時、休んで看することは非常に難しいと思われる理由【問 22-6】

問 22-6 問 22-5 で「2. 休んで看することは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。



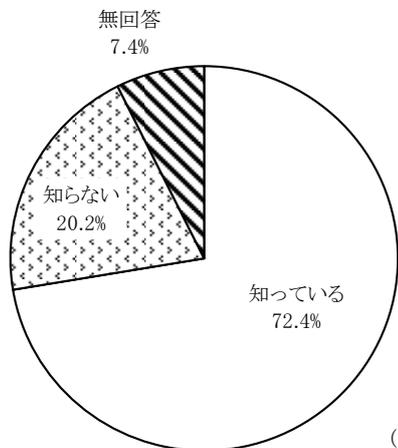
病気やケガ時、休んで看することは非常に難しいと思われる理由では、「休暇日数が足りないので休めない」が43.2%と最も多く、次いで「その他」(34.1%)、「子どもの看護を理由に休みがとれない」(31.8%)となっている。

「その他」では、「職場の人手不足」、「仕事を代理できる人がいない」などが挙げられた。

(8) 山形県小児救急でんわ相談ダイヤルの認知度【問 23】

問 23 山形県小児救急でんわ相談ダイヤルを知っていますか。

(15歳未満：#8000 または、TEL023-633-0299 午後6時～翌日午前8時)

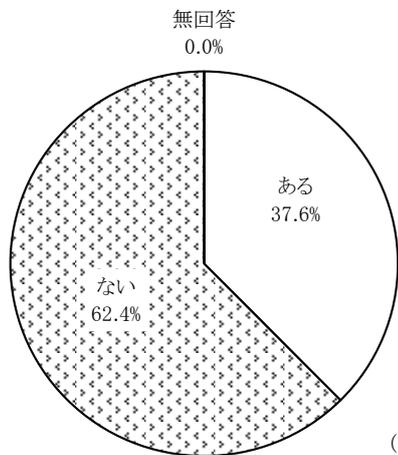


山形県小児救急でんわ相談ダイヤルの認知度では、「知っている」が72.4%、「知らない」が20.2%となっている。

(9) 利用の有無【問 23-1】

問 23 で「1. 知っている」に○をつけた方にうかがいます。

問 23-1 利用したことは、ありますか。

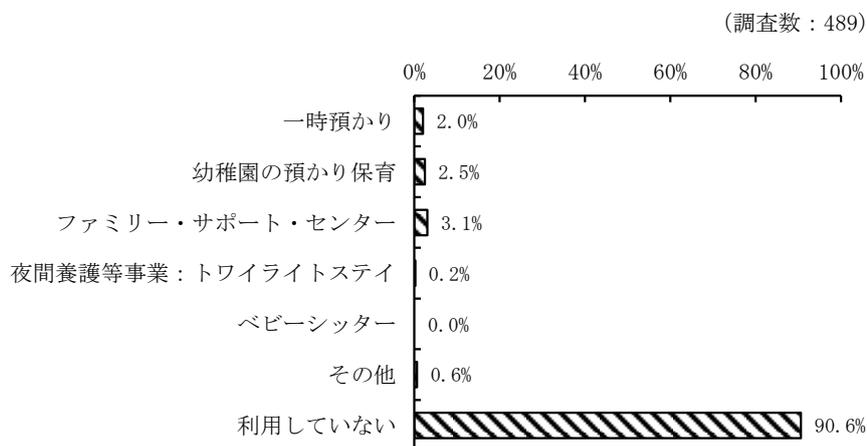


利用したことが「ない」が62.4%、「ある」が37.6%となっている。

9. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

(1) 私用等の目的で利用している不定期の教育・保育事業【問 24】

問 24 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不
定期の就労等の目的で不定期的に利用しているサービスはありますか。ある場合は、当てはまる番
号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。



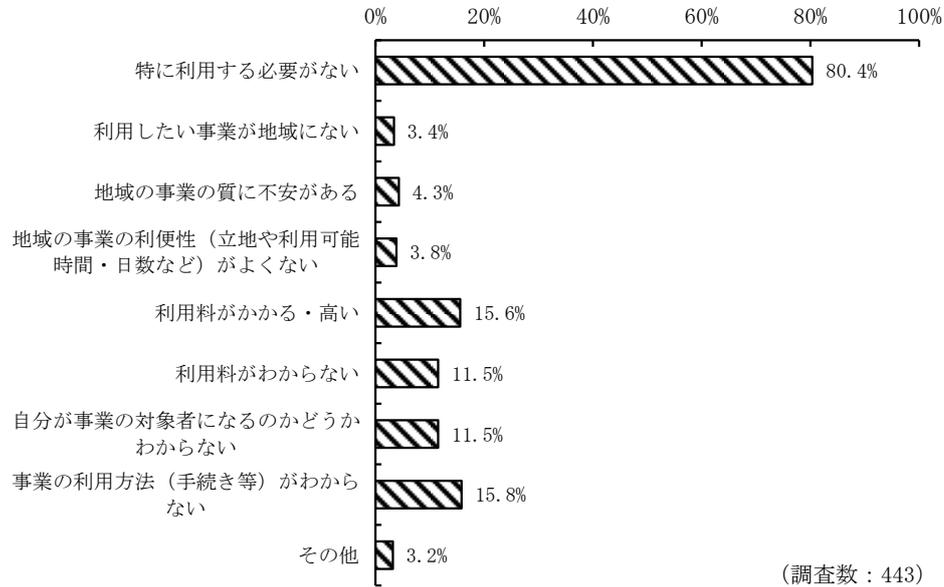
一時預かり … 私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業 ※障がい児等支援施設を含む
 幼稚園の預かり保育 … 通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期的に利用する場合のみ
 ファミリー・サポート・センター … 地域住民が子どもを預かる事業
 夜間養護等事業：トワイライトステイ … 児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業

私用等の目的で利用している不定期の教育・保育事業では、「ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）」(3.1%)、「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期的に利用する場合のみ）」(2.5%)、「一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業 ※障がい児等支援施設を含む）」(2.0%) と一時預かりの利用率は低くなっている。

(2) 現在利用していない理由【問 24-1】

問 24 で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

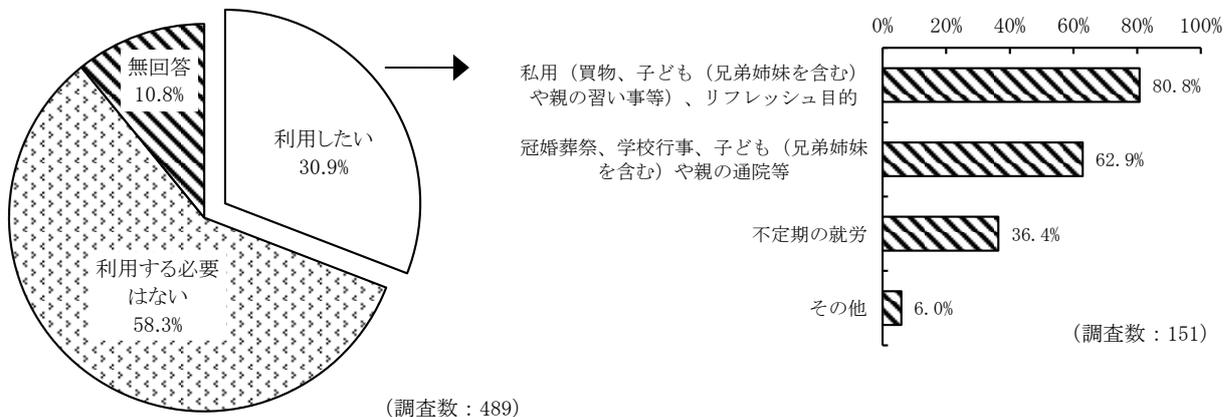
問 24-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



不定期の教育・保育事業を現在利用していない理由では、「特に利用する必要がない」が80.4%と最も多く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」（15.8%）、「利用料がかかる・高い」（15.6%）となっている。

(3) サービスの利用希望【問 25】

問 25 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらいサービスを利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。）。

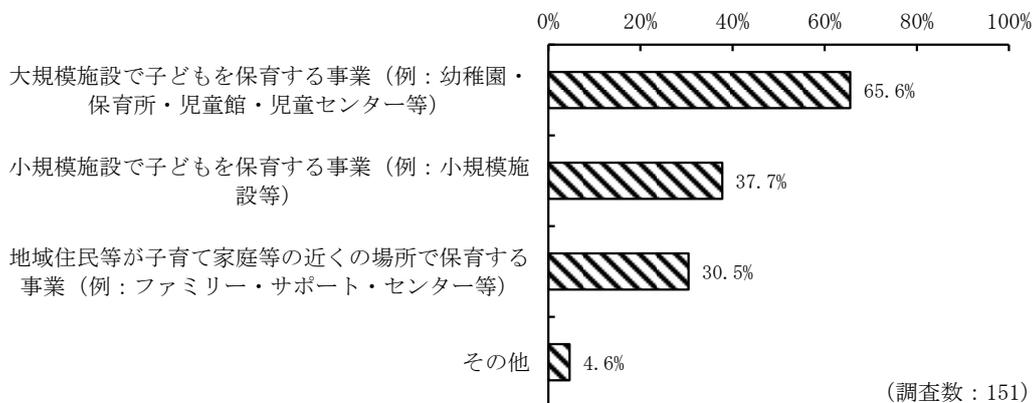


利用希望の有無では、「利用したい」が30.9%、「利用する必要はない」が58.3%となっている。

利用したい理由では、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が80.8%と最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が（62.9%）となっている。

(4) 私用等の目的でお子さんを預ける場合の望ましい事業形態【問 25-1】

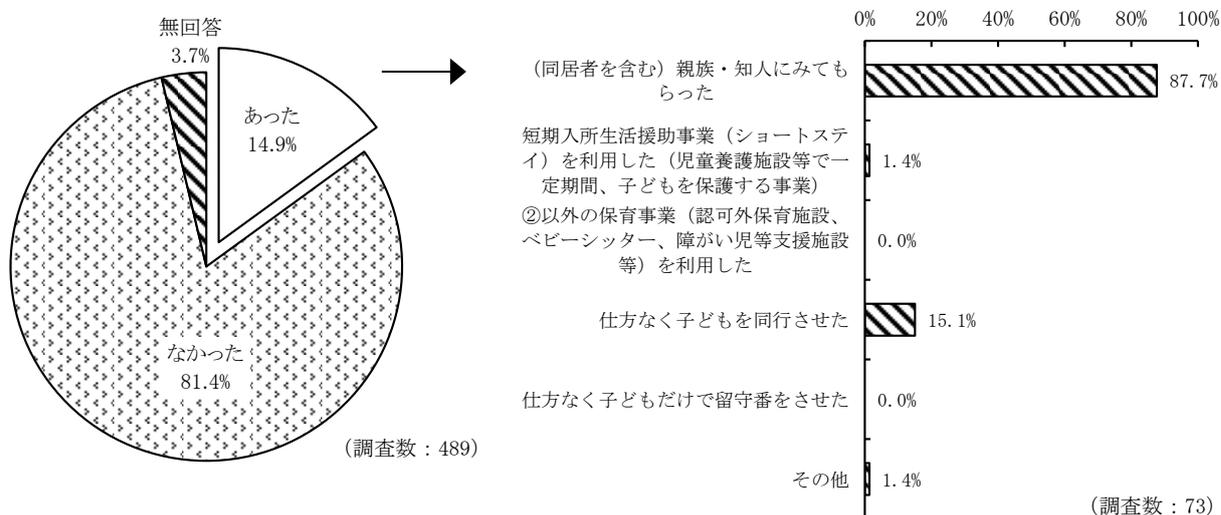
問 25-1 問 25 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 25 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



私用等の目的で子どもを預ける場合の望ましい事業形態では、「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所・児童館・児童センター等）」が65.6%と最も多く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業（例：小規模施設等）」（37.7%）となっている。

(5) この1年間での、宿泊を伴う一時預かり等の対処方法【問 26】

問 26 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。

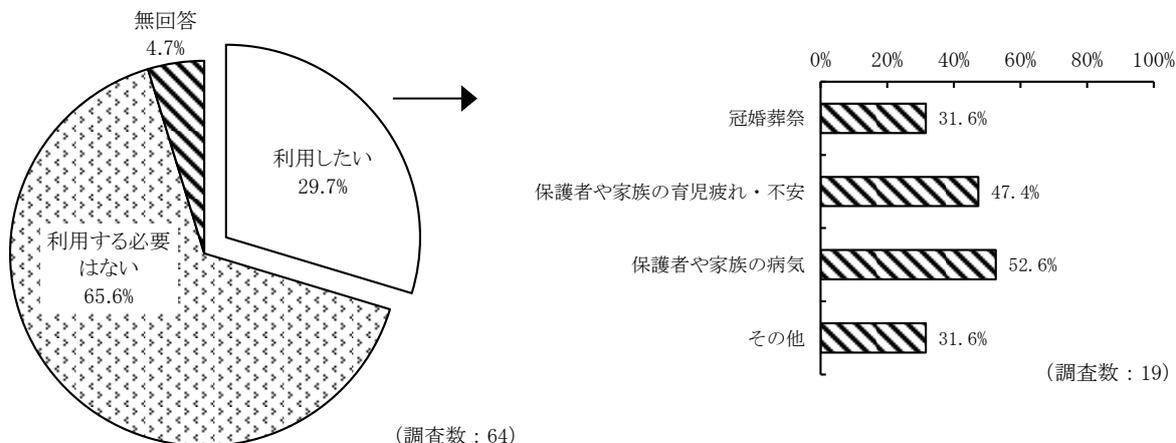


保護者の用事で子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったかでは、「あった」が14.9%、「なかった」が81.4%となっている。

あった場合の対処方法では、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が87.7%と最も多くなっている。

(6) 短期入所生活援助事業の利用希望の有無【問 26-1】

問 26 で「1. あった ①(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。問 26-1 短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数を口内に数字でご記入ください。



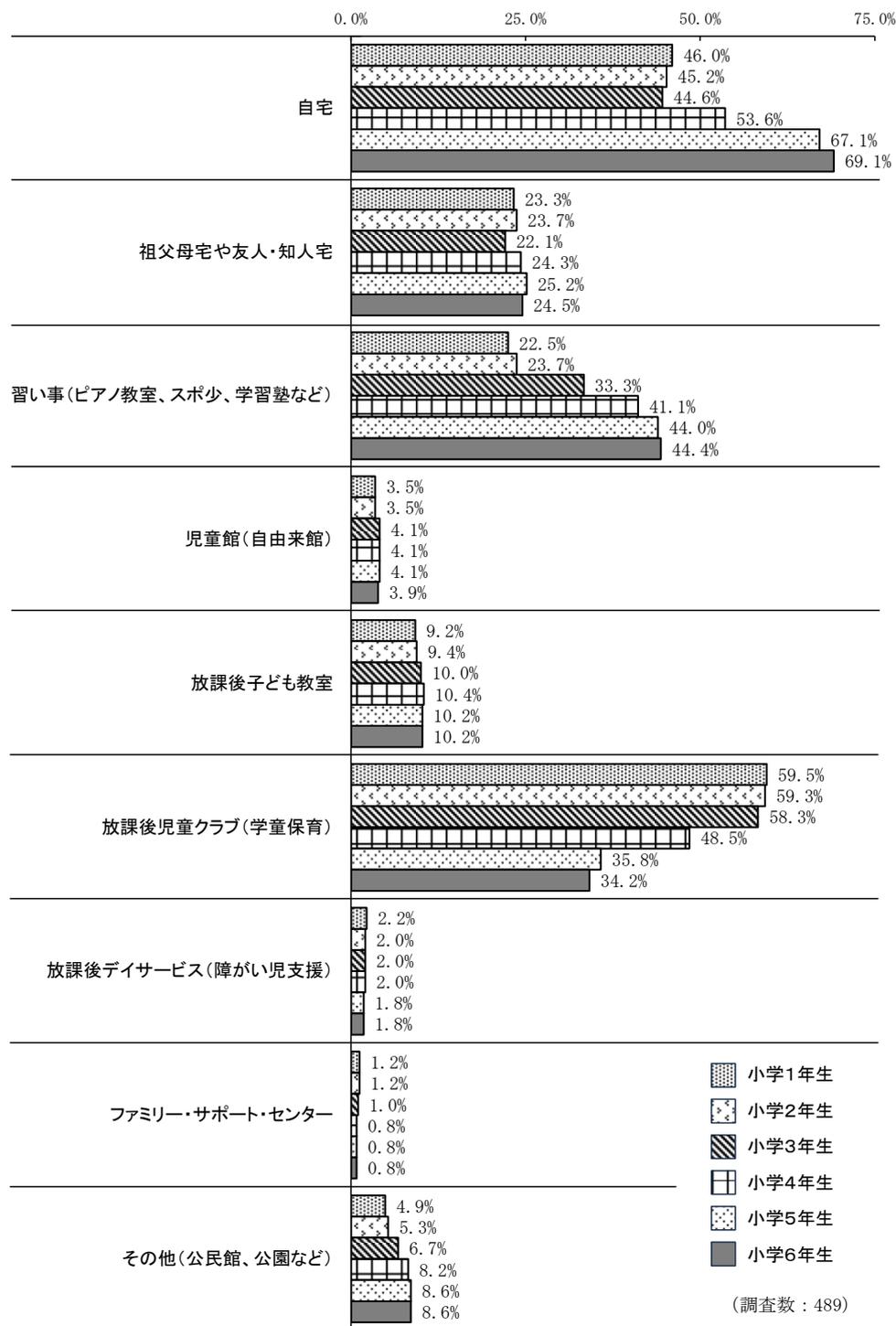
短期入所生活援助事業の利用希望の有無では、「利用したい」が29.7%、「利用する必要はない」が65.6%となっている。

利用したい理由では、「保護者や家族の病気」が52.6%と最も多く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」(47.4%)となっている。

10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

(1) 過ごさせたい場所【問 27】

問 27 宛名のお子さんについて、小学生になったら、1年生から6年生までの放課後を、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。学年別の欄に下記（選択肢1から9までの選択した番号すべてを記入してください。）



放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいかでは、低学年では「放課後児童クラブ（学童保育）」が多く、高学年では「自宅」、「習い事（ピアノ教室、スポ少、学習塾など）」が多い傾向となっている。

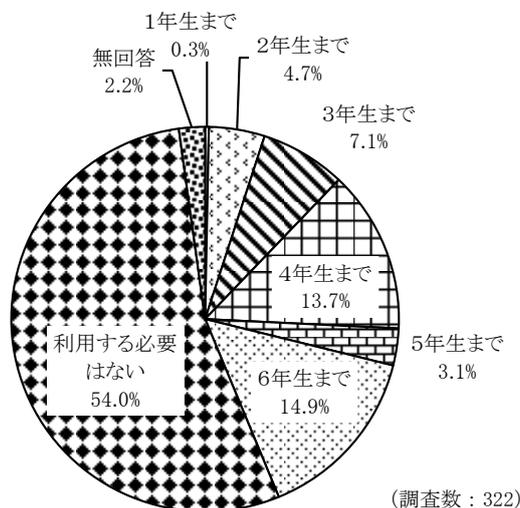
(2) 場所ごとの日数【問 28】

問 28 宛名のお子さんについて、問 27 で選んだ場所で過ごさせたいと希望するのは、週何日ぐらいですか。選択した番号に対応する表の内に数字でご記入ください。なお、「6. 放課後児童クラブ」「7. 放課後等デイサービス（障がい児支援）」の場合には、何時まで利用を希望するかも数字でお書きください。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、スポーツ、学習塾など）	児童館（自由来館）	放課後子ども教室	放課後児童クラブ（学童保育）	放課後デイサービス（障がい児支援）	ファミリー・サポート・センター	その他（公民館、公園など）	
小学1年生	週1日	4.9%	14.9%	44.5%	29.4%	44.4%	2.4%	27.3%	50.0%	20.8%
	週2日	10.7%	24.6%	30.9%	29.4%	8.9%	5.2%	0.0%	0.0%	54.2%
	週3日	8.0%	7.0%	9.1%	5.9%	4.4%	3.4%	9.1%	33.3%	4.2%
	週4日	1.8%	1.8%	1.8%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	週5日	39.1%	36.0%	0.0%	11.8%	15.6%	75.3%	63.6%	0.0%	0.0%
	週6日	4.9%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	5.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	週7日	20.9%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
小学2年生	週1日	5.4%	14.7%	43.1%	29.4%	43.5%	2.1%	30.0%	50.0%	26.9%
	週2日	11.3%	25.9%	31.9%	35.3%	10.9%	5.2%	0.0%	0.0%	46.2%
	週3日	7.2%	7.8%	11.2%	0.0%	4.3%	3.4%	10.0%	33.3%	3.8%
	週4日	2.7%	1.7%	1.7%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	3.8%
	週5日	37.6%	34.5%	0.9%	11.8%	15.2%	75.2%	60.0%	0.0%	0.0%
	週6日	5.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	週7日	20.8%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
小学3年生	週1日	6.9%	13.0%	34.4%	30.0%	40.8%	2.5%	30.0%	60.0%	24.2%
	週2日	13.8%	25.0%	32.5%	35.0%	16.3%	5.6%	0.0%	0.0%	45.5%
	週3日	6.0%	13.0%	17.2%	0.0%	4.1%	5.3%	10.0%	20.0%	6.1%
	週4日	3.2%	1.9%	1.2%	0.0%	0.0%	3.5%	0.0%	0.0%	3.0%
	週5日	36.2%	31.5%	2.5%	10.0%	12.2%	72.6%	60.0%	0.0%	3.0%
	週6日	4.6%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	週7日	19.7%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
小学4年生	週1日	6.1%	17.6%	22.9%	30.0%	37.3%	3.4%	30.0%	50.0%	17.5%
	週2日	11.8%	18.5%	41.3%	30.0%	15.7%	6.3%	0.0%	0.0%	42.5%
	週3日	9.2%	15.1%	15.9%	5.0%	5.9%	6.3%	0.0%	25.0%	12.5%
	週4日	3.8%	3.4%	4.0%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	2.5%
	週5日	41.2%	26.1%	2.5%	0.0%	11.8%	70.5%	60.0%	0.0%	5.0%
	週6日	2.3%	1.7%	0.5%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	週7日	16.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
小学5年生	週1日	4.9%	17.9%	23.3%	35.0%	36.0%	5.1%	33.3%	50.0%	21.4%
	週2日	11.0%	21.1%	43.3%	25.0%	18.0%	9.1%	0.0%	0.0%	33.3%
	週3日	8.5%	13.8%	14.9%	5.0%	6.0%	8.0%	0.0%	25.0%	14.3%
	週4日	3.4%	4.1%	5.6%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	2.4%
	週5日	44.8%	23.6%	3.3%	10.0%	14.0%	60.6%	66.7%	0.0%	2.4%
	週6日	2.4%	1.6%	0.5%	0.0%	0.0%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	週7日	14.9%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
小学6年生	週1日	4.7%	17.5%	23.0%	36.8%	38.0%	5.4%	33.3%	50.0%	21.4%
	週2日	10.1%	20.8%	41.5%	26.3%	18.0%	9.6%	0.0%	0.0%	33.3%
	週3日	8.6%	14.2%	16.6%	0.0%	6.0%	7.8%	0.0%	25.0%	11.9%
	週4日	3.0%	4.2%	5.1%	5.3%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	4.8%
	週5日	46.2%	22.5%	3.7%	5.3%	14.0%	59.3%	66.7%	0.0%	2.4%
	週6日	3.0%	1.7%	0.5%	0.0%	0.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	週7日	14.5%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問 29 問 27 または問 28 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」「7. 放課後等デイサービス（障がい児支援）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブ等の利用希望はありますか。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

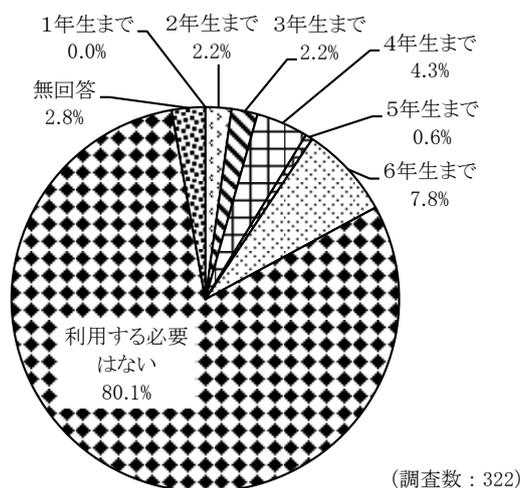
（3）土曜日の放課後児童クラブの利用希望【問 29(1)】



土曜日の放課後児童クラブの利用希望では、「6年生までは利用したい」が14.9%、「4年生までは利用したい」が13.7%となっている。

一方、「利用する必要はない」は54.0%となっている。

（4）日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望【問 28(2)】

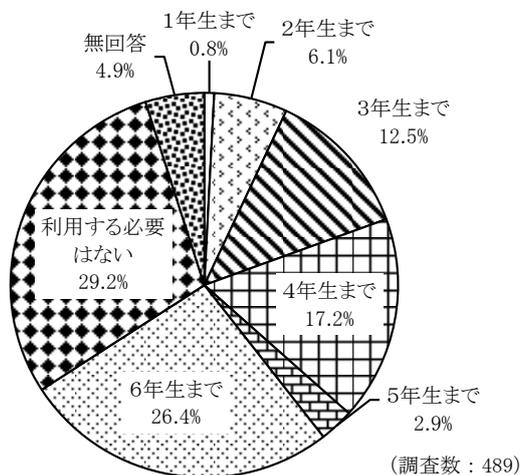


日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望では、「6年生までは利用したい」が7.8%、「4年生までは利用したい」が4.3%となっている。

一方、「利用する必要はない」は80.1%となっている。

(5) 長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望【問 30】

問 30 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の「放課後児童クラブ」の利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

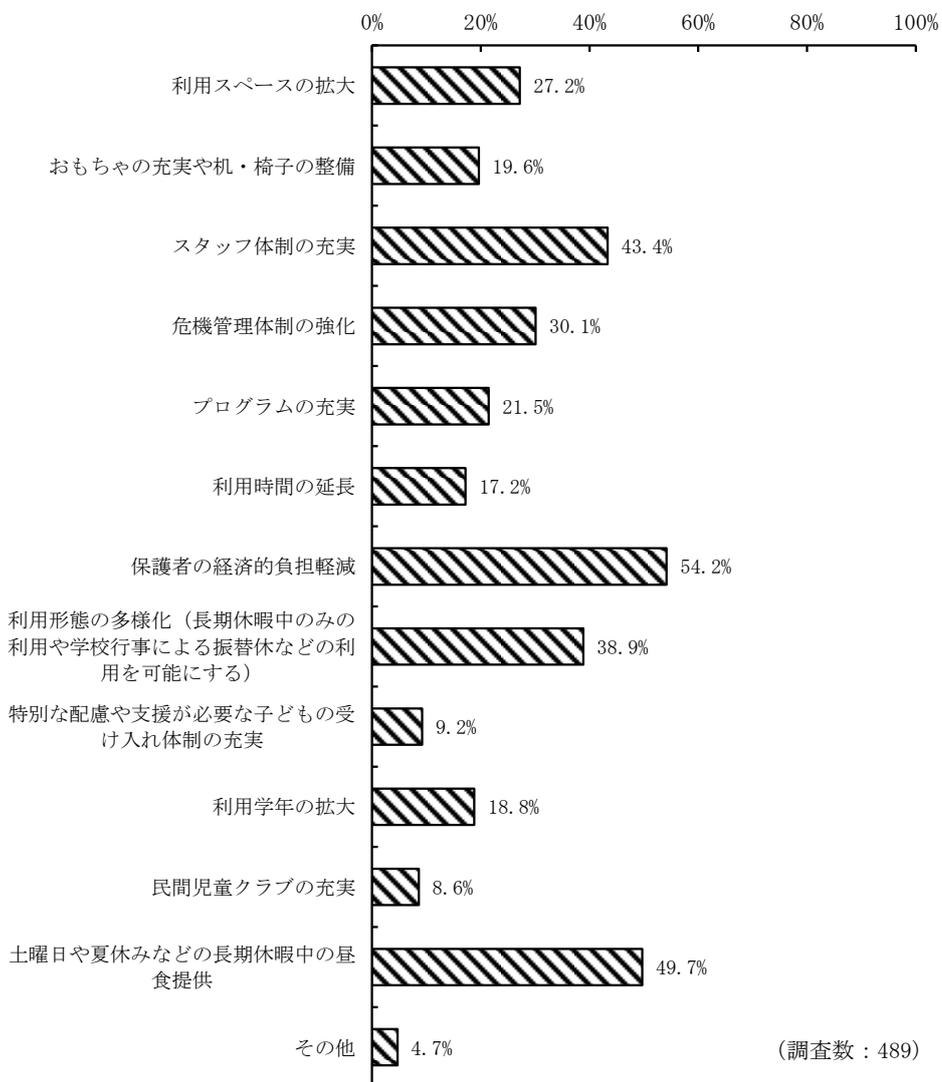


長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望では、「6年生までは利用したい」が26.4%、「4年生までは利用したい」(17.2%)、「3年生までは利用したい」(12.5%)となっている。

一方、「利用する必要はない」は29.2%となっている。

(6) 放課後児童クラブに今後望むこと【問31】

問31 放課後児童クラブに今後望むことは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



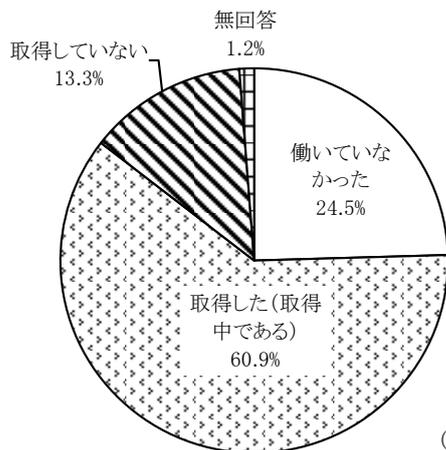
放課後児童クラブに今後望むことでは、「保護者の経済的負担軽減」が54.2%と最も多く、次いで「土曜日や夏休みなどの長期休暇中の昼食提供」（49.7%）、「スタッフ体制の充実」（43.4%）となっている。

11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

(1) 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方の育児休業の取得状況【問 32】

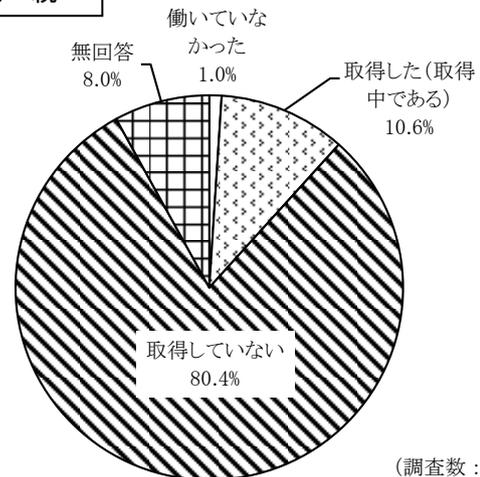
問 32 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由を点線で囲んだ部分から番号を選んでご記入ください。

母親



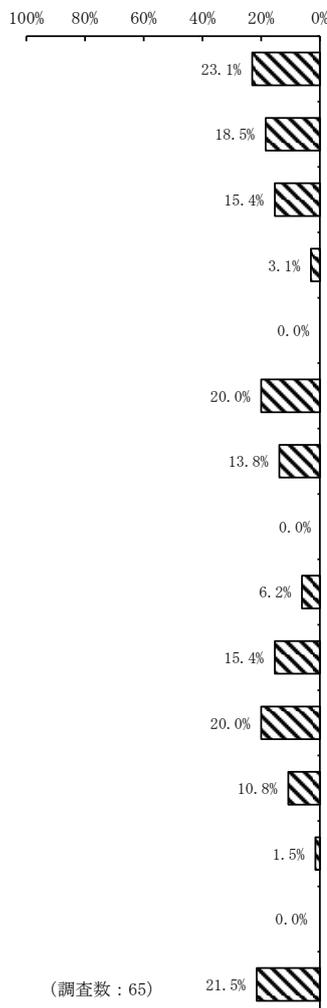
(調査数：489)

父親

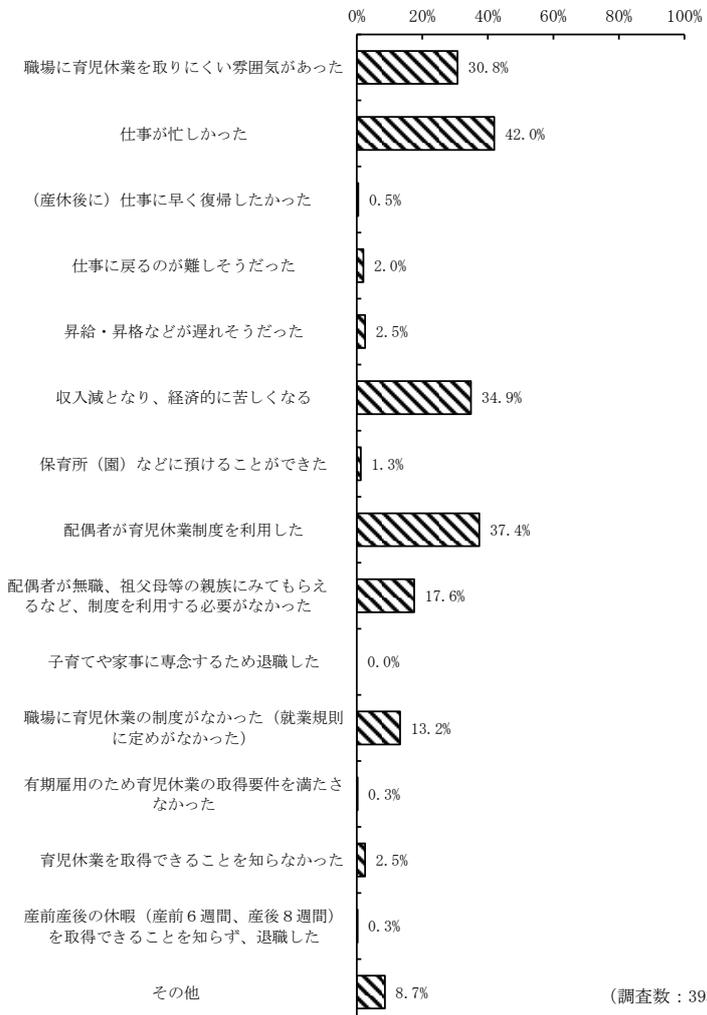


(調査数：489)

取得していない理由



(調査数：65)



(調査数：393)

子どもが生まれた時、母親の育児休業の取得状況では、「取得した(取得中である)」が60.9%、「取得していない」が13.3%となっている。

また、取得していない理由では、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が23.1%と最も多く、次いで「その他」(21.5%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」(ともに20.0%)となっている。

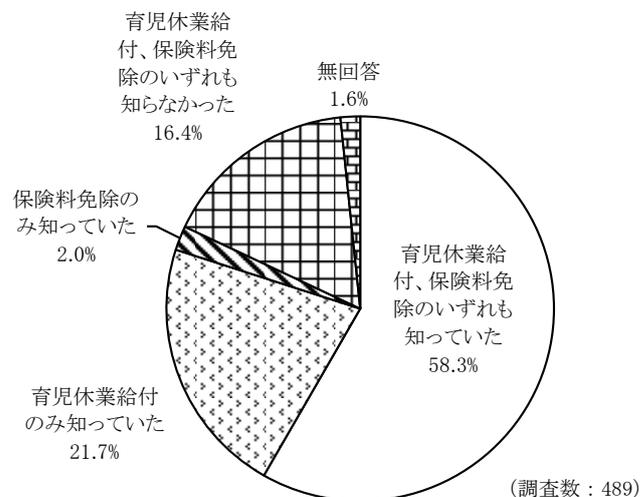
「その他」では、「自営業のため」、「勤務年数が1年未満」などが挙げられた。

子どもが生まれた時、父親の育児休業の取得状況では、「取得した(取得中である)」が10.6%であり、「取得していない」が80.4%と圧倒的に多い回答となっている。

また、取得していない理由では、「仕事が忙しかった」が42.0%と最も多く、次いで「配偶者が育児休業制度を利用した」(37.4%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(34.9%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(30.8%)となっている。

(2) 育児休業給付、保険料免除の認識度【問 32-1】

問 32-1 育児休業給付と保険料免除について、ご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

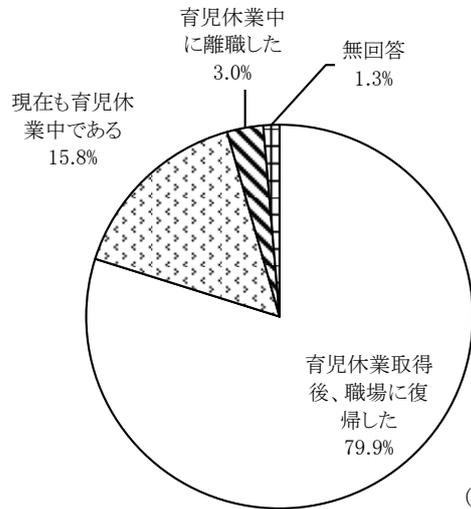


育児休業給付と保険料免除について知っていたかでは、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が58.3%と最も多く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」(21.7%)、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」(16.4%)となっている。

問 32 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

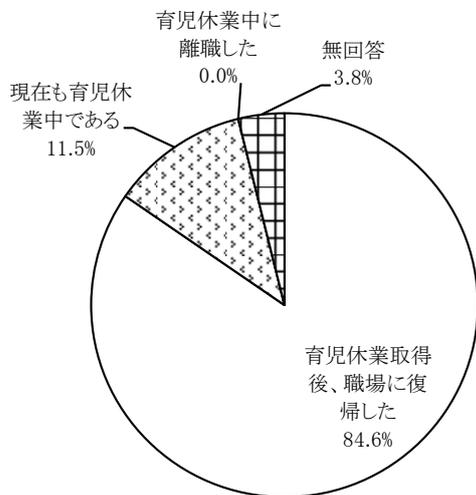
問 32-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

（3）母親の育児休業取得後の職場復帰【問 32-2(1)】



母親の育児休業取得後の職場復帰では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 79.9%となっている。

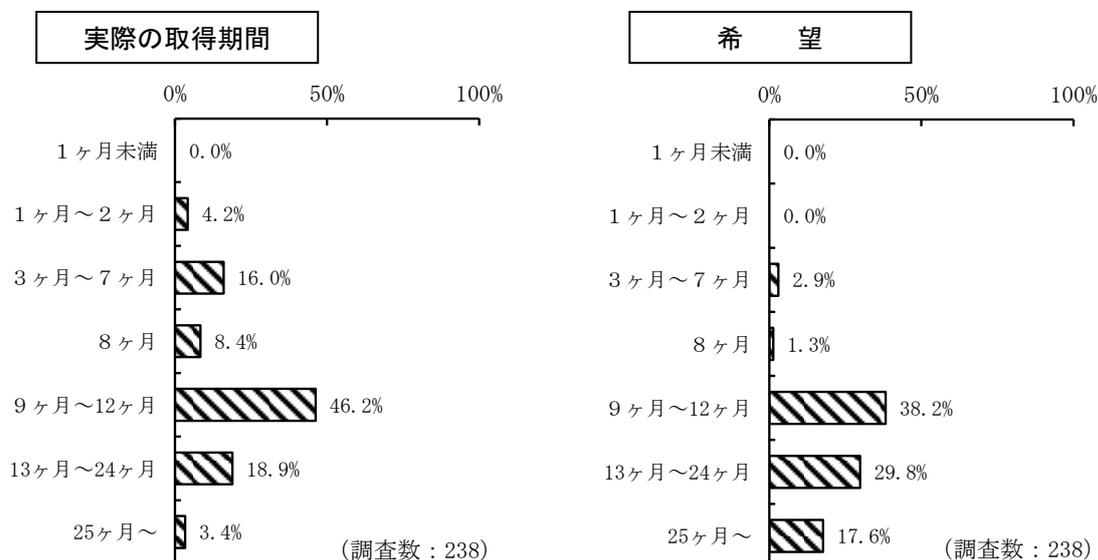
（4）父親の育児休業取得後の職場復帰【問 32-2(2)】



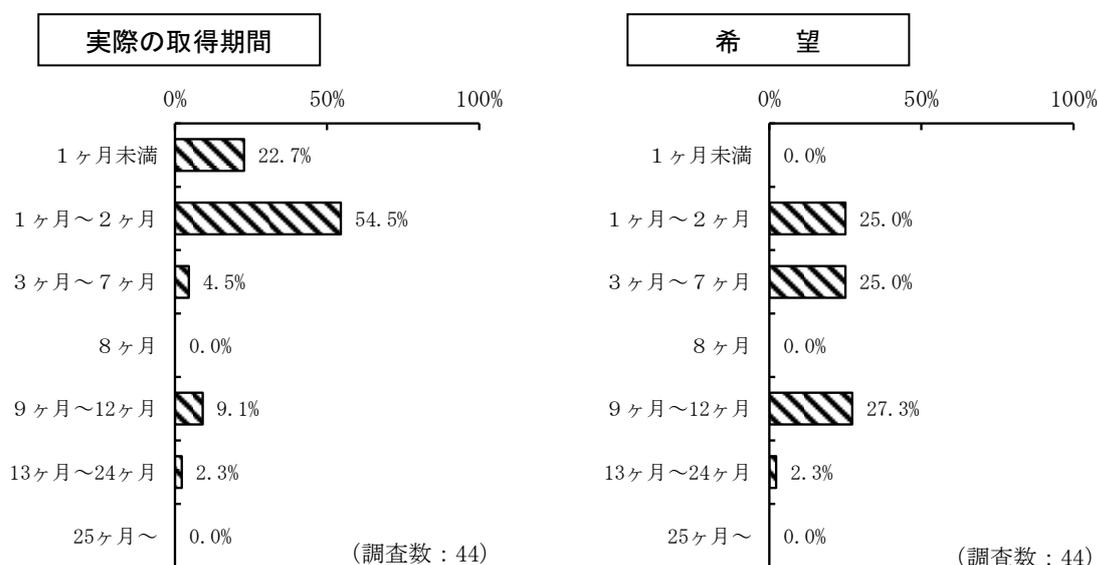
父親の育児休業取得後の職場復帰では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 84.6%となっている。

問 32-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
 問 32-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

(5) 母親が育児休業から復帰したときのお子さんの月齢【問 32-3(1)】



(6) 父親が育児休業から復帰したときのお子さんの月齢【問 32-3(2)】

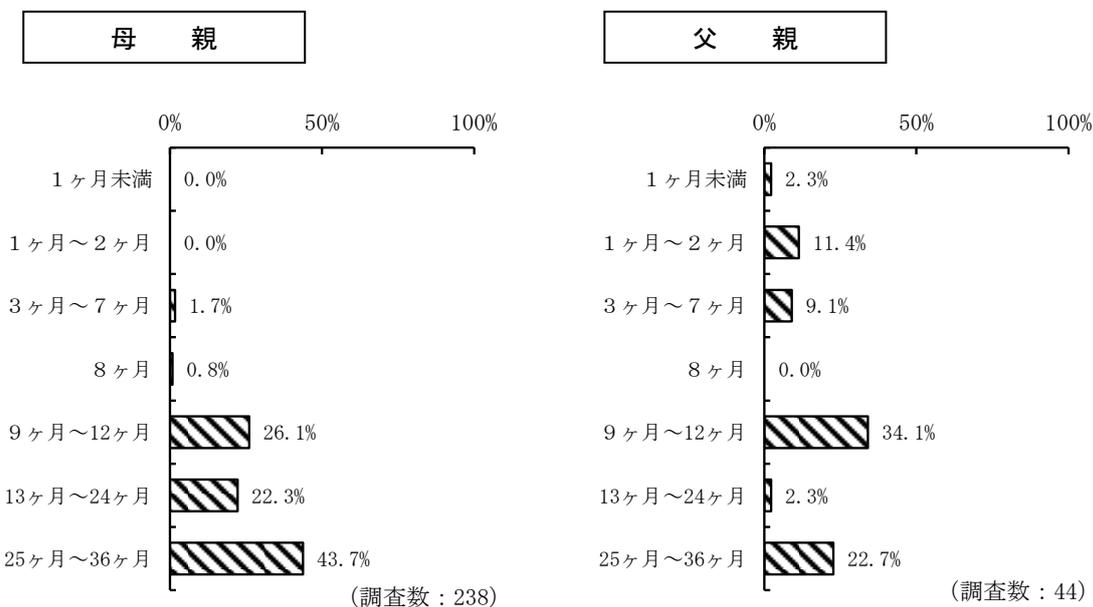


母親が育児休業から実際に職場復帰したときの子どもの月齢では、「9ヶ月～12ヶ月」が46.2%と最も多く、次いで「13ヶ月～24ヶ月」(18.9%)となっている。また、勤め先の育児休業制度の期間内での取得希望では、「9ヶ月～12ヶ月」が38.2%と最も多く、次いで「13ヶ月～24ヶ月」(29.8%)となっている。

父親が育児休業から実際に職場復帰したときの子どもの月齢では、「1ヶ月～2ヶ月」が54.5%となっている。また、勤め先の育児休業制度の期間内での取得希望では、「9ヶ月～12ヶ月」が27.3%、「1ヶ月～2ヶ月」、「3ヶ月～7ヶ月」がともに25.0%となっている。

(7) 3歳まで育児休暇を取得できる制度があった場合の取得希望【32-4(1)(2)】

問 32-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。



母親の勤め先に、3歳まで育児休暇を取得できる制度があった場合の取得希望では、「25ヶ月～36ヶ月」が43.7%と最も多く、次いで「9ヶ月～12ヶ月」(26.1%)、「13ヶ月～24ヶ月」(22.3%)となっている。

父親の勤め先に、3歳まで育児休暇を取得できる制度があった場合の取得希望では、「9ヶ月～12ヶ月」が34.1%と最も多く、次いで「25ヶ月～36ヶ月」(22.7%)となっている。

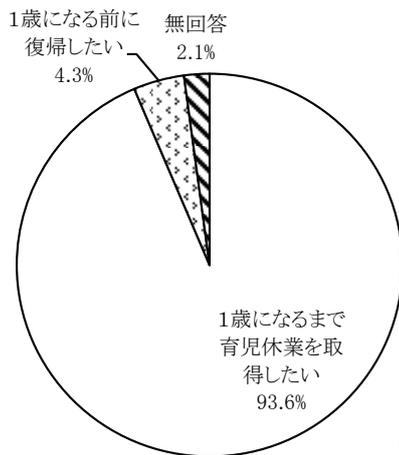
(8) 1歳になったときに必ず利用できるサービス、または預けられる事業があった場合の

育児休業の取得の有無、1歳になる前の復帰の有無【問32-5(1)(2)】

問32-2で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問32-5 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できるサービスがあれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

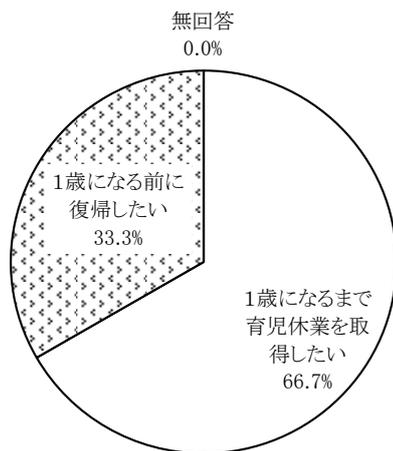
母 親



(調査数：47)

母親の子どもが1歳になったときに必ず利用できるサービス、または預けられる事業があった場合の育児休業の取得の有無、1歳になる前の復帰の有無では、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が93.6%、「1歳になる前に復帰したい」が4.3%となっている。

父 親



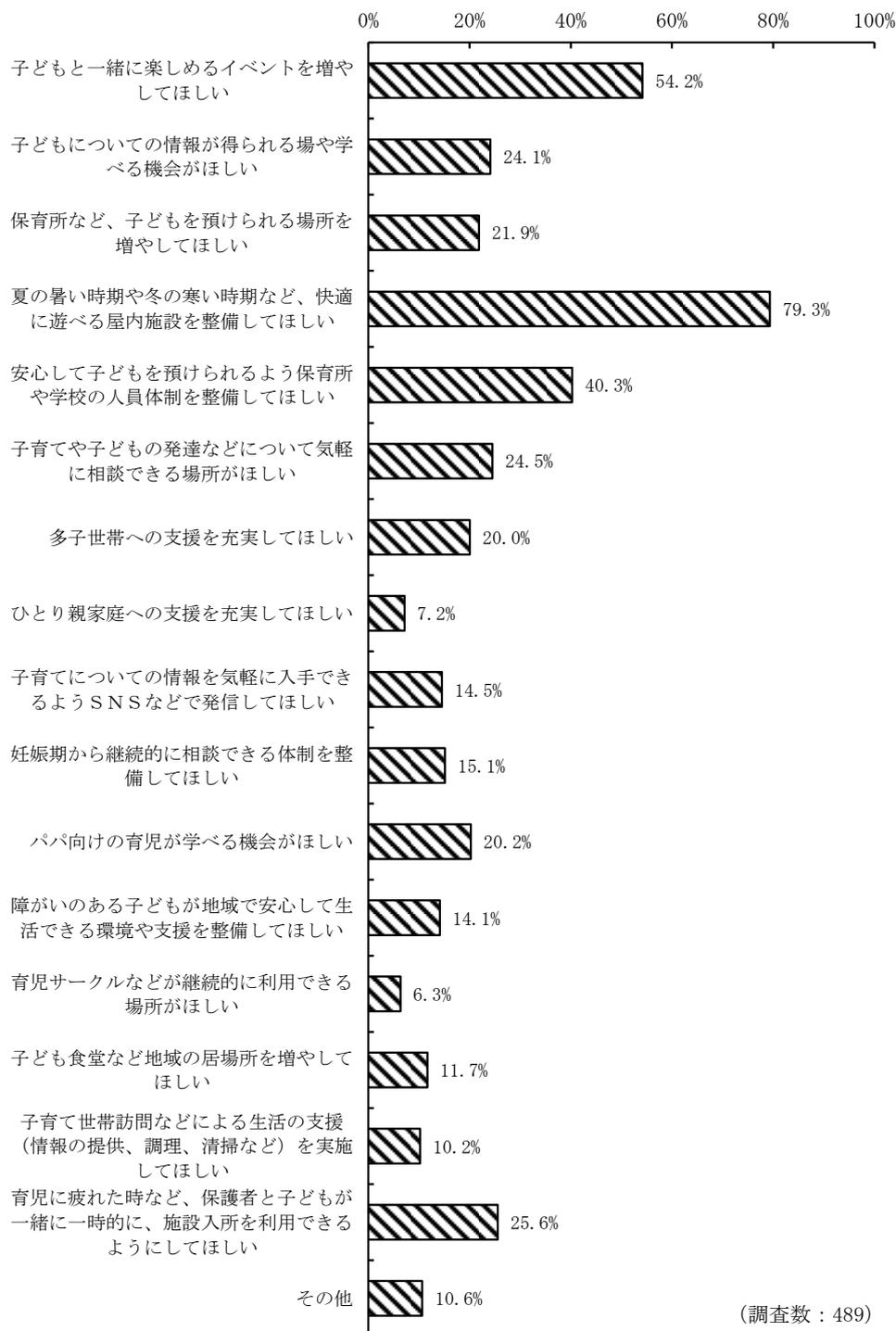
(調査数：6)

父親の子どもが1歳になったときに必ず利用できるサービス、または預けられる事業があった場合の育児休業の取得の有無、1歳になる前の復帰の有無では、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が66.7%、「1歳になる前に復帰したい」が33.3%となっている。

12. 地域の子育て支援事業の利用状況について

(1) 充実を図ってほしい子育て支援【問 33】

問 33 本市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

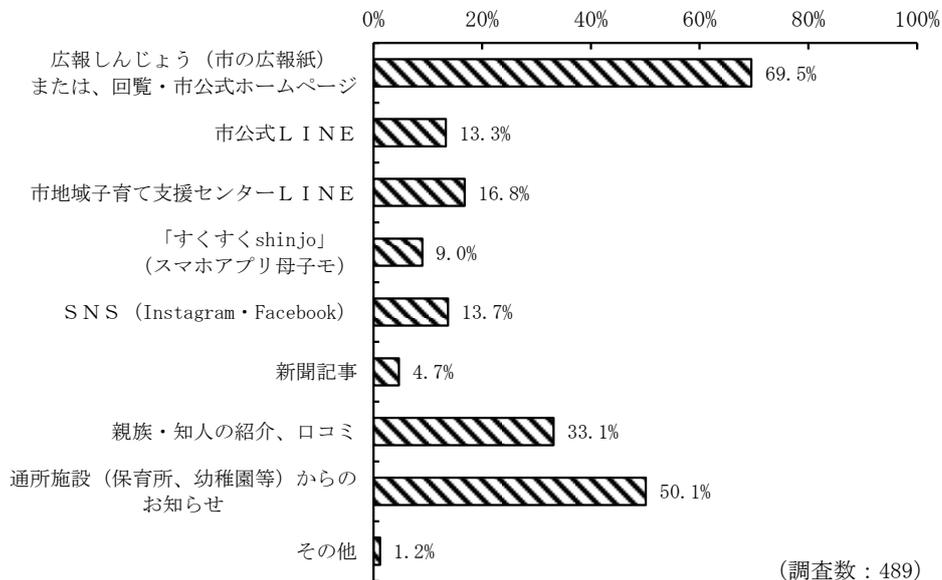


新庄市に充実を図ってほしい子育て支援では、「夏の暑い時期や冬の寒い時期など、快適に遊べる屋内施設を整備してほしい」が 79.3%と最も多く、次いで「子どもと一緒に楽しめるイベントを増やしてほしい」(54.2%)、「安心して子どもを預けられるよう保育所や学校の人員体制を整備してほしい」(40.3%) となっている。

13. 子育て支援に関する情報について

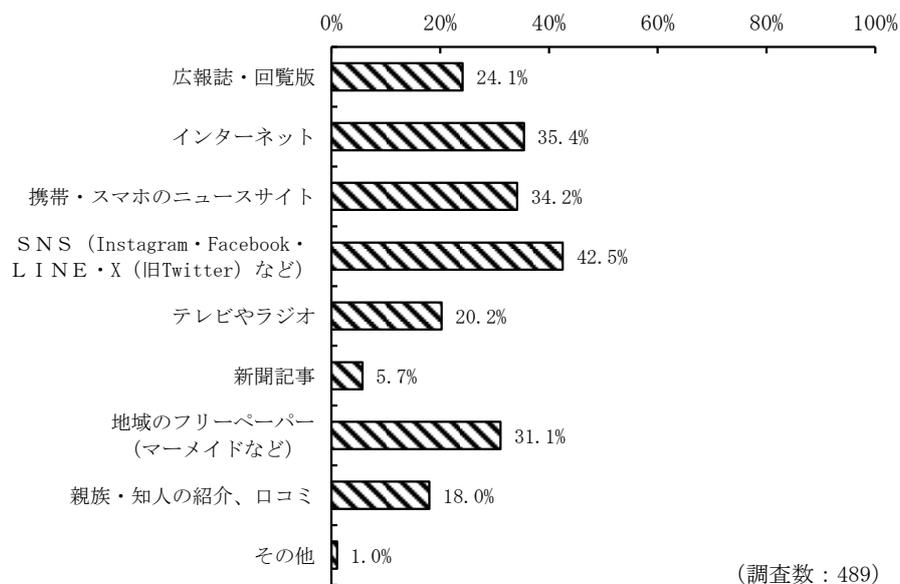
問 34 普段、どのように子育て支援に関する情報を得ているか、うかがいます。

(1) 本市の子育て支援に関する情報を得る方法【問 34(1)】



新庄市の子育て支援に関する情報を得る方法では、「広報しんじょう (市の広報紙) または、回覧・市公式ホームページ」が 69.5%と最も多く、次いで「通所施設 (保育所、幼稚園等) からののお知らせ」(50.1%)、「親族・知人の紹介、口コミ」(33.1%) となっている。

(2) 本市以外の自治体や国・県の事業に関する情報を得る方法【問 34(2)】

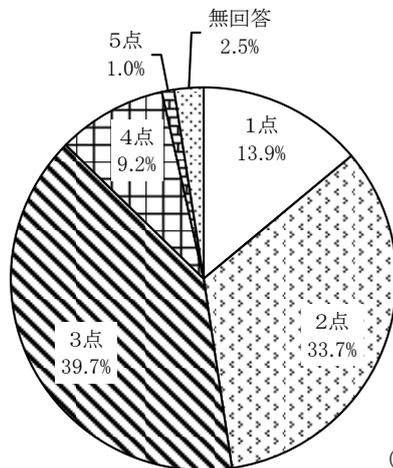


新庄市以外の自治体や国・県の事業に関する情報を得る方法では、「SNS (Instagram・Facebook・LINE・X (旧Twitter) など)」が 42.5%と最も多く、次いで「インターネット」(35.4%)、「携帯・スマホのニュースサイト」(34.2%)、「地域のフリーペーパー (マーメイドなど)」(31.1%) となっている。

14. 本市の子育て支援への満足度や子育てに関する意見について

(1) 本市における子育ての環境や支援への満足度【問 35】

問 35 本市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



新庄市における子育ての環境や支援への満足度では、中間点である「3点」が39.7%と最も多くなっている。

また、「4点」(9.2%)と「5点」(1.0%)を合わせた満足度が高いとみられる回答は10.2%となっている。

一方、「1点」(13.9%)と「2点」(33.7%)を合わせた満足度が低いとみられる回答は47.6%と約5割となっている。

(2) 教育・保育環境の充実や障がい児への支援、

妊娠や出産・育児など子育てを取り巻く環境に関する意見【問 36】

問 36 最後に、教育・保育環境の充実や障がい児への支援、妊娠や出産・育児など子育てを取り巻く環境に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

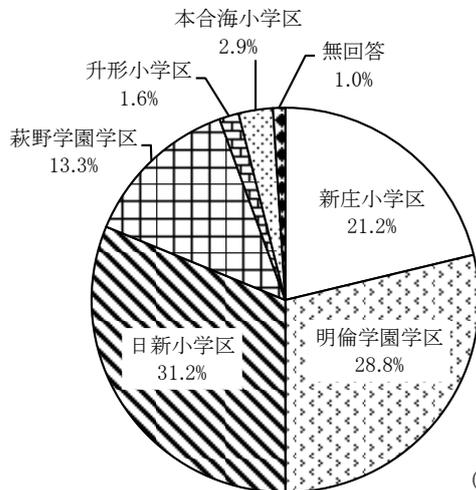
教育・保育環境の充実や障がい児への支援、妊娠や出産・育児など子育てを取り巻く環境に関しての意見を求めたところ、多くの意見が寄せられた。

Ⅱ－２ 小学生児童

1. お住まいの地域について

(1) お住まいの地区【問1】

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

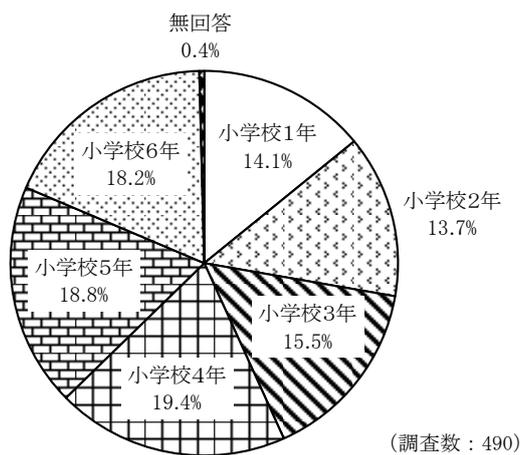


住まいの地区では、「日新小学区」(31.2%)が最も多く、次いで「明倫学園学区」(28.8%)、「新庄小学区」(21.2%)となっている。

2. お子さんと家族の状況について

(1) お子さんの学年【問2】

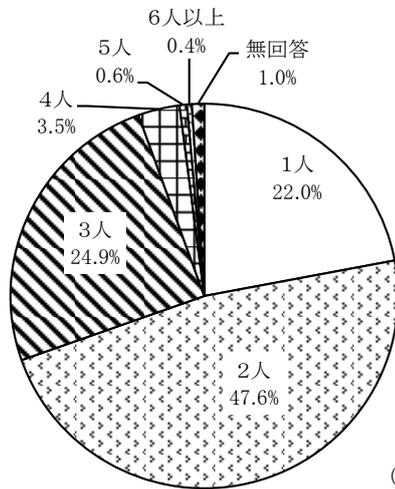
問2 宛名のお子さんの学年をご記入ください。



学年では、「小学校4年」(19.4%)が最も多く、次いで「小学校5年」(18.8%)、「小学校6年」(18.2%)となっている。

(2) お子さんの人数、末子の年齢【問3】

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。



(調査数：490)

子どもの人数では、「2人」(47.6%)が最も多く、次いで「3人」(24.9%)、「1人」(22.0%)となっている。

また、子どもが2人以上いる方の末子の年齢では、「9歳」(13.5%)が最も多く、次いで「8歳」(12.2%)、「11歳」(11.1%)となっている。

【末子の年齢】[2人以上のお子さんがいらっしゃる場合]

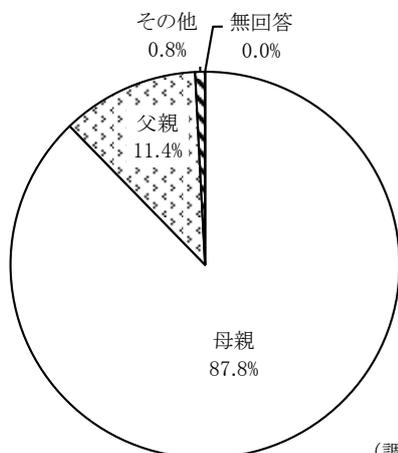
(単一回答)

	1	2	3	4	5	6	7	8
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳
構成比	3.2%	1.3%	1.3%	3.7%	3.2%	5.6%	6.9%	10.6%
	9	10	11	12	13	無回答	合計	
	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳			
構成比	12.2%	13.5%	10.9%	11.1%	5.3%	11.1%	100.0%	

(調査数:377)

(3) この調査票にご回答いただく方(宛名のお子さんからみた関係)【問4】

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

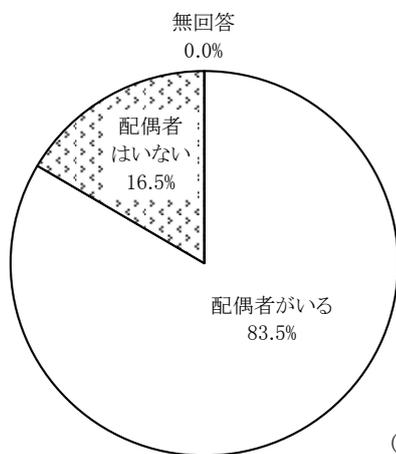


(調査数：490)

調査の回答者では、「母親」(87.8%)が最も多く、次いで「父親」(11.4%)となっている。

(4) この調査票にご回答いただいている方の配偶関係【問5】

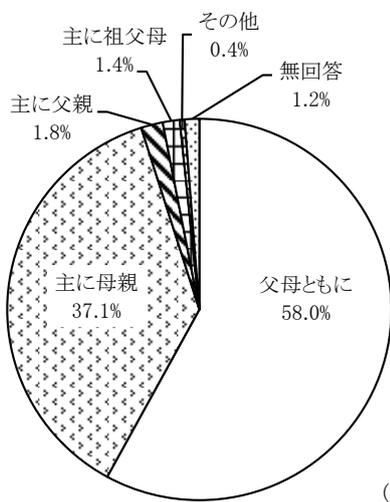
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。



配偶者の有無では、「配偶者がいる」が83.5%、「配偶者がいない」が16.5%となっている。

(5) 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方【問6】

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

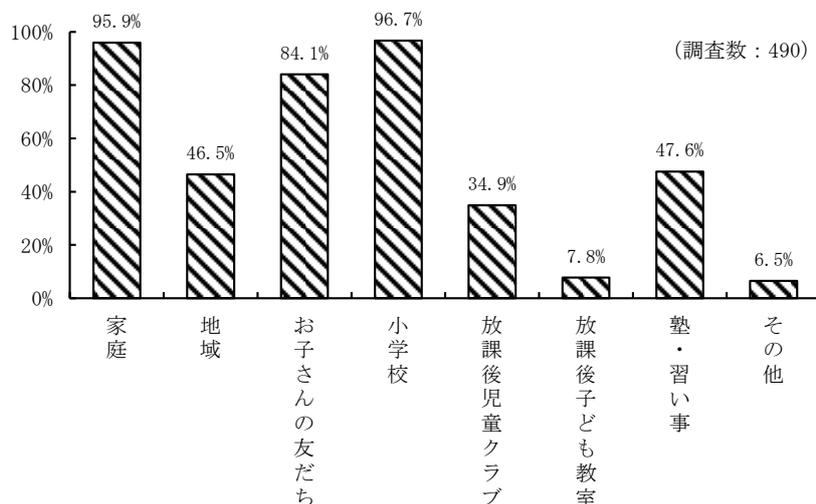


子育てを主に行っている方では、「父母ともに」(58.0%)が最も多く、次いで「主に母親」(37.1%)となっている。

3. 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境【問7】

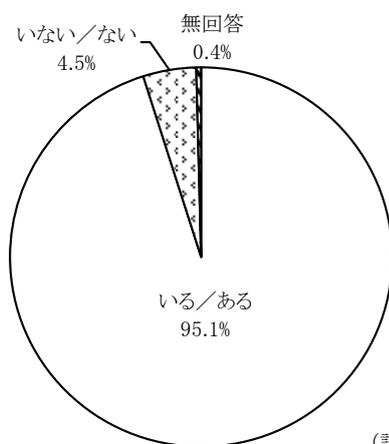
問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。



子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境では、「小学校」が96.7%と最も多く、次いで「家庭」（95.9%）、「お子さんの友だち」（84.1%）となっている。

(2) 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人や場所の状況【問8】

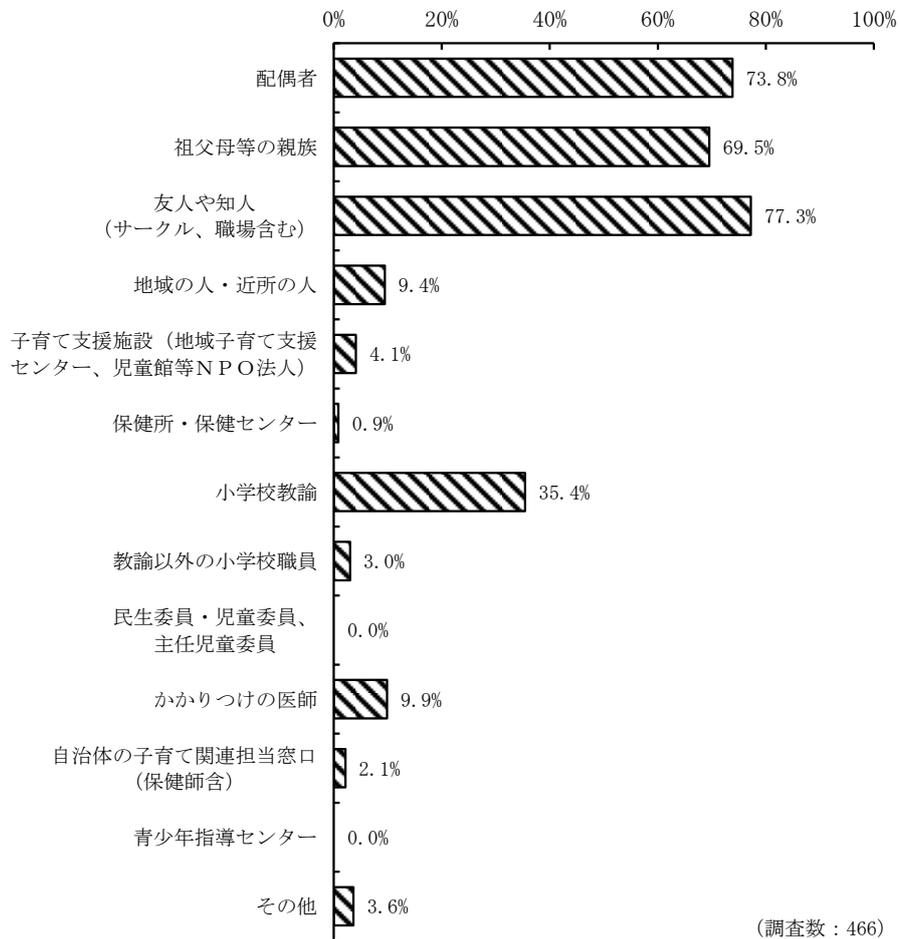
問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所の状況では、95.1%が「いる／ある」と回答している。

(3) お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先について【問8-1】

問8-1 問8で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先では、「友人や知人（サークル、職場含む）」が77.3%と最も多く、次いで「配偶者」（73.8%）、「祖父母等の親族」（69.5%）となっている。

(4) お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先がない理由【問8-2】

問8-2 問8で「2. いない／ない」に○をつけた方にうかがいます。その理由をご自由にお書きください。

子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる人、場所がない方に理由をたずねたところ、15件の意見が寄せられた。

(5) 子育て（教育を含む）をする上で、周囲から必要なサポート【問9】

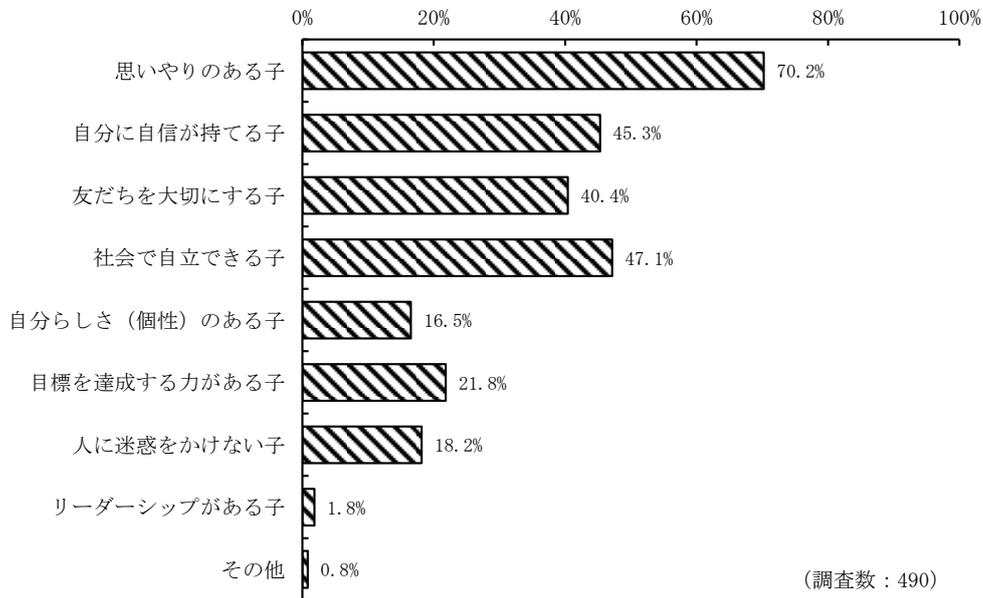
問9 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者、教員など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

子育て（教育を含む）をする上で、周囲からどのようなサポートがあればよいと考えるかについては、219件の意見が寄せられ、「相談できるサポート」、「学校・教員のサポート」に関する記述が多くなっている。

分類	件数	構成比
学校・教員のサポート	24	11.0%
放課後のサポート	5	2.3%
学校以外での学習のサポート	10	4.6%
休日のサポート	0	0.0%
送迎等のサポート	7	3.2%
日常生活のサポート	12	5.5%
親の休息のサポート	6	2.7%
身近な人による見守りサポート	13	5.9%
病児に対するサポート	8	3.7%
障がい児に対するサポート	3	1.4%
集いの場によるサポート	7	3.2%
遊びの場のサポート	5	2.3%
教育費のサポート	2	0.9%
医療費のサポート	1	0.5%
金銭的なサポート	12	5.5%
行政に希望するサポート	6	2.7%
相談できるサポート	33	15.1%
情報提供	9	4.1%
その他	45	20.5%
特にサポートは不要	11	5.0%
合計	219	

(6) 宛名のお子さんは、どんな子に育ってほしいと思うか【問 10】

問 10 宛名のお子さんは、どんなお子さんに育ってほしいと思いますか。当てはまる項目上位3つまで○をつけてください。

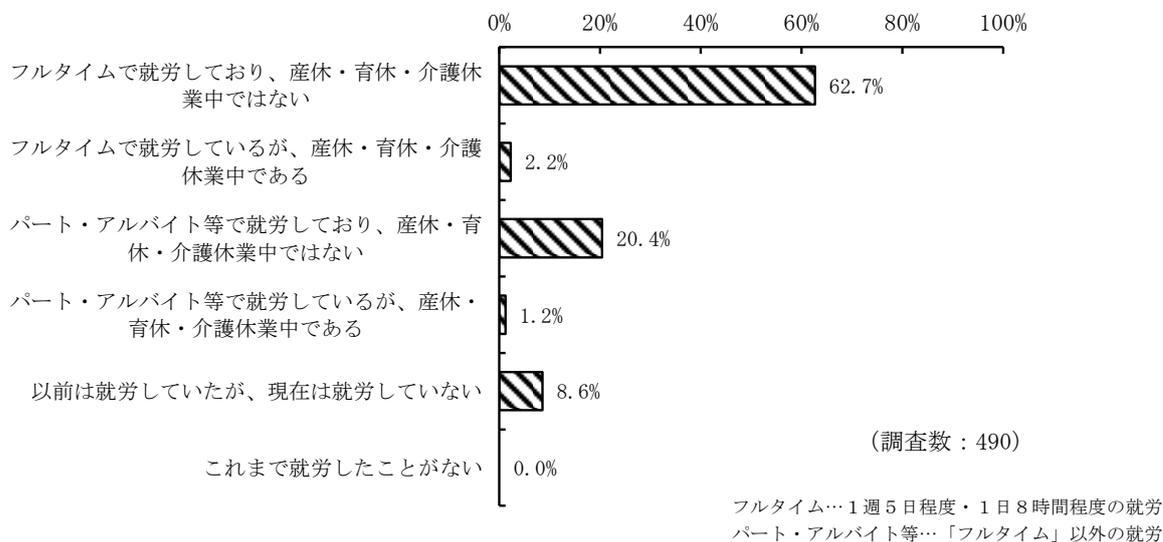


どんな子に育ってほしいと思うかでは、「思いやりのある子」が70.2%と最も多く、次いで「社会で自立できる子」(47.1%)、「自分に自信が持てる子」(45.3%)「友だちを大切にする子」(40.4%)となっている。

4. 保護者の就労状況について

(1) 母親の現在の就労状況【父子家庭の場合は記入は不要】【問 11(1)】

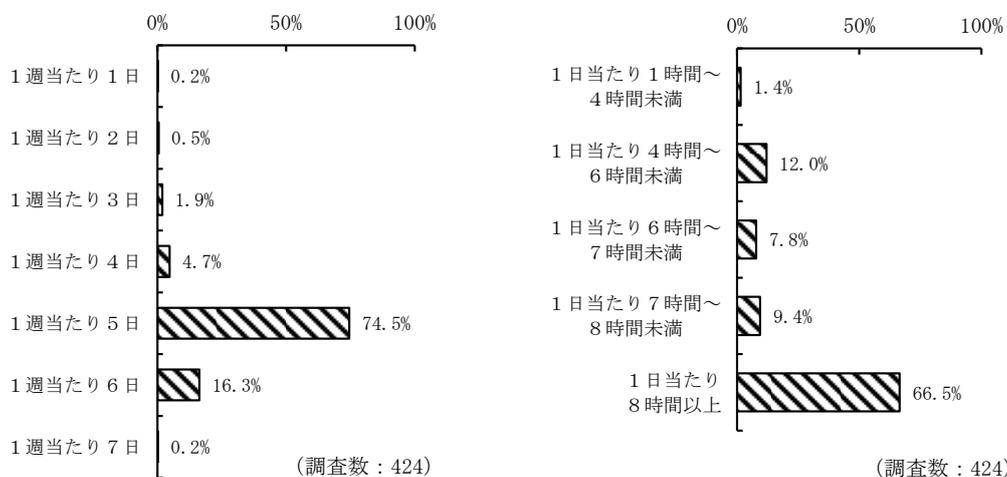
問 11 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。
 (1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



母親の現在の就労状況では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が62.7%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（20.4%）、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（8.6%）となっている。

(2) 母親の就労日数、就労時間について【問 11(1)-1】

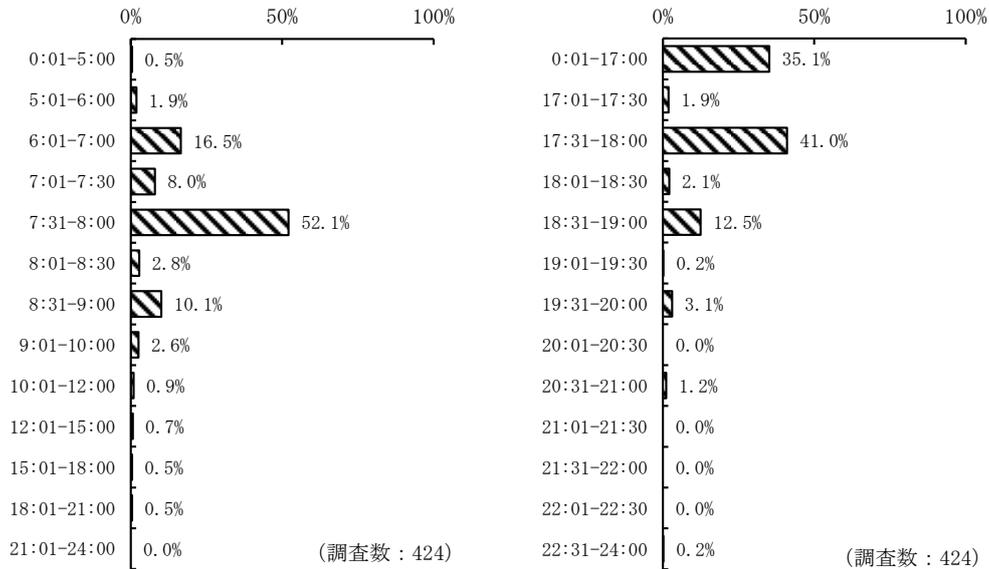
問 11(1)-1 (1) で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



就労している母親の1週当たりの就労日数では、「5日」が74.5%と最も多く、1日当たりの就労時間では、「8時間以上」が66.5%と最も多くなっている。

(3) 母親の就労日の家を出る時刻、帰宅時刻【問 11(1)-2】

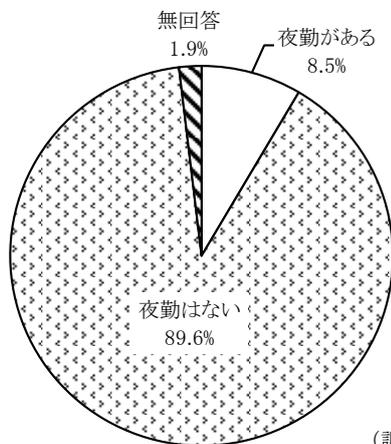
問 11(1)-2 (1) で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



出勤時間は、「7時31分～8時」が52.1%と最も多く、帰宅時間は、「17時31分～18時」が41.0%と最も多くなっている。

(4) 夜勤（原則として午後10時から午前5時までの間における労働）の有無【問 11(1)-3】

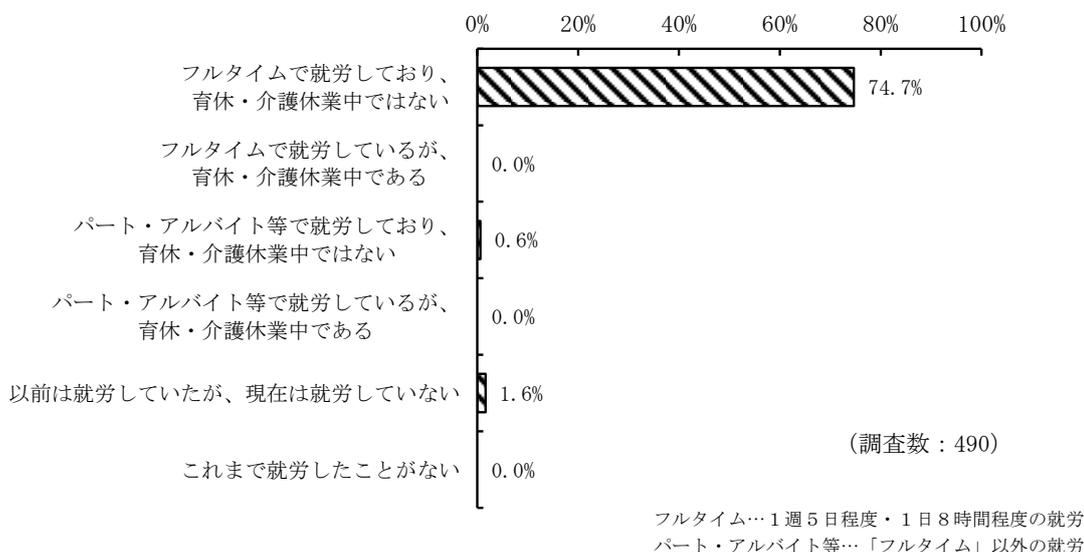
問 11(1)-3 (1) で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。夜勤（原則として午後10時から午前5時までの間における労働）の有無をお答えください。



夜勤（原則として午後10時から午前5時までの間における労働）の有無では、「夜勤がある」が8.5%、「夜勤はない」が89.6%となっている。

(5) 父親の現在の就労状況 [母子家庭の場合は記入は不要] 【問 11(2)】

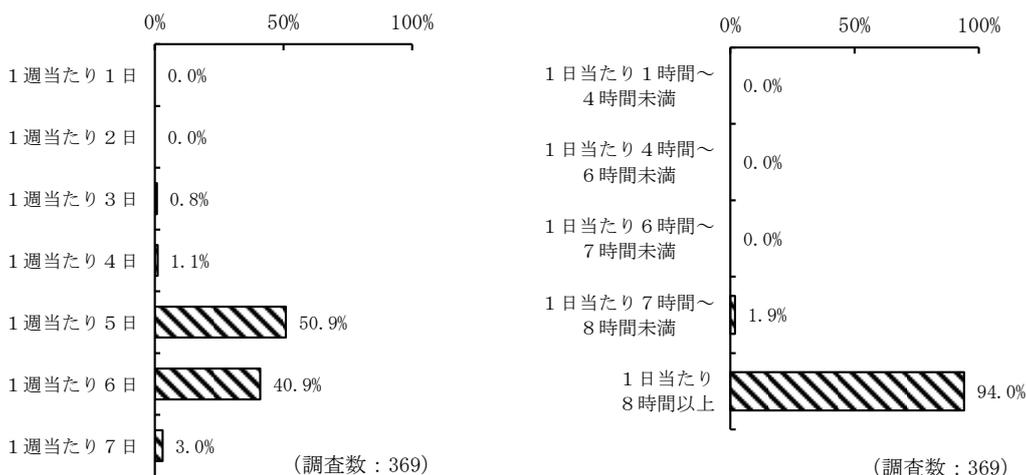
問 11(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。



父親の現在の就労状況では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が74.7%と最も多く、7割以上となっている。

(6) 父親の就労日数、就労時間について【問 11(2)-1】

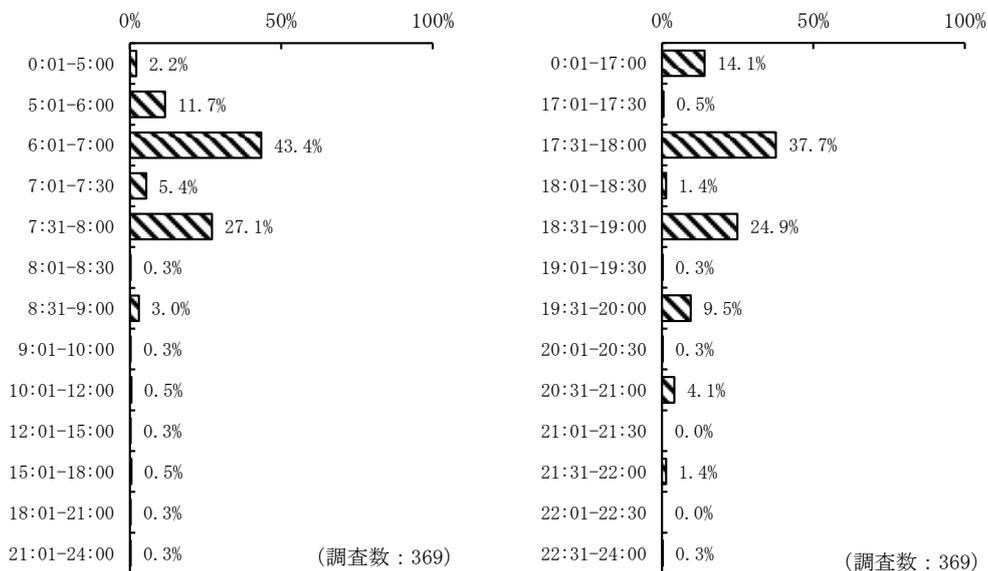
問 11(2)-1 (2) で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



就労している父親の1週当たりの就労日数では、「5日」が50.9%と最も多く、次いで「6日」(40.9%)となっている。1日当たりの就労時間では、「8時間以上」が94.0%と最も多くなっている。

(7) 父親の就労日の家を出る時刻、帰宅時刻【問 11(2)-2】

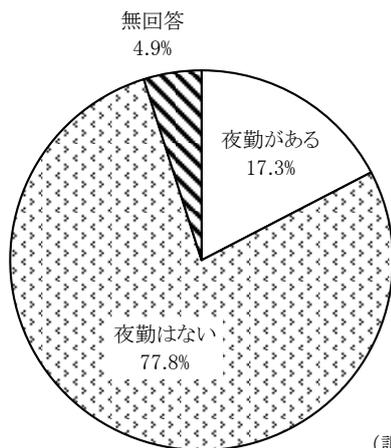
問 11(2)-2 (2) で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



出勤時間では、「6時1分～7時」が43.4%と最も多く、帰宅時間では、「17時31分～18時」が37.7%と最も多くなっている。

(8) 夜勤（原則として午後10時から午前5時までの間における労働）の有無【問 11(2)-3】

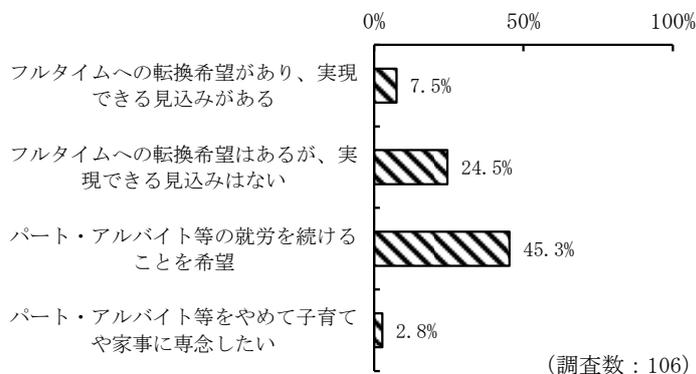
問 11(2)-3 (2) で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にかがいます。夜勤（原則として午後10時から午前5時までの間における労働）の有無をお答えください。



夜勤（原則として午後10時から午前5時までの間における労働）の有無では、「夜勤がある」が17.3%、「夜勤はない」が77.8%となっている。

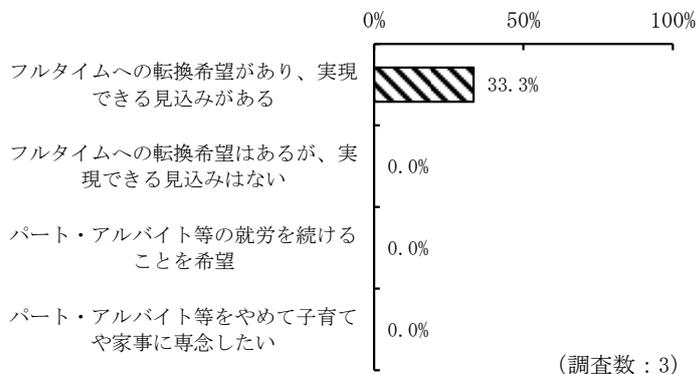
問12 問11の(1)または(2)で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問13へお進みください。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(9) 母親のフルタイムへの転換希望【問12(1)】



パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望では、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が45.3%と最も多く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」（24.5%）となっている。

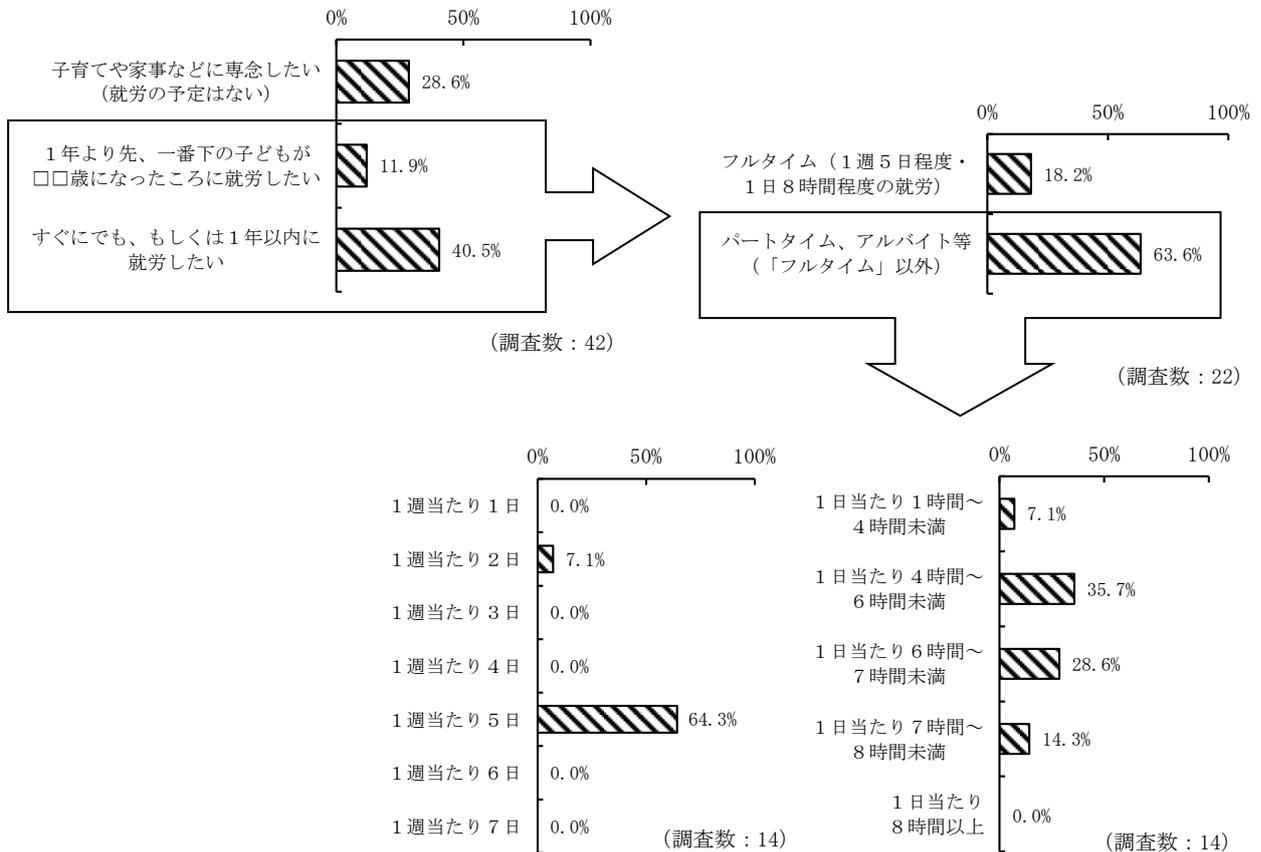
(10) 父親のフルタイムへの転換希望【問12(2)】



パート・アルバイト等で就労している父親のフルタイムへの転換希望では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」が33.3%となっている。

問 13 問 11 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 14 へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号それぞれ 1 つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。

(11) 母親の就労希望【問 13(1)】



【1年より先、一番下の子どもが何歳になったときに就労を希望するか】 [問13(1)で2を選択]

(単一回答)							
	1	2	3	4	5	無回答	合計
	1歳～2歳	3歳～5歳	6歳～8歳	9歳～11歳	12歳以上		
構成比	0.0%	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%	100.0%

(調査数:5)

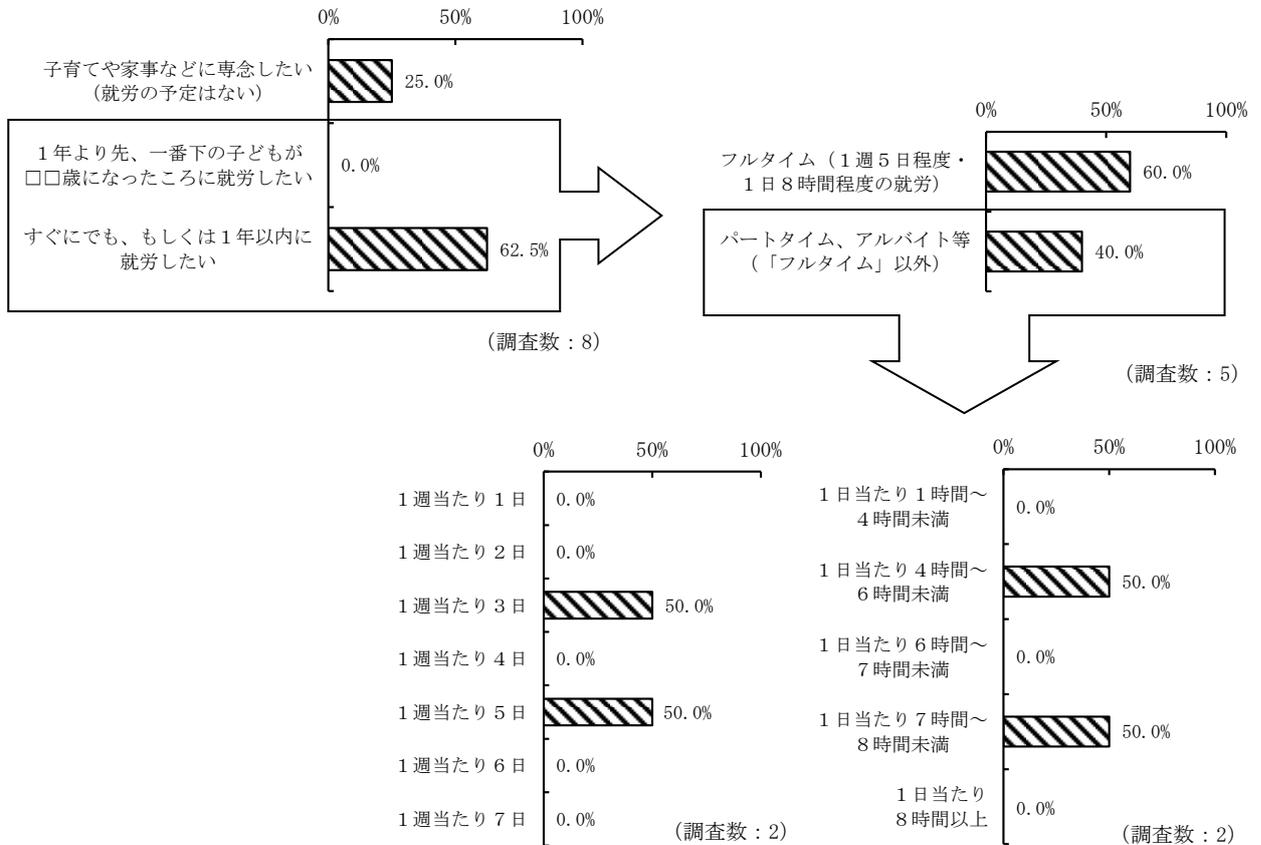
現在就労していない母親の就労希望では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が40.5%、「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったときに就労したい」が11.9%（「9歳～11歳」が最も多い）と5割以上の就労希望がある。

一方、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が28.6%となっている。

希望する就労形態では、「パートタイム・アルバイト等（「フルタイム」以外）」（63.6%）、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」（18.2%）となっている。

パートタイム・アルバイト等への就労希望者の1週当たりの就労希望日数は、「5日」が64.3%と最も多くなっている。また、1日当たりの就労希望時間は、「4時間～6時間未満」が35.7%と最も多くなっている。

(12) 父親の就労希望【問 13(2)】



現在就労していない父親の就労希望では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が62.5%と、6割以上の就労希望がある。

一方、「子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)」が25.0%となっている。

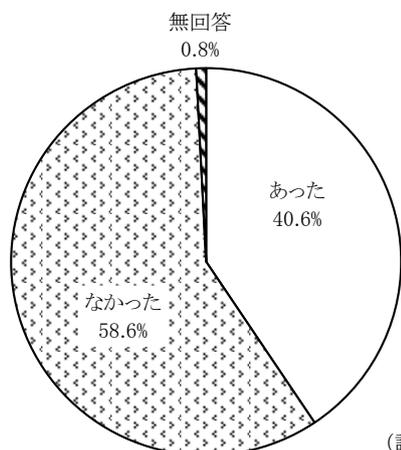
希望する就労形態では、「フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)」(60.0%)、「パートタイム・アルバイト等 (「フルタイム」以外)」(40.0%)となっている。

パートタイム・アルバイト等への就労希望者の1週当たりの就労希望日数は、「3日」、「5日」がともに50.0%となっている。また、1日当たりの就労希望時間は、「4時間～6時間未満」、「7時間～8時間未満」がともに50.0%となっている。

5. 病気の際の対応について

(1) この1年間に、病気やケガで小学校が利用できなかった状況【問14】

問14 宛名のお子さんについて、この1年間に、病気やケガのために小学校に通うことができず、特別な対応をとる必要がありましたか。

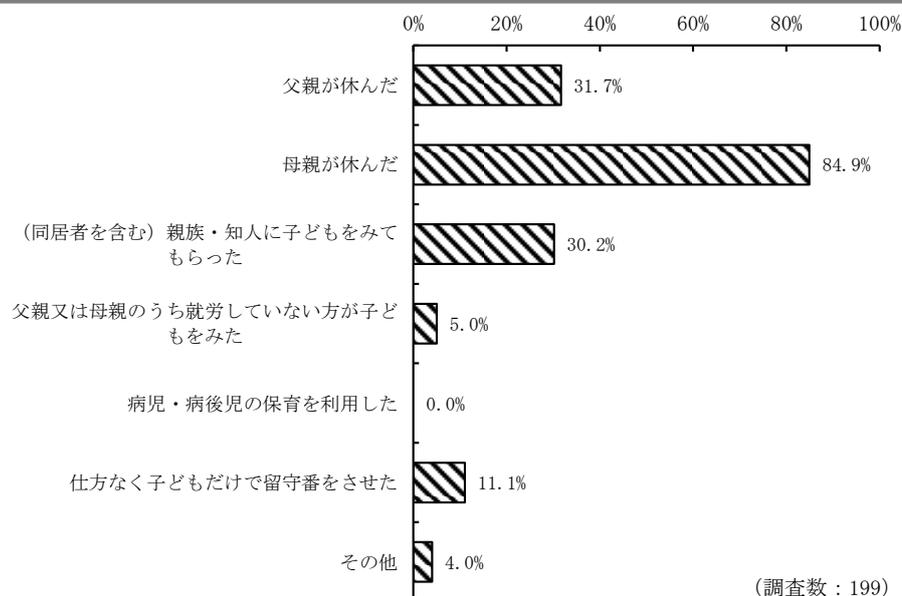


(調査数：490)

この1年間に、子どもが病気やケガで小学校が利用できなかった状況では、「あった」が40.6%、「なかった」が58.6%となっている。

(2) 小学校が利用できなかった場合の対処方法【問14-1】

問14-1 宛名のお子さんが病気やケガで小学校に通うことができなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。



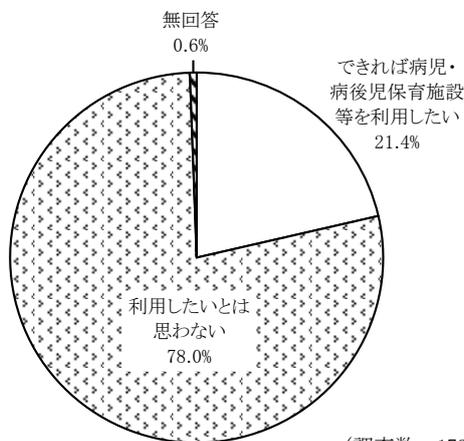
(調査数：199)

病気やケガで小学校が利用できなかった場合の対処方法では、「母親が休んだ」が84.9%と最も多く、次いで「父親が休んだ」(31.7%)、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」(30.2%) となっており、母親への依存度が高くなっている。

(3) 病気やケガ時、保育施設等の利用希望【問 14-2】

問 14-1 で「1.」「2.」のいずれかに回答した方にかがいます。

問 14-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。

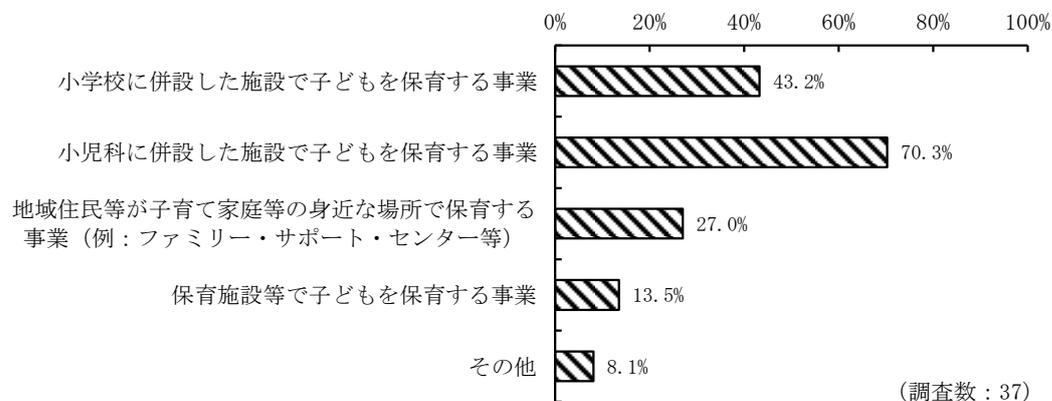


(調査数 : 173)

病気やケガ時、保育施設等の利用希望では、「利用したいとは思わない」が 78.0%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 21.4%となっている。

(4) 病気やケガで預ける場合の望ましい事業形態【問 14-3】

問 14-3 問 14-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

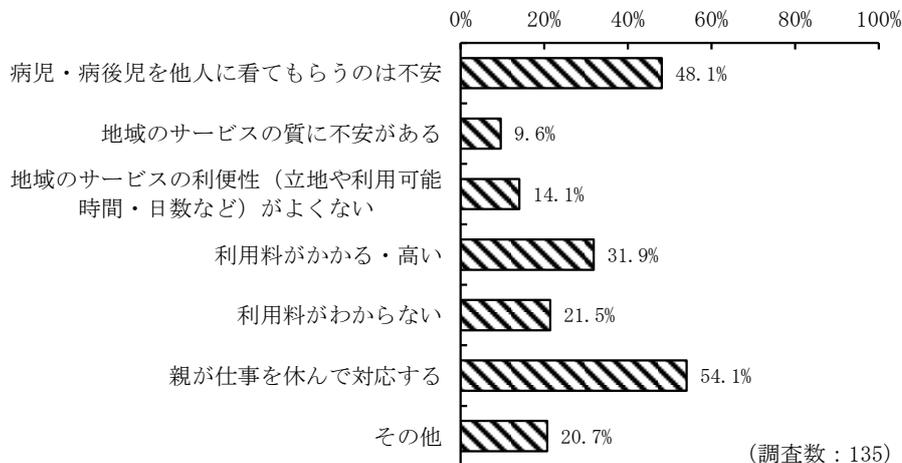


(調査数 : 37)

病気やケガで預ける場合の望ましい事業形態では、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 70.3%と最も多く、次いで「小学校に併設した施設で子どもを保育する事業」(43.2%)となっている。

(5) 病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由【問 14-4】

問 14-4 問 14-2 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

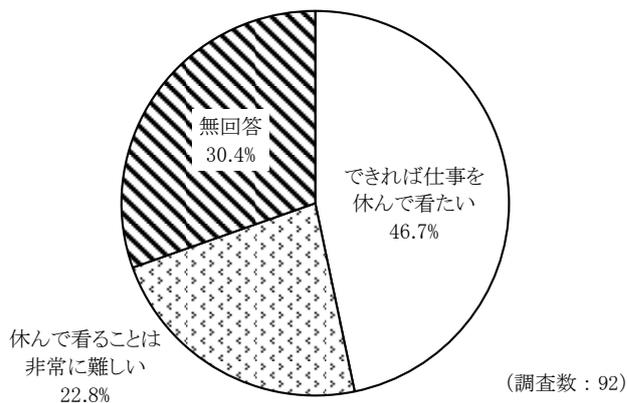


病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由では、「親が仕事を休んで対応する」が 54.1%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(48.1%)、「利用料がかかる・高い」(31.9%)となっている。

(6) 病気やケガ時、できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったか【問 14-5】

問 14-1 で「3.」から「7.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

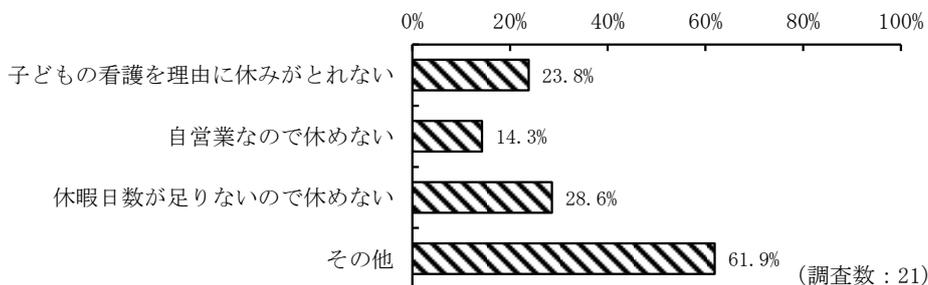
問 14-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、「3.」から「7.」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください。



病気やケガ時、できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったかでは、「できれば仕事を休んで看たい」が 46.7%、「休んで看ることは非常に難しい」が 22.8%となっている。

(7) 病気やケガ時、休んで看することは非常に難しいと思われる理由【問 14-6】

問 14-6 問 14-5 で「2. 休んで看することは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

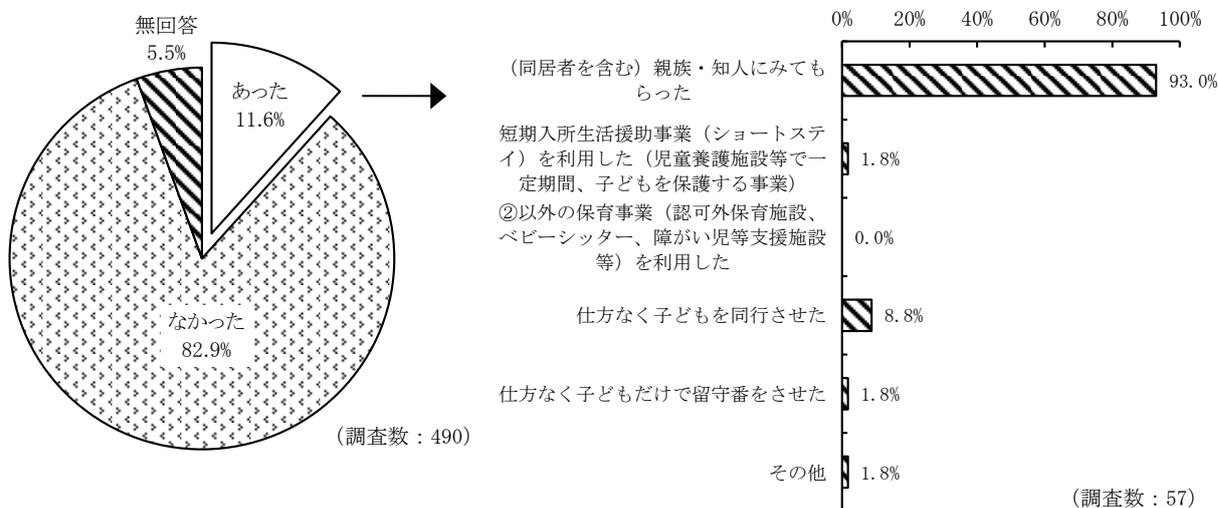


病気やケガ時、休んで看することは非常に難しいと思われる理由では、「その他」が 61.9%と最も多く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」(28.6%)、「子どもの看護を理由に休みがとれない」(23.8%)となっている。

「その他」では、「職場の人手不足」、「仕事を代理できる人がいない」などが挙げられた。

(8) この1年間での、宿泊を伴う一時預かり等の対処方法【問 15】

問 15 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。

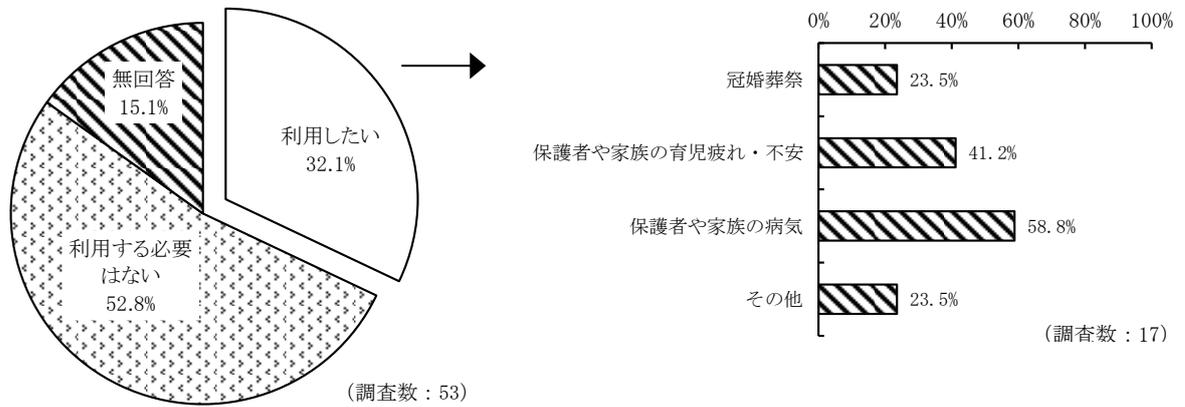


保護者の用事で、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったかでは、「あった」が 11.6%、「なかった」が 82.9%となっている。

あった場合の対処方法では、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が 93.0%と最も多くなっている。

(9) 短期入所生活援助事業の利用希望の有無【問 15-1】

問 15 で「1. あった ①(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。
問 15-1 短期入所生活援助事業(ショートステイ)(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数を口内に数字でご記入ください。



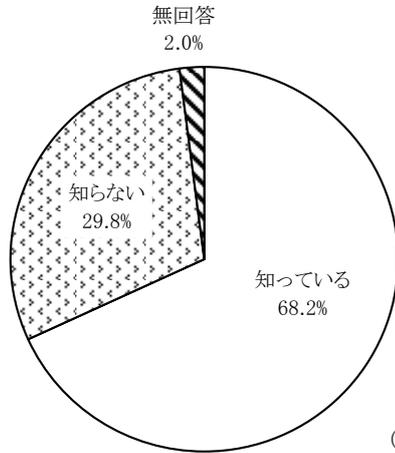
短期入所生活援助事業の利用希望の有無では、「利用したい」が32.1%、「利用する必要はない」が52.8%となっている。

利用したい理由では、「保護者や家族の病気」が58.8%と最も多く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」(41.2%)となっている。

(10) 山形県小児救急でんわ相談ダイヤルの認知度【問 16】

問 16 山形県小児救急でんわ相談ダイヤルを知っていますか。

(15歳未満：#8000 または、☎023-633-0299 午後6時～翌日午前8時)



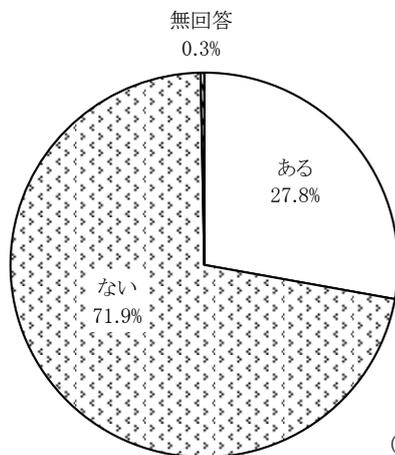
(調査数：490)

山形県小児救急でんわ相談ダイヤルの認知度では、「知っている」が68.2%、「知らない」が29.8%となっている。

(11) 利用の有無【問 16-1】

問 16 で「1. 知っている」に○をつけた方にうかがいます。

問 16-1 利用したことは、ありますか。



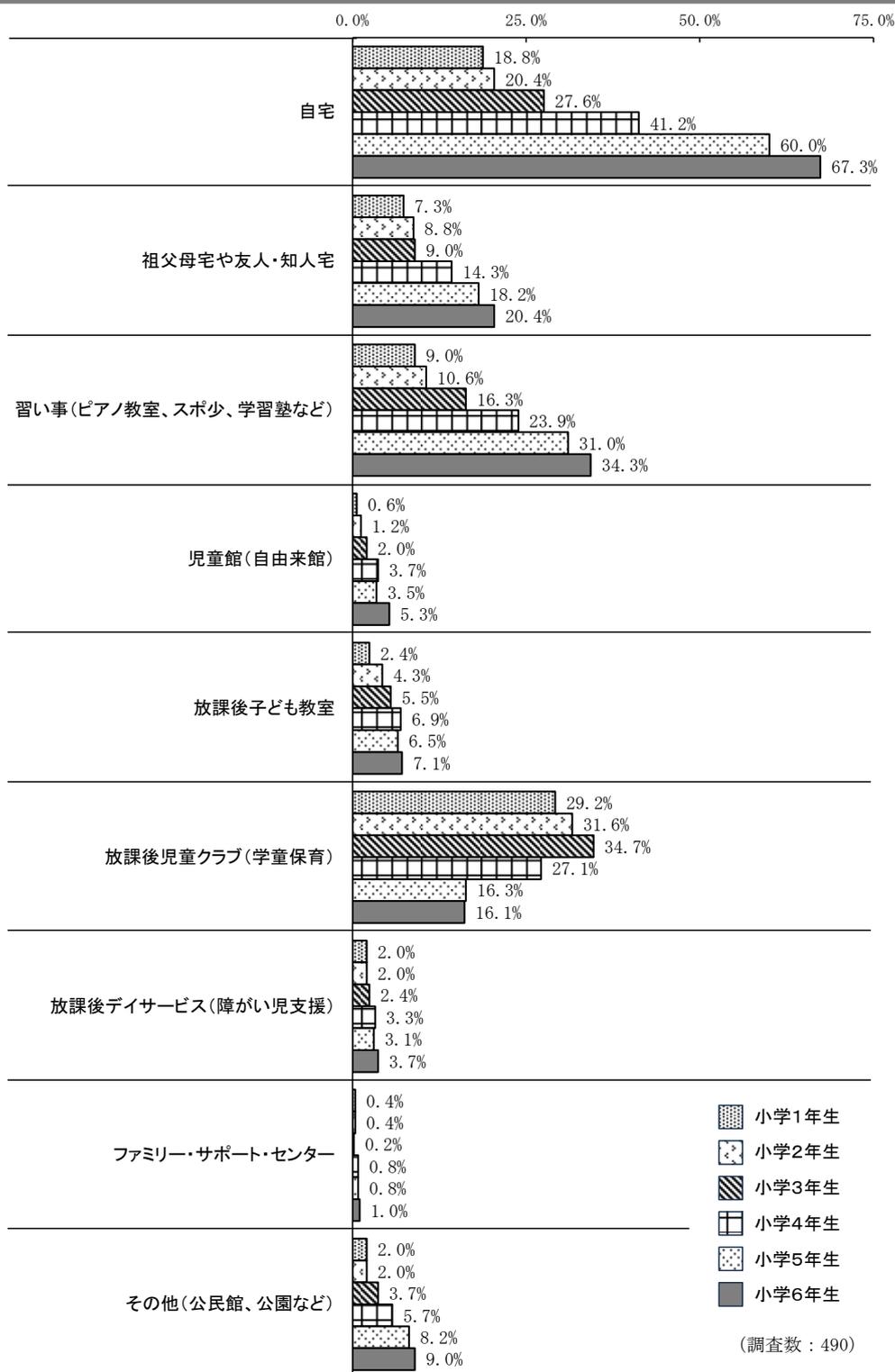
(調査数：334)

利用したことが「ない」が71.9%、「ある」が27.8%となっている。

6. 放課後の過ごし方について

(1) 過ごさせたい場所【問17】

問17 宛名のお子さんについて、現在の学年から6年生までの放課後を、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。学年別の欄に下記（選択肢1から9までの選択した番号すべてを記入してください。）



放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいかでは、低学年では「放課後児童クラブ（学童保育）」が最も多く、高学年では「自宅」、「習い事（ピアノ教室、スポ少、学習塾など）」が多い傾向となっている。

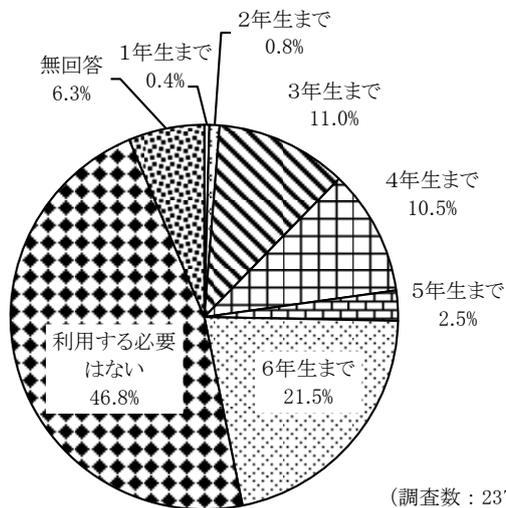
(2) 場所ごとの日数【問 18】

問 18 宛名のお子さんについて、問 17 で選んだ場所で過ごさせたいと希望するのは、週何日ぐらいですか。選択した番号に対応する表の内に数字でご記入ください。なお、「6. 放課後児童クラブ」「7. 放課後等デイサービス（障がい児支援）」の場合には、何時まで利用を希望するかも数字でお書きください。

		1 自宅	2 祖父母宅や友人・知人宅	3 習い事（ピアノ教室、スポーツ、学習塾など）	4 児童館（自由来館）	5 放課後子ども教室	6 放課後児童クラブ（学童保育）	7 放課後デイサービス（障がい児支援）	8 ファミリー・サポート・センター	9 その他（公民館、公園など）
小学1年生	週1日	5.4%	25.0%	43.2%	33.3%	33.3%	0.7%	0.0%	0.0%	60.0%
	週2日	12.0%	19.4%	25.0%	0.0%	0.0%	1.4%	20.0%	0.0%	10.0%
	週3日	12.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	週4日	2.2%	5.6%	2.3%	0.0%	0.0%	2.8%	10.0%	0.0%	0.0%
	週5日	29.3%	22.2%	0.0%	33.3%	25.0%	73.4%	20.0%	0.0%	10.0%
	週6日	6.5%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	20.0%	0.0%	0.0%
	週7日	19.6%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
小学2年生	週1日	5.0%	18.6%	26.9%	16.7%	28.6%	0.6%	0.0%	0.0%	60.0%
	週2日	7.0%	20.9%	42.3%	33.3%	9.5%	1.9%	10.0%	0.0%	10.0%
	週3日	14.0%	4.7%	9.6%	0.0%	4.8%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	週4日	3.0%	2.3%	1.9%	0.0%	0.0%	3.2%	10.0%	0.0%	0.0%
	週5日	29.0%	20.9%	0.0%	16.7%	23.8%	74.8%	20.0%	0.0%	10.0%
	週6日	6.0%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	9.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	週7日	22.0%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	10.0%	0.0%	0.0%
小学3年生	週1日	7.4%	22.7%	26.3%	20.0%	40.7%	0.6%	0.0%	0.0%	44.4%
	週2日	14.8%	20.5%	31.3%	30.0%	11.1%	3.5%	8.3%	0.0%	11.1%
	週3日	11.1%	2.3%	21.3%	10.0%	0.0%	6.5%	8.3%	0.0%	16.7%
	週4日	5.2%	4.5%	2.5%	0.0%	0.0%	4.7%	8.3%	0.0%	0.0%
	週5日	27.4%	27.3%	1.3%	20.0%	18.5%	68.8%	33.3%	0.0%	5.6%
	週6日	3.7%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	9.4%	8.3%	0.0%	0.0%
	週7日	20.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%
小学4年生	週1日	4.0%	25.7%	22.2%	27.8%	47.1%	1.5%	6.3%	50.0%	35.7%
	週2日	10.4%	14.3%	34.2%	22.2%	17.6%	3.0%	18.8%	0.0%	17.9%
	週3日	13.4%	7.1%	20.5%	11.1%	2.9%	6.0%	0.0%	0.0%	17.9%
	週4日	4.5%	4.3%	4.3%	0.0%	2.9%	6.8%	6.3%	0.0%	0.0%
	週5日	38.1%	25.7%	0.9%	16.7%	5.9%	64.7%	37.5%	0.0%	10.7%
	週6日	3.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.8%	6.3%	0.0%	0.0%
	週7日	15.3%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%
小学5年生	週1日	3.4%	28.1%	15.8%	29.4%	40.6%	2.5%	6.7%	25.0%	40.0%
	週2日	7.8%	18.0%	37.5%	11.8%	15.6%	3.8%	20.0%	25.0%	25.0%
	週3日	10.2%	7.9%	22.4%	11.8%	9.4%	7.5%	0.0%	0.0%	15.0%
	週4日	4.4%	4.5%	7.9%	0.0%	6.3%	7.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	週5日	45.9%	22.5%	3.3%	17.6%	3.1%	60.0%	33.3%	0.0%	5.0%
	週6日	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.3%	6.7%	0.0%	0.0%
	週7日	16.3%	2.2%	0.7%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%
小学6年生	週1日	3.9%	28.0%	14.3%	30.8%	40.0%	3.8%	11.1%	40.0%	36.4%
	週2日	7.3%	20.0%	36.3%	15.4%	14.3%	7.6%	22.2%	20.0%	27.3%
	週3日	10.6%	7.0%	24.4%	7.7%	5.7%	3.8%	0.0%	0.0%	18.2%
	週4日	3.9%	5.0%	6.0%	3.8%	2.9%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	週5日	46.1%	20.0%	4.2%	15.4%	5.7%	59.5%	33.3%	0.0%	4.5%
	週6日	3.3%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	7.6%	5.6%	0.0%	0.0%
	週7日	15.8%	1.0%	0.6%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	2.3%

問 19 問 17 または問 18 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」「7. 放課後等デイサービス（障がい児支援）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブ等の利用希望はありますか。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

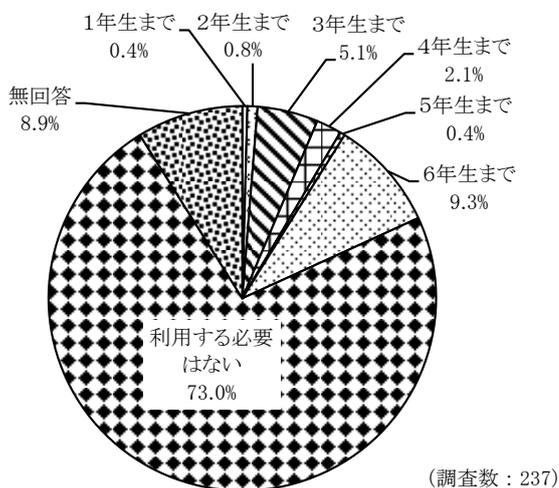
（3）土曜日の放課後児童クラブの利用希望【問 19(1)】



土曜日の放課後児童クラブの利用希望では、「6年生までは利用したい」が21.5%、「3年生までは利用したい」が11.0%となっている。

一方、「利用する必要はない」は46.8%となっている。

（4）日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望【問 19(2)】

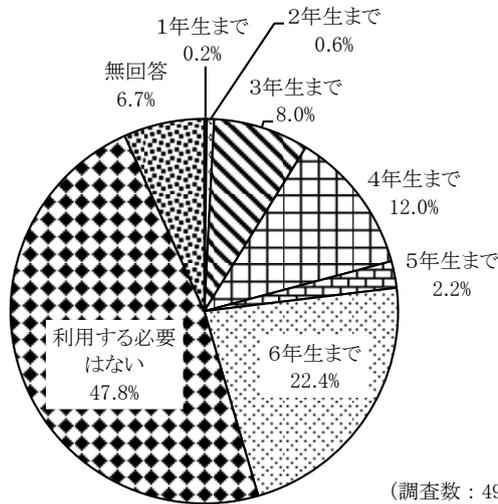


日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望では、「6年生までは利用したい」が9.3%、「3年生までは利用したい」が5.1%となっている。（「無回答」除く）

一方、「利用する必要はない」は73.0%となっている。

(5) 長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望【問 20】

問 20 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の「放課後児童クラブ」の利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください。

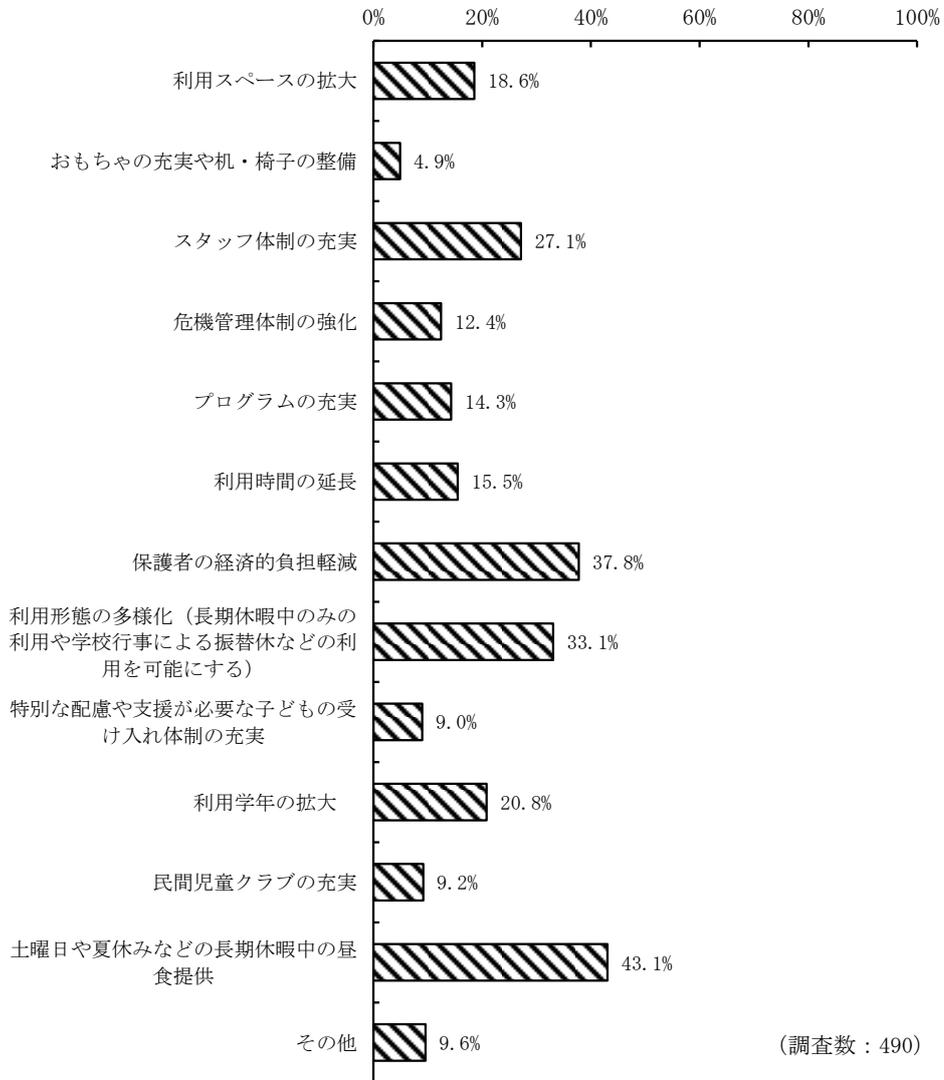


長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望では、「6年生までは利用したい」が 22.4%、「4年生までは利用したい」が 12.0%となっている。

一方、「利用する必要はない」は 47.8%となっている。

(6) 放課後児童クラブに今後望むこと【問21】

問21 放課後児童クラブに今後望むことは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



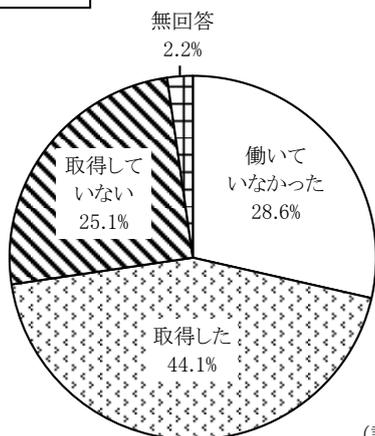
放課後児童クラブに今後望むことでは、「土曜日や夏休みなどの長期休暇中の昼食提供」が43.1%と最も多く、次いで「保護者の経済的負担軽減」(37.8%)、「利用形態の多様化（長期休暇中のみの利用や学校行事による振替休などの利用を可能にする）」(33.1%)となっている。

7. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

(1) 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方の育児休業の取得状況【問 22】

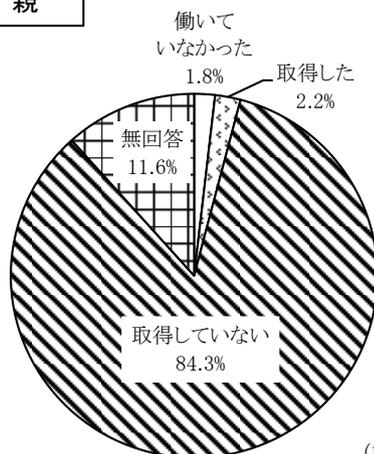
問 22 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由を点線で囲んだ部分から番号を選んでご記入ください。

母親

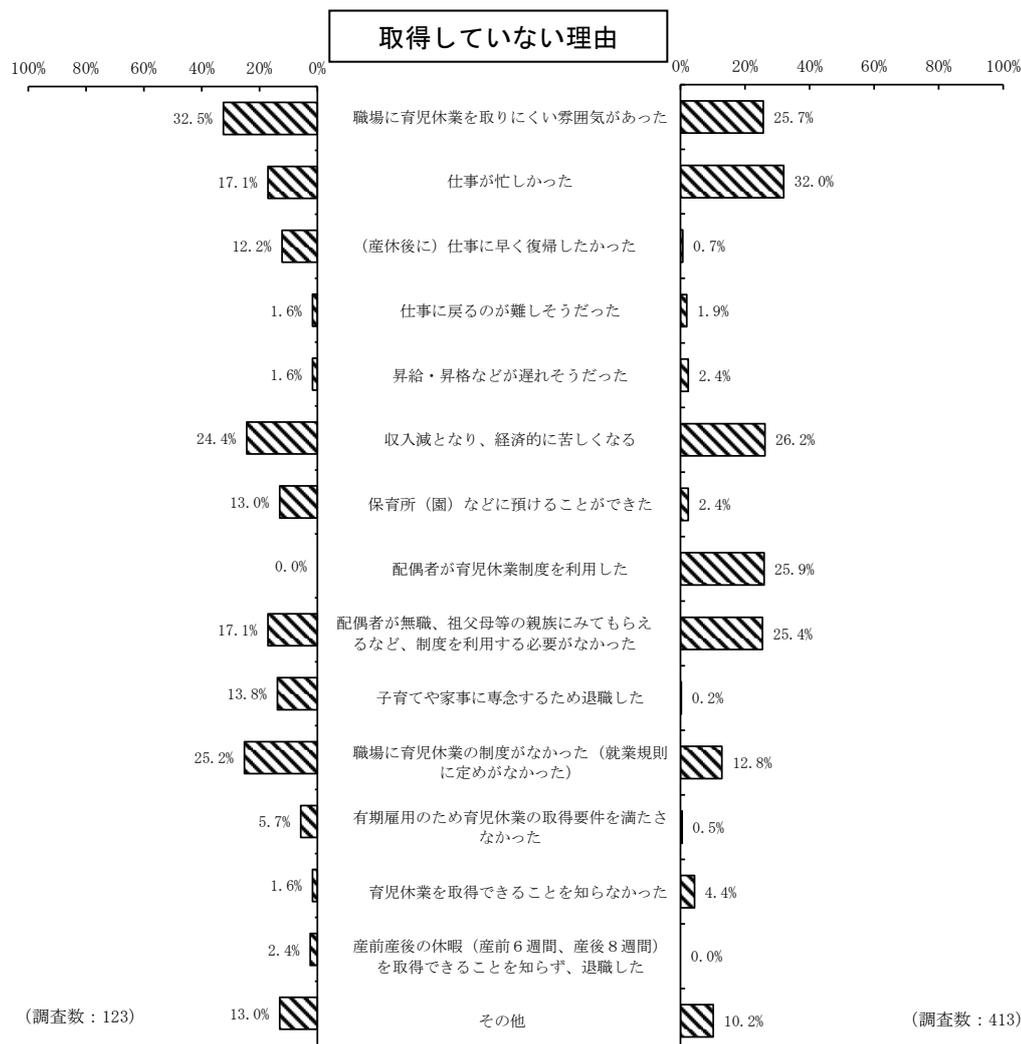


(調査数：490)

父親



(調査数：490)



子どもが生まれた時、母親の育児休業の取得状況では、「取得した」が44.1%、「取得していない」が25.1%となっている。

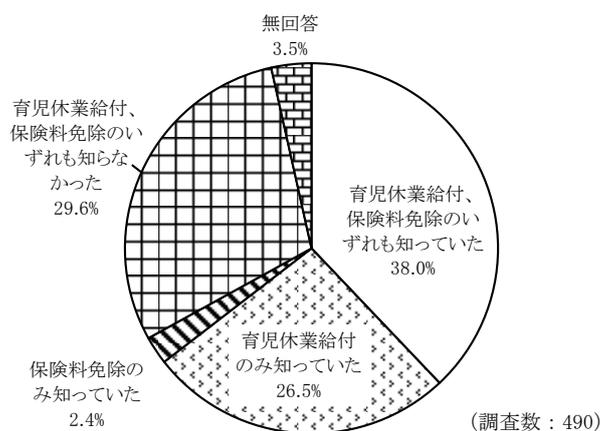
また、取得していない理由では、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が32.5%と最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」（25.2%）、「収入減となり、経済的に苦しくなる」（24.4%）となっている。

子どもが生まれた時、父親の育児休業の取得状況では、「取得した」が2.2%であり、「取得していない」が84.3%と圧倒的に多い回答となっている。

また、取得していない理由では、「仕事が忙しかった」が32.0%と最も多く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」（26.2%）、「配偶者が育児休業制度を利用した」（25.9%）となっている。

（2）育児休業給付、保険料免除の認識度【問 22-1】

問 22-1 育児休業給付と保険料免除について、ご存じでしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

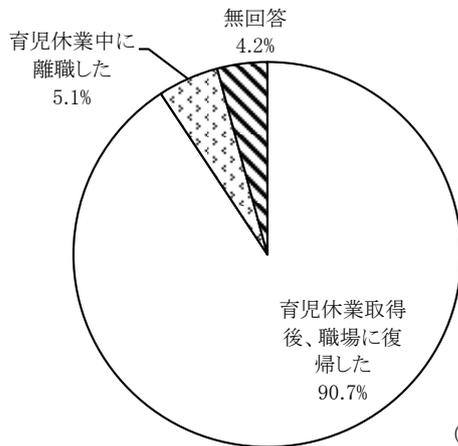


育児休業給付、保険料免除について知っていたかでは、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が38.0%と最も多く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」（29.6%）、「育児休業給付のみ知っていた」（26.5%）となっている。

問 22 で「2. 取得した」と回答した方にうかがいます。

問 22-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

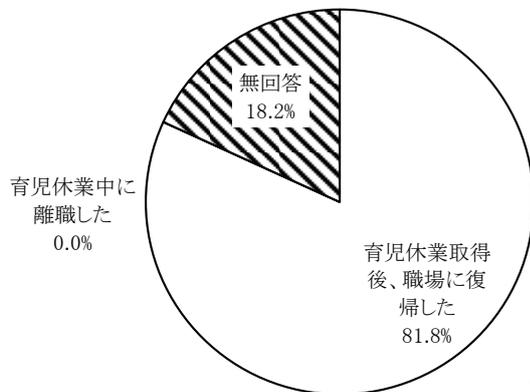
(3) 母親の育児休業取得後の職場復帰【問 22-2(1)】



(調査数 : 216)

母親の育児休業取得後の職場復帰では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 90.7%となっている。

(4) 父親の育児休業取得後の職場復帰【問 22-2(2)】



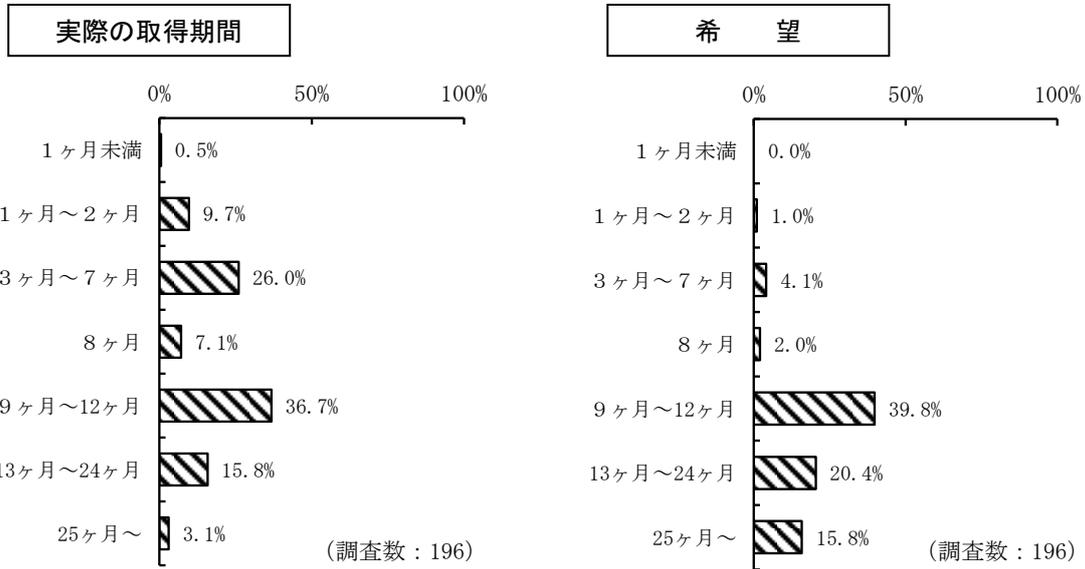
(調査数 : 11)

父親の育児休業取得後の職場復帰では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 81.8%となっている。

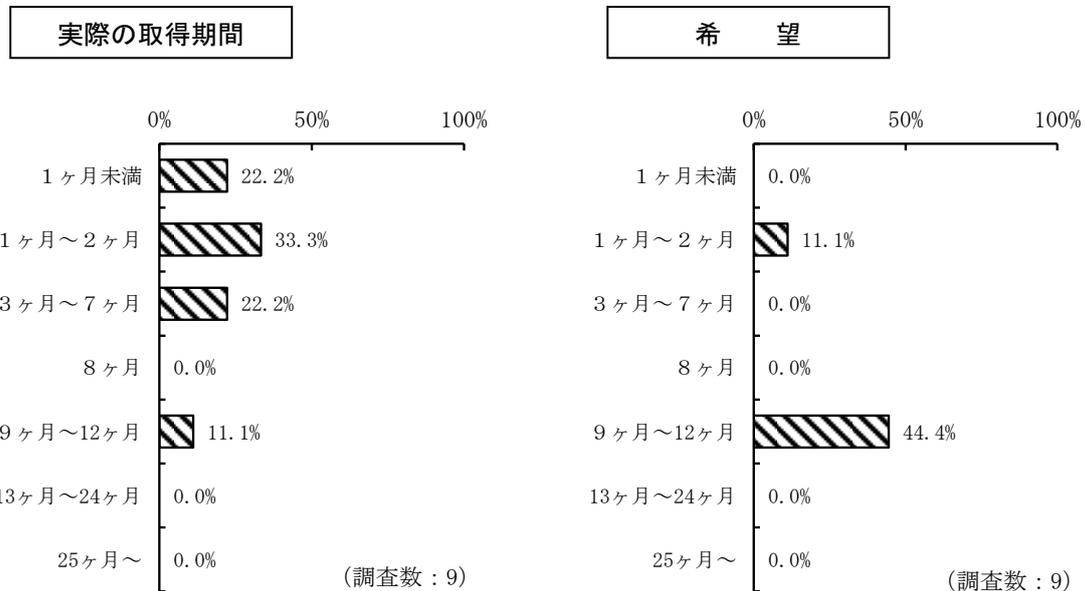
問 22-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 22-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

(5) 母親が育児休業から復帰したときのお子さんの月齢【問 22-3(1)】



(6) 父親が育児休業から復帰したときのお子さんの月齢【問 22-3(2)】



母親が育児休業から実際に職場復帰したときの子どもの月齢では、「9ヶ月～12ヶ月」が36.7%と最も多く、次いで「3ヶ月～7ヶ月」(26.0%)となっている。

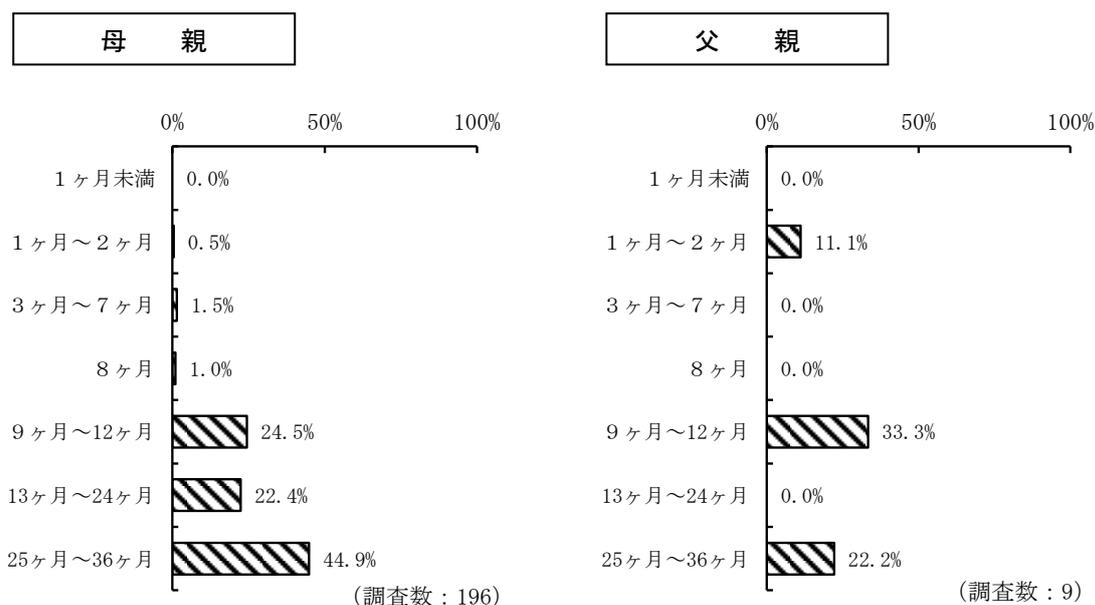
また、勤め先の育児休業制度の期間内での取得希望では、「9ヶ月～12ヶ月」が39.8%と最も多く、次いで「13ヶ月～24ヶ月」(20.4%)となっている。

父親が育児休業から実際に職場復帰したときの子どもの月齢では、「1ヶ月～2ヶ月」が33.3%と最も多く、次いで「1ヶ月未満」、「3ヶ月～7ヶ月」(ともに22.2%)となっている。

また、勤め先の育児休業制度の期間内での取得希望では、「9ヶ月～12ヶ月」が44.4%と最も多くなっている。

(7) 3歳まで育児休暇を取得できる制度があった場合の取得希望【問22-4(1)(2)】

問22-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。



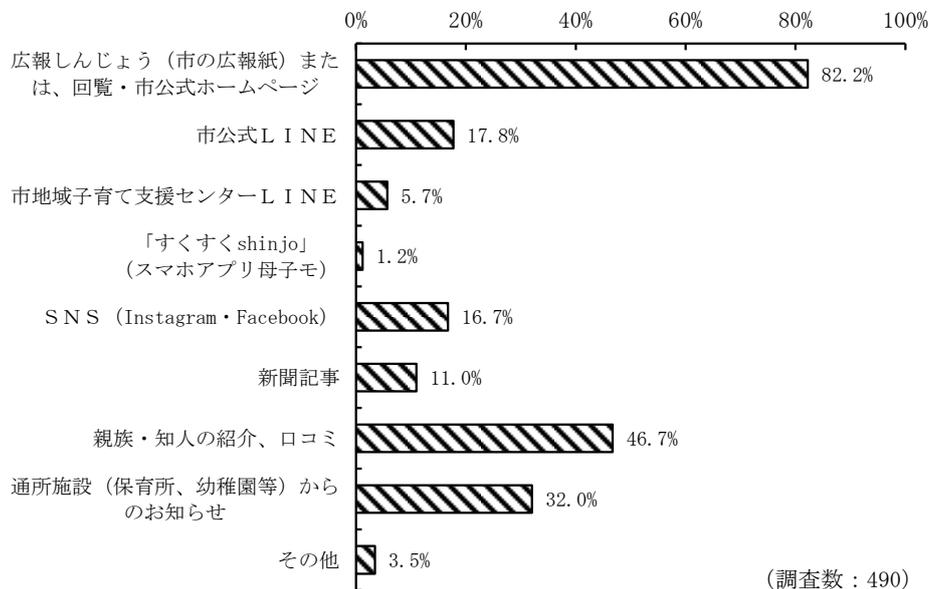
母親の勤め先に、3歳まで育児休暇を取得できる制度があった場合の取得希望では、「25ヶ月～36ヶ月」が44.9%と最も多くなっている。

父親の勤め先に、3歳まで育児休暇を取得できる制度があった場合の取得希望では、「9ヶ月～12ヶ月」が33.3%と最も多くなっている。

8. 子育て支援に関する情報について

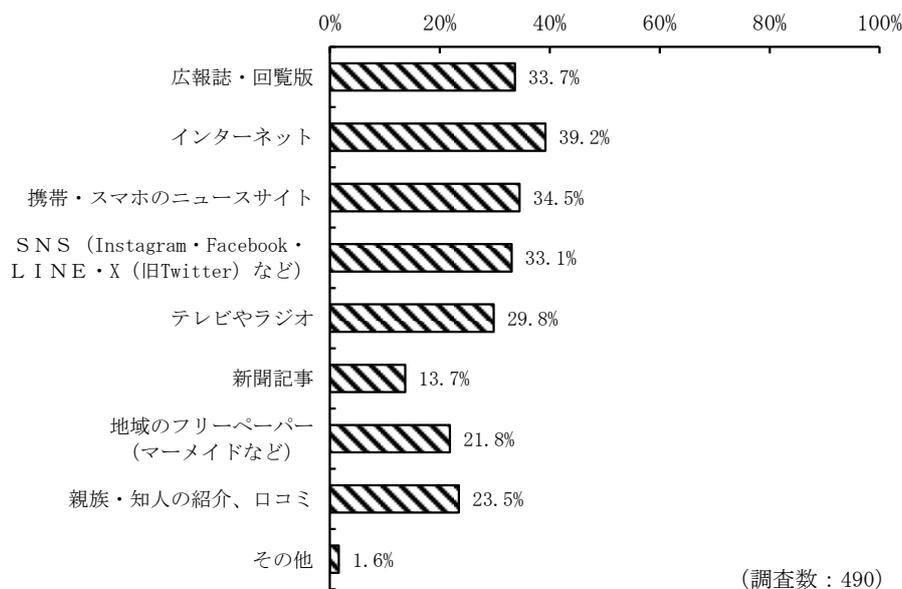
問 23 普段、どのように子育てに関する情報を得ているか、うかがいます。

(1) 本市の子育て支援に関する情報を得る方法【問 23(1)】



新庄市の子育て支援に関する情報を得る方法では、「広報しんじょう (市の広報紙) または、回覧・市公式ホームページ」が 82.2%と最も多く、次いで「親族・知人の紹介、口コミ」(46.7%)、「通所施設 (保育所、幼稚園等) からのお知らせ」(32.0%) となっている。

(2) 本市以外の自治体や国・県の事業に関する情報を得る方法【問 23(2)】

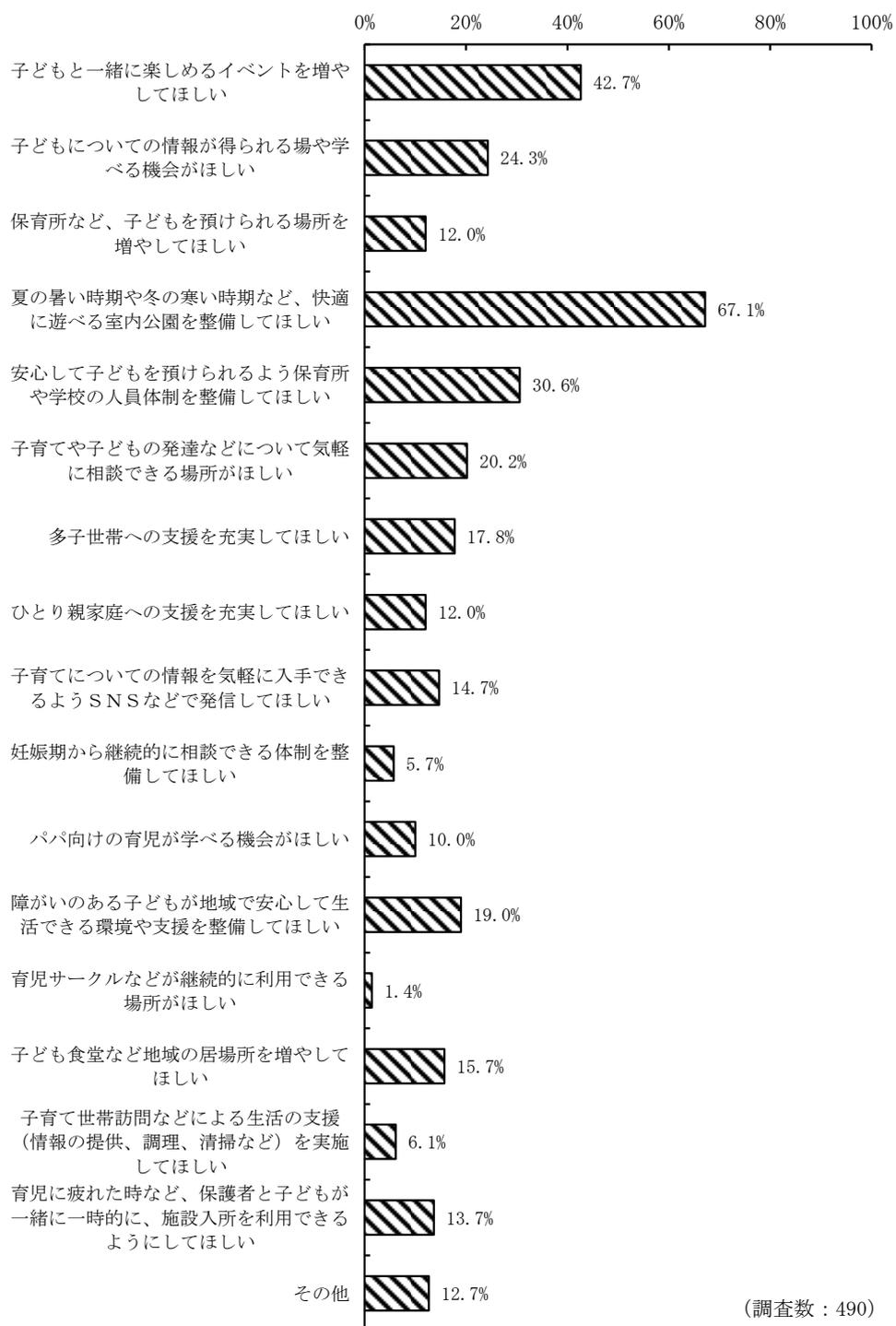


新庄市以外の自治体や国・県の事業に関する情報を得る方法では、「インターネット」が 39.2%と最も多く、次いで「携帯・スマホのニュースサイト」(34.5%)、「広報誌・回覧版」(33.7%)、「SNS (Instagram・Facebook・LINE・X (旧Twitter) など)」(33.1%) となっている。

9. 地域の子育て支援事業の利用状況について

(1) 充実を図ってほしい子育て支援【問 24】

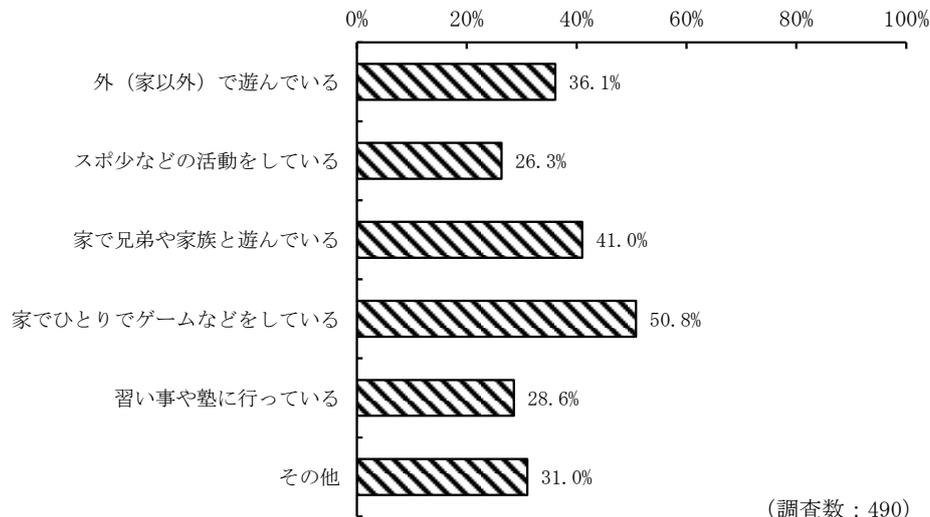
問 24 本市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



10. 宛名のお子さんご本人への設問

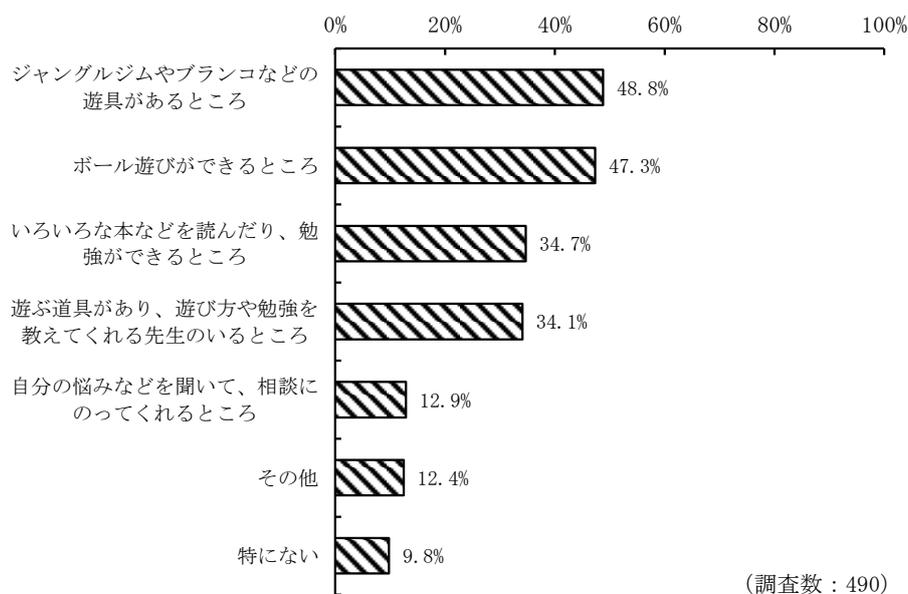
問 25 問 25 (1) ～ (4) については、宛名のお子さんへ、将来の夢などについてうかがいます。宛名のお子さんが、直接アンケートにお答えください。
 (お子さんが低学年の場合や、質問が分かりにくい場合は、保護者の方が質問文の説明など、回答の補助をおこなってください。)

(1) 放課後の過ごし方【問 25(1)】



放課後の過ごし方では、「家でひとりでゲームなどをしている」が50.8%と最も多く、次いで「家で兄弟や家族と遊んでいる」(41.0%)、「外(家以外)で遊んでいる」(36.1%)となっている。

(2) 家の近くにあったらよいと思うところ【問 25(2)】



家の近くにあったらよいと思うところでは、「ジャングルジムやブランコなどの遊具があるところ」が48.8%と最も多く、次いで「ボール遊びができるところ」(47.3%)、「いろいろな本などを読んだり、勉強ができるところ」(34.7%)、「遊ぶ道具があり、遊び方や勉強を教えてくれる先生のいるところ」(34.1%)となっている。

(3) 将来の夢【問 25(3)】

将来の夢をたずねたところ、444 件の意見が寄せられた。以下は一部抜粋したものである。

将来の夢	件数	将来の夢	件数
サッカー選手	21	建築士	4
警察官	12	社長	4
看護師	11	消防士	4
パティシエ	10	料理人	4
バスケット選手	9	アイスクリーム屋さん	3
美容師	9	ファッションデザイナー	3
Y o u T u b e r	8	プロゲーマー	3
スポーツ選手	8	絵を描く人	3
ケーキ屋さん	7	新幹線の運転士	3
医者	7	花屋	3
学校の先生	7	保育園の先生	3
大工	7	幼稚園の先生	3
野球選手	7	N B A のプロバスケットボール選手	2
イラストレーター	6	お金持ち	2
農家	6	ダンサー	2
保育士	6	メジャーリーガー	2
パン屋	5	歌手	2
獣医	5	画家	2
ゲームクリエイター	4	自衛隊	2
デザイナー	4	小学校の先生	2
ネイリスト	4	薬剤師	2
ペットショップ店員	4	有名人	2

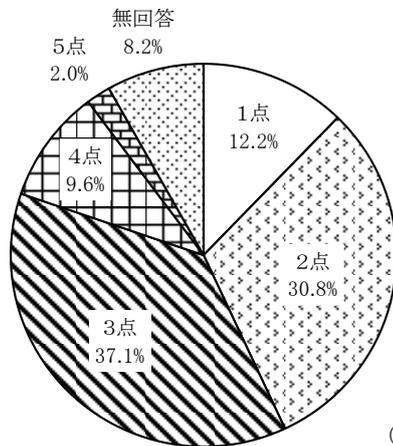
(4) 新庄市の好きなところ(もの)・気に入っているところ(もの)【問 25(4)】

新庄市の好きなところ(もの)・気に入っているところ(もの)をたずねたところ、439 件の意見が寄せられた。「新庄まつり」が 136 件、「新庄まつり／雪まつり」が 22 件、「雪まつり」、「人が優しいところ」が 10 件、「祭り」、「自然が豊か」が 9 件、「最上公園」、「新庄まつり／公園」、「新庄まつり／最上公園」が 3 件などである。

11. 本市の子育て支援への満足度や子育てに関する意見について

(1) 本市における子育ての環境や支援への満足度【問 26】

問 26 本市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



(調査数：490)

新庄市における子育ての環境や支援への満足度では、中間点である「3点」が37.1%と最も多くなっている。

また、「4点」(9.6%)と「5点」(2.0%)を合わせた満足度が高いとみられる回答は11.6%となっている。

一方、「1点」(12.2%)と「2点」(30.8%)を合わせた満足度が低いとみられる回答は43.0%と4割を超えている。

(2) 教育・保育環境の充実や障がい児への支援、妊娠や出産・育児など子育てを

取り巻く環境に関する意見【問 27】

問 27 最後に、教育・保育環境の充実や障がい児への支援、妊娠や出産・育児など子育てを取り巻く環境に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

教育・保育環境の充実や障がい児への支援、妊娠や出産・育児など子育てを取り巻く環境に関しての意見を求めたところ、多くの意見が寄せられた。

令和5年度
第3期新庄市子ども・子育て支援事業計画策定に関するニーズ調査
結果報告書（案）

令和6年3月

発行：新庄市
企画・編集：子育て推進課